



福島県立美術館  
年報  
平成31／令和元年度

2 0 1 9



福島県立美術館  
年報  
平成31／令和元年度・2019

福島県立美術館年報  
平成31／令和元年度（2019）

目次

---

設置の目的と立地	2
沿革	3
平成31／令和元年度主要記事	4
第1節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第2節 収集・保存	5
収蔵作品点数	
収集評価委員会	
平成31／令和元年度収蔵作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第3節 展示事業	10
常設展	
企画展	
アンケート結果	
観覧者数一覧	
第4節 調査研究事業	48
第5節 普及事業	48
館内解説	
鑑賞講座	
創作プログラム	
美術館への年賀状展	
博物館実習	
美術館・学校教育連携事業	
友の会、協力会との連携	
その他の事業	
関係法規	54
予算	61
施設・設備	62
施設配置図	63
組織図・職員名簿	64
利用案内	65

## ◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

## ◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置	10月	18日以降臨時休館となる（-2000年7月
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施		19日）空調機械改修工事（第一期）着工
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告		「移動美術館」開始（第1回は喜多方市美術館）
	7月	文化振興会議を設置	2000年	3月 『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告		4月 第四代館長に酒井哲朗が就任（-2012年3月）
	3月	文化施設等整備基金条例制定		7月 空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20日）
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く	2001年	11月 19日以降臨時休館となる（-2002年4月
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員10人を委嘱）		26日）空調機械工事（第二期）等着工
	12月	美術品等取得基金条例制定	2002年	3月 空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告		4月 再開館（27日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008年3月
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される		23日）
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員7人を委嘱） 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定	2003年	4月 「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置 高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定	2004年	6月 「特定非営利活動法人 福島県立美術館協会の会」発足
	12月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）		7月 「アート オブ スター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する
1981年	7月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）		10月 開館20周年記念展「田園の夢」開催
1982年	7月	美術館設計工事着工	2005年	3月 『収蔵作品図録1990-2005』発行
1984年	3月	美術館本體工事完了 福島県立美術館条例を議決	2006年	5月 入館者通算200万人を記録する
	4月	福島県立美術館設置		8月 初の県立美術館・図書館連携事業として「アートなおはなしかい」を開催
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管	2008年	10月 レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店
	7月	開館（22日） 初代館長に原田實が就任（-1989年3月） 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行	2009年	7月 開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
	10月	第1回運営協議会開催	2011年	3月 12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4月25日）
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行		4月 再開館（26日）
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990年3月）		5月 入館者通算300万人を記録
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行	2012年	2月 震災復旧工事のため1日以降臨時休館となる（-4月6日）
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992年3月）		4月 第五代館長に早川博明が就任
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000年3月）	2013年	7月 「若沖が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催	2014年	7月 開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する	2015年	4月 6日以降臨時休館となる（-2016年4月1日） 空調設備等改修工事着工
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する	2016年	4月 再開館（2日） 名誉館長に酒井哲朗が就任
1999年	3月	屋根改修工事着工		「フェルメールとレンブラント」展開催、104,519人の観覧者を記録する
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止（-2000年7月19日）	2019年	4月 「東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展」開催、116,344人の観覧者を記録
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催		

## 平成 31（2019）年

- 4月1日 渡辺俊夫総務課長着任  
4月28日 「ポーラ美術館コレクション」展開幕（6月24日）

## 令和元（2019）年

- 5月5日 常設展無料観覧日（こどもの日）  
5月6日 「伊藤若冲展」閉幕（3月26日～）  
5月22日 全国美術館会議総会出席（札幌市、～23日）  
5月20日 【友の会】通常総会  
6月23日 「第Ⅰ期常設展」閉幕（3月26日～）  
6月24日 展示替にともなう臨時休館（～28日）  
6月29日 「第Ⅱ期常設展」開幕（～11月10日）  
8月21日 常設展無料観覧日（県民の日）  
9月14日 「関根正二展」開幕（～11月10日）  
9月18日 常設展無料観覧日（敬老の日）  
11月3日 常設展無料観覧日（文化の日）  
11月11日 全館展示替にともなう臨時休館（～18日）  
11月19日 「第Ⅲ期常設展」開幕（～12月24日）  
10月27日 「森田恒友展」開幕（～1月19日）  
12月28日 年末年始休館（～1月4日）

## 令和2（2020）年

- 1月5日 「第Ⅳ期常設展」開幕（～3月8日）  
1月12日 「美術館への年賀状展」開幕（～31日）  
2月6日 美術館・図書館合同消防訓練  
2月8日 「Gallery F 2020 コレクション再発見」開幕（～3月8日）  
2月21日 令和元年度収集評価委員会  
3月6日 令和元年度運営協議会  
3月9日 館内消毒にともなう臨時休館（～19日）  
3月20日 「第Ⅰ期常設展」開幕（～6月28日）  
3月24日 「ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへ」展開幕（～4月18日）  
3月31日 早川博明館長退任、鶴見宏幸副館長・渡辺俊夫総務課長転任

## 1 美術館運営協議会

## (1) 委員

- 山口 功 福島県中学校教育研究会美術専門部所属（平成25年1月1日～）  
番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属（平成27年1月1日～）  
杉 昭重 前公益財団法人福島県文化振興財団理事長兼福島県文化センター館長（平成29年1月1日～）  
坂本 節子 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局局長（平成25年1月1日～）  
齋藤 勝正 福島県美術家連盟会長（平成29年1月1日～）  
鈴木 仁 日本放送協会福島放送局長（平成29年8月19日～）  
星 眞智子 西会津国際芸術村事務局長（平成27年1月1日～）  
清水 眞砂 世田谷美術館分館長（平成27年1月1日～）  
齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部副学長・教授（平成27年1月1日～）  
舟木 藤弘 福島県立美術館友の会理事（平成29年1月1日～）

## (2) 協議会の開催

- 期日 令和2年3月6日（金）  
内容 ・令和元年度事業実施の概要  
・令和2年度事業計画案の概要等  
・県立美術館の運営等

## 2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

## 加盟団体

- ・全国美術館会議（理事）
- ・日本博物館協会（会員）
- ・日本博物館協会東北支部（監事）
- ・東北地区博物館協会（監事）
- ・福島県博物館連絡協議会（理事）

## 第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション（収蔵作品）の収集活動を継続的に行っている（ただし平成22年度以降、作品購入実績はない）。

令和元年度は25点の作品および2件の資料を寄贈により収集した。

### 1 収蔵作品点数（令和2年3月31日現在）

海外作品	450点
日本画	363点
洋画	912点
素描・下絵	216点
版画	1,148点
立体	145点
工芸	158点
書	39点
写真	410点
作品合計	3,841点
美術資料	65件

### 2 収集評価委員会

#### (1) 委員

中山恵理	郡山市立美術館主任主査（令和元年12月1日～）
松下由里	群馬県立近代美術館次長兼学芸係長（令和元年12月1日～）
三上満良	元宮城県美術館副館長（平成23年12月1日～）
水沢 勉	神奈川県立近代美術館長（令和元年12月1日～）
村田真宏	豊田市美術館長（平成23年12月1日～）

#### (2) 委員会の開催

期日	令和2年2月21日（金）
内容	・平成30年度収集作品の報告 ・令和元年度収集候補作品について

### 3 令和元年度収集作品等

#### (1) 美術作品及び美術資料の収集

国内：日本画	酒井白澄	1点
	森田恒友	4点
	結城素明	5点
国内：洋画	森田恒友	2点
	堂本右美	1点
	吉井 忠	2点
国内：素描・下絵	速水御舟	1点
国内：立体	佐藤玄々（朝山）	5点
	橋本高昇	1点
国内：工芸	緑川宏樹	3点
国内：資料	結城素明資料	1件
	伊藤隆三郎資料	1件
	計25点、美術資料2件	

#### (2) 新収蔵作品一覧

1. 酒井白澄（1902-1985）  
《閑炉》1958（昭和33）年  
紙本著色、屏風二曲一隻 180.7 × 180.3cm  
酒井和良氏寄贈



2. 森田恒友（1881-1933）  
《漁村風景》1910年代  
紙本墨画淡彩 135.0 × 31.0cm  
松尾宏太郎氏寄贈



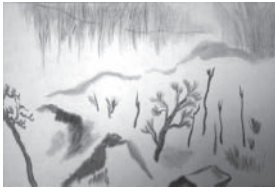
3. 森田恒友（1881-1933）  
《欧州風景》1910年代  
紙本墨画淡彩 133.5 × 30.3cm（各）  
松尾宏太郎氏寄贈



4. 森田恒友 (1881-1933)

《雪国帖 (画帖 12 枚)》1921 年

紙本墨画淡彩 24.0 × 35.6cm (各) 松尾宏太郎氏寄贈



5. 森田恒友 (1881-1933)

《沼の図》1920 年代

紙本墨画淡彩 39.6 × 40.2cm 松尾宏太郎氏寄贈

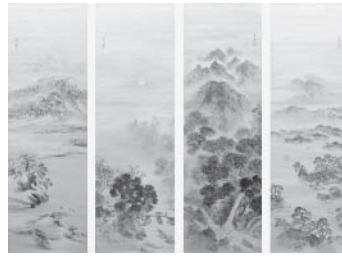


6. 結城素明 (1875-1957)

《春霞白帆 夏溪潺湲 清秋明月 寒光雪嶂 (四季墨画山水)》1949 (昭和 24) 年

絹本墨画淡彩、軸 (四幅对) 各 133.0 × 41.2cm

山田美津江氏寄贈



7. 結城素明 (1875-1957)

《夏溪帰樵》制作年不詳

絹本著色、軸 126.7 × 36.3cm



8. 結城素明 (1875-1957)

《秋溪紅樹》制作年不詳

絹本著色、軸 132.7 × 41.2cm 山田美津江氏寄贈



9. 結城素明 (1875-1957)

《山水图》制作年不詳

絹本著色、額 32.7 × 127.5cm 山田美津江氏寄贈



10. 結城素明 (1875-1957)  
《牡丹》制作年不詳  
絹本着色、額 36.0 × 102.0cm  
山田美津江氏寄贈



11. 堂本右美 (1960-)  
《いきる 5》2011年  
カンヴァス・油彩 227.3 × 181.8cm 堂本右美氏寄贈



12. 森田恒友 (1881-1933)  
《漁村風景》1910年代  
紙・水彩 21.5 × 59.0cm 松尾宏太郎氏寄贈



13. 森田恒友 (1881-1933)  
《滞欧風景》1910年代  
カンヴァス・油彩 23.5 × 58.5cm 松尾宏太郎氏寄贈



14. 吉井忠 (1908-1999)  
《草》1932年  
カンヴァス・油彩 53 × 45.5cm  
北條 洋氏寄贈



15. 吉井忠 (1908-1999)  
《さいろふ風景》1932年6月  
カンヴァス・油彩 112.3 × 145.5cm 北條 洋氏寄贈



16. 速水御舟 (1894-1935)  
《女二題 下絵》1931 (昭和6)年  
紙本淡彩、コンテ 軸 142.4 × 117.5cm 速水健人氏寄贈



17. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)  
《牝猫》1928年  
木彫 37.5 × 43.0 × 13.5cm 第15回院展 横井美恵子氏寄贈



18. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)  
《鳩巢》1928年  
木心乾漆 11.3 × 32.3 × 22.5cm 第15回院展  
横井美恵子氏寄贈





19. 佐藤玄々（朝山）（1888-1963）

《銀鳩》1931年頃

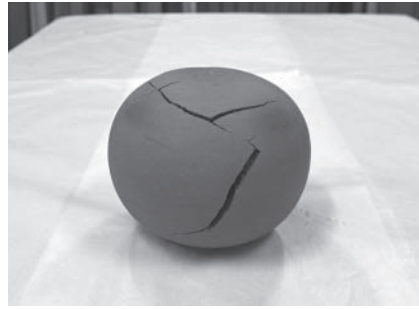
木彫彩色 30.5 × 21.0 × 8.5cm 横井美恵子氏寄贈



23. 緑川宏樹（1938-2010）

《裂》1988年

陶 H17.3 × W20.0 × D22.5cm 緑川志保氏寄贈



20. 佐藤玄々（朝山）（1888-1963）

《蜥蜴》1940年代

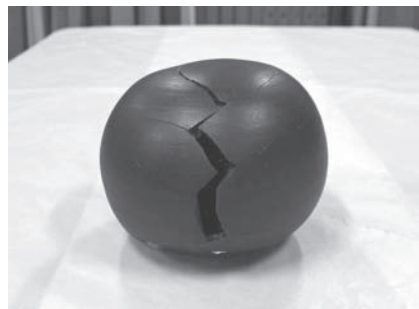
木彫彩色 5.0 × 37.8 × 3.8cm 第16回院展と同型  
横井美恵子氏寄贈



24. 緑川宏樹（1938-2010）

《裂》1988年

陶 H17.5 × W22.5 × D22.0cm 緑川志保氏寄贈



21. 佐藤玄々（朝山）（1888-1963）

《大黒天》1940-50年代

木彫彩色 20.5 × 16.0 × 14.5cm 横井美恵子氏寄贈



25. 緑川宏樹（1938-2010）

《薄（うすら）》1990年頃

陶 H42.0 × W63.5 × D2.5cm 緑川志保氏寄贈



22. 橋本高昇（1895-1985）

《双鹿》1928年

木彫 81.0 × 100.0 × 33.0cm 第9回帝展 十文字真理子氏寄贈



26. 伊藤隆三郎関係資料

書簡類、書籍4冊、写真26枚、その他資料 渡辺保氏寄贈

27. 結城素明関連資料

結城素明書簡20通、結城素明著書3冊、ほか書籍1、守田勘弥色紙1枚、淡島寒月短冊2 山田美津江氏寄贈

#### 4 図書資料の収集

---

収蔵図書数 61,179冊

#### 5 保存管理

---

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

(1) 保存環境調査の実施（虫菌害モニタリングと環境測定）

時期：令和元年6月3日（月）～17日（月）、8月10日（土）～24日（土）

（調査期間）[報告書は令和元年6月27日（木）、令和元年9月22日（日）に提出]

内容：展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

(2) 美術品の修復

松岡映丘《沼川・入江・薄野・雪路》、平福百穂《赤茄子と芋》の修復を実施したほか、関根正二作品の状態点検調査を実施した。またジョルジュ・ルオー《ミセレーレ》の額を交換した。

(3) 敷地内の放射線測定

時期：毎月1回、計12回測定

場所：美術館内および敷地内 計45か所

### 第3節 展示事業

#### 1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して、年4回（版画は年8回）展示替えを行っている。

##### (1) 常設展示

##### ① 第I期常設展示

会期：平成31年3月26日（火）～令和元年6月23日（日）

内容：・春の日本画：速水御舟《晩冬の桜》、村上華岳《早春風景》

・特集展示 生誕100年 橋本章：《武装する都市》《立つ—脱獄囚》

・印象派と海外の名品：ピサロ《エラニーの菜園》、クロード・モネ《ジヴェルニーの草原》

・斎藤清の版画：《凝視（猫）》《地の幸》

・追悼 浜田知明と秀島由己男：浜田知明《初年兵哀歌（歩哨）》、秀島由己男《わらべ唄》

##### ◆出品リスト：

[作家名（生没年）／作品名／制作年／材質・技法（\*は寄託作品）]

##### 展示室A

##### 【春の日本画】

速水御舟（1894-1935）／晩冬の桜／1928（昭和3）年／絹本着色

中島清之（1899-1989）／胡瓜／1923（大正12）年／絹本着色

橋本関雪（1883-1945）／倪雲林／1917（大正6）年／絹本着色

岡村宇太郎（1899-1971）／舞妓図／1925（大正14）年／絹本着色

速水御舟（1894-1935）／女二題 其一／1931（昭和6）年／絹本着色

速水御舟（1844-1935）／女二題 其二／1931（昭和6）年／絹本着色

安田靉彦（1884-1978）／茶室／1962（昭和37）年／紙本着色

酒井三良（1897-1969）／沖縄風俗／1955（昭和30）年／紙本墨画淡彩

酒井三良（1897-1969）／松籟／1964（昭和39）年／紙本墨画淡彩

村上華岳（1888-1939）／早春風景／1919（大正8）年頃／絹本着色・軸装

根上富治（1895-1981）／笛／1927（昭和2）年／絹本着色・軸装（双幅）

山口華楊（1899-1984）／畑／1925（大正14）年／絹本着色・屏風二曲一隻

小茂田青樹（1891-1933）／薫房／1927（昭和2）年／紙本着色・屏風二曲一双

池田遙邨（1895-1988）／大漁／1932（昭和7）年／絹本着色・屏風二曲一隻

福王寺法林（1920-2012）／ヒマラヤの花／1983（昭和58）年

／紙本着色／

福王寺法林（1920-2012）／バドガオンの月／1982（昭和57）年／紙本着色

太田正弘（1914-1978）／雲烟の中／1974（昭和49）年／紙本着色

渡辺学（1916-2000）／遺された人／1981（昭和56）年／紙本着色

山本丘人（1900-1986）／月夜の噴煙／1962（昭和37）年／絹本着色

##### 展示室B

##### 【特集展示：生誕100年 橋本章】

橋本章（1919-2003）／[戦中スケッチ2]／1941（昭和16）年2月／紙・鉛筆、水彩\*

橋本章（1919-2003）／[戦中スケッチ10]／1941（昭和16）年頃／紙・鉛筆、水彩\*

橋本章（1919-2003）／[満洲蓋平]／1945（昭和20）年／紙・コンテ\*

橋本章（1919-2003）／[軍靴]／1950（昭和25）年頃／紙・水彩\*

橋本章（1919-2003）／自画像／1969（昭和44）年／カンヴァス・油彩\*

橋本章（1919-2003）／自画像／1953（昭和28）年頃／カンヴァス・油彩\*

橋本章（1919-2003）／人／1957（昭和32）年／カンヴァス・油彩\*

橋本章（1919-2003）／砂による絵画・作品No.10／1959（昭和34）年／板・塗料、砂ほか

橋本章（1919-2003）／地平／1961（昭和36）年／板・塗料、砂\*

橋本章（1919-2003）／赤い盾／1961（昭和36）年／合板・油彩、鎖、砂、鉄など

橋本章（1919-2003）／黒い盾／1962（昭和37）年／板・塗料、砂、混材\*

橋本章（1919-2003）／なまけもの／1962（昭和37）年／板・塗料、混材

橋本章（1919-2003）／レンゴウカンタイ／1969（昭和44）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／国鉄新幹線／1980（昭和55）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／共謀者／1965（昭和40）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／ビルディング／1967（昭和42）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／黒い毛布／1969（昭和44）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／ぴーひゃらこ／1975（昭和50）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／休息する脱獄囚／1997（平成9）年／ミクストメディア\*

橋本章（1919-2003）／武装する都市／1979（昭和54）年／カンヴァス・油彩

橋本章（1919-2003）／大砲と足／1984（昭和59）年／カンヴァ

## ス・油彩

橋本章 (1919-2003) / 立つ一脱獄囚 / 1999 (平成 11) 年 /  
カンヴァス・油彩、コラージュ

橋本章 (1919-2003) / ドローイング / 1941 ~ 1945 年頃\*

橋本章 (1919-2003) / ドローイング / 1950 ~ 1960 年頃\*

橋本章 (1919-2003) / ドローイング / 1960 ~ 1962 年頃\*

橋本章 (1919-2003) / ドローイング / 1970 ~ 1980 年頃\*  
ほか資料

## 展示室 C

## 【印象派と海外の美術】

カミーユ・コロー (1796-1875) / ヴィル・ダヴレー 林をぬけ  
てコロ家へ向かう池沿いの道 / 1873 年 / カンヴァス・油彩  
クロード・モネ (1840-1926) / ジヴェルニーの草原 / 1890 年  
/ カンヴァス・油彩

カミーユ・ピサロ (1830-1903) / エラニーの菜園 / 1899 年  
/ カンヴァス・油彩

ピエール＝オーギュスト・ルノワール (1841-1919) / 帽子を被  
る女 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩

ジョルジュ・ルオー (1871-1958) / 版画集〈流れる星のサーカ  
ス〉(34 点組) / 1934-35 年 (1938 年出版) / 紙・銅版

1 扉絵 見世物小屋の呼び込み / 1934 年

2 黒いピエロ / 1935 年

4 こびと / 1934 年

6 小さな女曲馬師 / 1935 年

13 気むずかし屋 / 1935 年

17 眠れ、よい子よ / 1935 年

ベン・シャーン (1898-1969) / W. P. A. サンデー / 1939  
年 / 紙・グアッシュ

ベン・シャーン (1898-1969) / 農民にたずねよ / 1941 年 /  
紙 (ボード)・グアッシュ

ベン・シャーン (1898-1969) / 反動の魔手を打ち砕け / 1946  
年 / 紙・オフセット

ベン・シャーン (1898-1969) / ラッキードラゴン / 1960 年  
/ 綿布・テンペラ

ベン・シャーン (1898-1969) / 創造のアルファベット / 1963  
年 / 紙・グアッシュ

アンドリュウ・ワイエス (1917-2009) / ガニング・ロックス /  
1966 年 / 紙・水彩

アンドリュウ・ワイエス (1917-2009) / そよ風 / 1978 年 / 紙・  
水彩

アンドリュウ・ワイエス (1917-2009) / 松ぼっくり男爵 /  
1976 年 / ボード・テンペラ

アンドリュウ・ワイエス (1917-2009) / 農場にて / 1988 年 /  
紙・水彩

ジャコモ・マンズー (1908-1991) / 車に乗った子供 / 1982 年  
/ ブロンズ

## 展示室 D

## 【斎藤 清の版画】

斎藤 清 (1907-1997) / 凝視 (猫) / 1948 (昭和 23) 年 / 紙・  
木版

斎藤 清 (1907-1997) / ベビー / 1950 (昭和 25) 年 / 紙・木版

斎藤 清 (1907-1997) / 青沼、裏磐梯、会津 / 1955 (昭和 30)  
年 / 紙・木版

斎藤 清 (1907-1997) / グリニッチビレッジ (ニューヨーク) /  
1962 (昭和 37) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / 慈愛 (E) / 1978 (昭和 53) 年 / 紙・  
木版

斎藤 清 (1907-1997) / ランプ / 1975 (昭和 50) 年 / 紙・木版

斎藤 清 (1907-1997) / 月雲 (2) / 1980 (昭和 55) 年 / 紙・  
木版

斎藤 清 (1907-1997) / 霊峰 (16)、牧場 (C) / 1980 (昭和  
55) 年 / 紙・木版

斎藤 清 (1907-1997) / 地の幸 / 1989 (平成元) 年 / 紙・木版

斎藤 清 (1907-1997) / 早春 (2) / 1991 (平成 3) 年 / 紙・木版

## 【追悼：浜田知明と秀島由己男】

浜田知明 (1917-2018) / 風景 / 1953 (昭和 28) 年 / 紙・エッ  
チング

浜田知明 (1917-2018) / 初年兵哀歌 (歩哨) / 1954 (昭和  
29) 年 / 紙・エッチング、メゾチント / 以上○

浜田知明 (1917-2018) / 初年兵哀歌 (歩哨) / 1951 (昭和  
26) 年 / 紙・エッチング、アクアチント

浜田知明 (1917-2018) / 副校長 D 氏像 / 1956 (昭和 31) 年 /  
紙・エッチング / 以上●

秀島由己男 (1934-2018) / 版画集『わらべ唄』(6 点組) /  
1974 (昭和 49) 年 4 月 / 南天子画廊刊

一、風景 / 1972 (昭和 47) 年 / 紙、雁皮紙貼・エッチング

二、静物 / 1972 (昭和 47) 年 / 紙、雁皮紙貼・メゾチント

秀島由己男 (1934-2018) / 詩画集『静物考』(6 点組) 詩：高橋  
睦郎 1985 (昭和 60) 年 / 南天子画廊刊 紙・メゾチント

秀島由己男 (1934-2018) / 1. paper balloon / 2. melon / 3.  
cabbage

秀島由己男 (1934-2018) / 詩画集『われらにさきかけてきたり  
しもの』(6 点組) 詩：高橋 睦郎 / 1997 (平成 9) 年 6 月 /  
南天子画廊刊

扉 / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング

II / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング

IV / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング

以上○

秀島由己男 (1934-2018) / 版画集『わらべ唄』(6 点組) /  
1974 (昭和 49) 年 4 月 / 南天子画廊刊

四、かたつむりと花子 / 1972 (昭和 47) 年 / 紙、雁皮紙貼・  
メゾチント

五、太郎 / 1972 (昭和 47) 年 / 紙、雁皮紙貼・メゾチント

秀島由己男 (1934-2018) / 詩画集『静物考』(6 点組) 詩：高橋  
睦郎 1985 (昭和 60) 年 / 南天子画廊刊 紙・メゾチント

4. shell / 5. winter cherry / 6. myself

秀島由己男 (1934-2018) / 詩画集『われらにさきかけてきたり  
しもの』(6 点組) 詩：高橋 睦郎 / 1997 (平成 9) 年 6 月 /  
南天子画廊刊

I / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング

III / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング

V / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング、ア  
クアチント / 以上●

## 屋外・ホール彫刻

林 範親 (1948-) / 路地裏 / 1994 (平成6) 年 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具  
 佐藤忠良 (1912-2011) / 若い女・シャツ / 1982 (昭和57) 年 / ブロンズ  
 エミリオ・グレコ (1913-1995) / スケートをする女 / 1951 年 / ブロンズ  
 マリノ・マリーニ (1901-1980) / 騎手 / 1956-1957 年 / ブロンズ  
 井上 武吉 (1930-1998) / My Sky Hole 89-2 / 1989 (平成元年) / ステンレス・鏡面磨き  
 フェルナン・レジェ (1881-1955) / 歩く花 / 1952-53 年 原型作成 / ブロンズ・エナメル塗装\*

●=展示期間 3/26-6/23

○=展示期間 3/26-6/23



展示風景

## ②第Ⅱ期常設展示

## 特集「美のおもちゃ箱 河野保雄コレクション展」

会期：令和元年6月29日(金)～9月1日(日)

内容：・近代の光と影：青木繁《漁夫晩帰 下図》、岸田劉生《白狗図》、野田英夫《少女》、長谷川利行《芝居小屋》、高橋忠彌《花・鳥・ランプ》、吉井忠《森林帯》、山中春雄《街(横浜)》、鶴岡政男《マスク(仮面)》、麻生三郎《街と人》

・ガラス絵の小宇宙：長谷川利行《湯浴する女》、桂ゆき《ブドウとキツネ》、清宮質文《夜明け》、北川民次《教会に集る群れ》、松本榮《辻音楽師(メキシコ)》

・美のおもちゃ箱：竹久夢二《花火》、初山滋《へんなぞう》、荻原守衛《洗濯する女》、桂ゆき《躍動するカップ》、中村直人《楽器》、盛秀太郎《こけし》、佐藤玄々《朝山》《青鳩》

関連事業：

・特別講演会「生きている河野保雄コレクション」

講師：早川博明(館長)

日時：令和元年7月28日(日)14時～15時30分

場所：講堂

参加者数：40名

・担当学芸員によるギャラリートーク

講師：①堀 宜雄(専門学芸員) ②白木ゆう美(学芸員)

日時：①令和元年6月30日(日)14時～15時

②令和元年8月4日(日)14時～15時

参加者数：①15名、②10名

## ◆出品リスト：

[作家名(生没年) / 作品名 / 制作年 / 材質・技法]

巖光(1907-1946) / 梨とレモン / 1942年 / ボード・油彩

青木 繁(1882-1911) / 史片(装飾原画年表紙図案) / 1903-11年 / 紙・水彩

青木 繁(1882-1911) / 催合傘 / 1904年頃 / 紙・水彩

青木 繁(1882-1911) / 漁夫晩帰 下図 / 1908年 / 板にカンヴァス・油彩

朝倉文夫(1883-1964) / 装甲自動車 / 1931年頃 / ブロンズ

麻生三郎(1913-2000) / すみれ / 1948年 / 板・油彩

麻生三郎(1913-2000) / 裸婦 / 1956年 / 紙・水彩

麻生三郎(1913-2000) / 裸婦 / 1956年 / 紙・水彩

麻生三郎(1913-2000) / 街と人 / 1959年 / カンヴァス・油彩

麻生三郎(1913-2000) / 麓・八ヶ岳 / 1967年 / 紙・鉛筆

阿部常吉(1904-1991) / だるま / 制作年不詳 / 木・彩色

阿部常吉(1904-1991) / だるまおとし / 制作年不詳 / 木・彩色

池田龍雄(1928-) / 蝸牛 / 1986年 / 紙・水彩、砂

池田満寿夫(1934-1997) / 金曜日は雨 / 1962年 / 紙・ドライポイント、彩色

池田満寿夫(1934-1997) / 万葉人 / 制作年不詳 / ブロンズ

石垣栄太郎(1893-1958) / 裸婦 / 制作年不詳 / 紙・コンテ

石垣栄太郎(1893-1958) / 裸婦 / 制作年不詳 / 紙・コンテ

糸園和三郎(1911-2001) / 椿 / 1954年 / ガラス・油彩、カラージュ

- 糸園和三郎 (1911-2001) /かたつむり/制作年不詳/ガラス・油彩
- 糸園和三郎 (1911-2001) /鳥/制作年不詳/ガラス・油彩
- 糸園和三郎 (1911-2001) /野の花/制作年不詳/ガラス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /馬/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /ストックホルム/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /ドン・キホーテ/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /ねこ/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /花/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /風景/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 井上長三郎 (1906-1995) /レダと白鳥/制作年不詳/板・油彩
- 今西中通 (1908-1947) /坂出風景/ 1942年/カンヴァス・油彩
- 今西中通 (1908-1947) /静物/制作年不詳/紙・水彩
- いわさきちひろ (1918-1974) /子供/ 1966年/紙・水彩
- いわさきちひろ (1918-1974) /作品/制作年不詳/紙・木版
- 梅原龍三郎 (1888-1986) /エウロペとゼウス/制作年不詳/ブロンズ
- 梅原龍三郎 (1888-1986) /裸婦/制作年不詳/ブロンズ
- 梅原龍三郎 (1888-1986) /裸婦像(椅子に座る)/制作年不詳/ブロンズ
- 瑛九 (1911-1960) /海辺の孤独/ 1957年/紙・石版
- 瑛九 (1911-1960) /創造/ 1959年/紙・水彩、インク、コラージュ
- 海老原喜之助 (1904-1970) /義経号/制作年不詳/紙・インク、墨
- 大沢昌助 (1903-1997) /無題/ 1954年/ガラス・油彩
- 大沢昌助 (1903-1997) /青い坐像/制作年不詳/ガラス・油彩
- 岡本太郎 (1911-1996) /太陽の塔/ 1970年/鉄、着色
- 荻原守衛 (1879-1910) /洗濯する女/ 1909年/ブロンズ
- 織田廣喜 (1914-2012) /雷門(浅草)/ 1998年/ガラス・油彩
- 織田廣喜 (1914-2012) /少女幻想/ 1998年/ガラス・油彩
- 織田廣喜 (1914-2012) /水車のある風景/ 1998年/ガラス・油彩
- 織田廣喜 (1914-2012) /パリの女/ 1998年/ガラス・油彩
- 織田廣喜 (1914-2012) /向島の花見/ 1998年/ガラス・油彩
- 織田廣喜 (1914-2012) /メリーゴーランド/制作年不詳/紙・鉛筆、インク、水彩
- オノサト・トシノブ (1912-1986) /CIRCLE66/ 1966年/カンヴァス・油彩
- 小山田二郎 (1914-1991) /坐像/ 1982年/紙・水彩
- 小山田二郎 (1914-1991) /旅/ 1982年/紙・水彩
- 小山田二郎 (1914-1991) /聖母/制作年不詳/カンヴァス・油彩
- 恩地孝四郎 (1891-1955) /春/ 1953年/紙・水彩
- 恩地孝四郎 (1891-1955) /Poem "Winter"/ 1953年/紙・石版
- 春日部たすく (1903-1985) /月見草/制作年不詳/ガラス・油彩
- 桂 ゆき (1913-1991) /アフリカの思ひ出/ 1954年/ガラス・油彩
- 桂 ゆき (1913-1991) /躍動するカップ/ 1965年/ブロンズ
- 桂 ゆき (1913-1991) /女/制作年不詳/ブロンズ
- 桂 ゆき (1913-1991) /ゴンベとカラス/制作年不詳/ガラス・油彩
- 桂 ゆき (1913-1991) /ふくろう/制作年不詳/ガラス・油彩
- 桂 ゆき (1913-1991) /ブドウとキツネ/制作年不詳/ガラス・油彩
- 金守世士夫 (1922-) /飛行船のある風景/制作年不詳/紙・水彩
- 川上澄生 (1895-1972) /裸婦/ 1950年/革・彩色
- 川上澄生 (1895-1972) /洋燈を持つ洋装婦人之図/ 1954年/ガラス・油彩
- 川上澄生 (1895-1972) /聖母子像/ 1958年/板・焼絵
- 川上澄生 (1895-1972) /西洋婦人像/ 1971年/ガラス・油彩
- 川上澄生 (1895-1972) /女二人/制作年不詳/ガラス・油彩
- 川上澄生 (1895-1972) /酒宴之図/制作年不詳/ガラス・油彩
- 川上澄生 (1895-1972) /南蛮船/制作年不詳/ガラス・油彩
- 川西 英 (1894-1965) /版画集『南蛮曲 I』より/ 1927年/紙・木版
- 川西 英 (1894-1965) /版画集『南蛮曲 I』より/ 1927年/紙・木版
- 川西 英 (1894-1965) /版画集『南蛮曲 I』より/ 1927年/紙・木版
- 岸田劉生 (1891-1929) /男/ 1914-16年頃/紙・墨
- 岸田劉生 (1891-1929) /ショーウィンド/ 1915年頃/紙・水彩、軸
- 岸田劉生 (1891-1929) /縄とびする子供達/ 1916年2月4日/紙・コンテ
- 岸田劉生 (1891-1929) /畑と赤土の道(浜松風景)/ 1920年10月20日/板・油彩
- 岸田劉生 (1891-1929) /白狗図/ 1923年2月/絹本着色
- 岸田劉生 (1891-1929) /店屋の主人/ 1927年/紙・墨
- 岸田劉生 (1891-1929) /静物/ 1928年/板・油彩
- 北川民次 (1894-1989) /教会に集る群れ/ 1962年/ガラス・油彩
- 北川民次 (1894-1989) /花売り/制作年不詳/ガラス・油彩
- 木村莊八 (1893-1958) /一谷嫩軍記/ 1924年/板・油彩
- 木村莊八 (1893-1958) /暫図/制作年不詳/絹本着色
- 国吉康雄 (1889-1953) /裸婦/制作年不詳/紙・コンテ
- 小泉 清 (1900-1962) /裸婦/制作年不詳/紙・水彩
- 小出橋重 (1887-1931) /大和岡寺の辺にて/ 1912年/板・油彩

- 駒井哲郎 (1920-1976) / 嵐 / 1962年 / 紙・エッチング
- 小村雪岱 (1887-1940) / 青柳 / 1941年頃摺 / 紙・木版 (ア  
ダチ版)
- 小村雪岱 (1887-1940) / おせん / 1941年頃摺 / 紙・木版 (高  
見澤版)
- 小村雪岱 (1887-1940) / 深見草 / 1942年摺 / 紙・木版 (高  
見澤版)
- 小村雪岱 (1887-1940) / 夜雨 / 1943年摺 / 紙・木版 (高見澤版)
- 古茂田守介 (1918-1960) / 裸婦 / 制作年不詳 / 紙・水彩
- 斎藤清 (1907-1997) / 直子 / 1949-50年 / 紙・木版
- 斎藤真一 (1922-1994) / ヴィオロンの道 春の花咲く道 /  
1985年頃 / カンヴァス・油彩
- 斎藤真一 (1922-1994) / ライム・ライト / 1984年 / 紙・メゾ  
チント、アクアチント
- 斎藤義重 (1904-2001) / 作品 (白) / 1962年 / 板・油彩
- 坂田一男 (1889-1956) / オダリスク / 1952年 / カンヴァス・  
油彩
- 坂田一男 (1889-1956) / オダリスク (裸女臥床) / 1952年 / 紙・  
水彩
- 坂本善三 (1911-1987) / 冬果 / 1950年頃 / カンヴァス・油彩
- 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963) / 青鳩 / 1933年 / 木・彩色
- 佐藤春二 (1903-1982) / こけし (3点) / 制作年不詳 / 木・  
彩色
- 里見勝蔵 (1895-1981) / 椿 / 制作年不詳 / 紙・水彩
- 里見勝蔵 (1895-1981) / 不動明王 / 制作年不詳 / 紙・水彩
- 佐野繁次郎 (1900-1987) / 巴里 / 制作年不詳 / 紙・水彩
- 島田章三 (1933-2016) / 女の顔 / 制作年不詳 / ガラス・油彩
- 清水 崑 (1912-1974) / かつぱの親子 / 制作年不詳 / 色紙・水  
彩
- 清水 崑 (1912-1974) / かつぱの家族 / 制作年不詳 / 色紙・水  
彩
- 清水登之 (1887-1945) / ジャルディーニ・パブリックにて /  
制作年不詳 / 紙・グアッシュ
- 杉本健吉 (1905-2004) / 雷神 / 制作年不詳 / 色紙・着色
- 須田国太郎 (1891-1961) / 華北大同善化寺 / 1945年頃 / 紙・  
墨
- 須田国太郎 (1891-1961) / 能絵 / 1947年 / 紙・鉛筆
- 須田国太郎 (1891-1961) / 裸婦 / 制作年不詳 / 紙・水彩
- 須田剋太 (1906-1990) / 田舎兒二人 / 1985年 / 紙・鉛筆、水彩、  
クレヨン、コラージュ
- 清宮質文 (1917-1991) / コップの花 / 1969年 / ガラス・水彩
- 清宮質文 (1917-1991) / 野の花 / 1983年 / ガラス・水彩
- 清宮質文 (1917-1991) / 蠟燭 / 1988年 / ガラス・水彩
- 清宮質文 (1917-1991) / 夜明け / 制作年不詳 / ガラス・水彩
- 高橋克之 (1967-) / 緑の男 / 1990年 / カンヴァス・油彩
- 高橋忠彌 (1912-2001) / 蘇州風景 / 1949年 / カンヴァス・油  
彩
- 高橋忠彌 (1912-2001) / 作品 / 1954年 / カンヴァス・油彩
- 高橋忠彌 (1912-2001) / パイプとマッチ / 1956年頃 / カン  
ヴァス・油彩
- 高橋忠彌 (1912-2001) / 花・鳥・ランプ / 1950年代 / 紙・油  
彩
- 武井武雄 (1894-1983) / こけし / 制作年不詳 / 色紙・着色
- 武井武雄 (1894-1983) / 散歩馬車 / 制作年不詳 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『山へよする』より「表紙」 / 1919  
年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『山へよする』より「桃樹園」 /  
1919年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『山へよする』より「KAWAZIN」 /  
1919年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『山へよする』より「VIRGIN MARY」  
 / 1919年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『山へよする』より「BEPPU」 /  
1919年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『山へよする』より「果実篇」 /  
1919年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 花火 (『婦人グラフ』8月号表紙) /  
1924年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 雪の風 (『婦人グラフ』12月号表紙)  
 / 1924年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 雪の夜の伝説 (『婦人グラフ』口絵)  
 / 1926年 / 紙・木版
- 竹久夢二 (1884-1934) / 『露地のほそみち』より / 12点組の  
うち6点 / 1926年 / 紙・木版
- 田中恭吉 (1892-1915) / 五月の呪ひ / 1914年原画、1929年  
摺 / 紙・木版
- 谷内六郎 (1921-1981) / アメリカ風景 / 制作年不詳 / 紙・彩  
色
- 谷内六郎 (1921-1981) / ままごとあそび / 制作年不詳 / 色紙・  
墨
- 谷内六郎 (1921-1981) / 椿 / 制作年不詳 / 紙・木版
- 谷内六郎 (1921-1981) / 狸囃子 / 制作年不詳 / 紙・油彩
- 谷角日沙春 (1893-1971) / 深秋風景 / 1952-53年 / 絹本着色
- 谷中安規 (1897-1946) / 『少年画集』1 祭り / 1933年 / 紙・  
木版・手彩色
- 谷中安規 (1897-1946) / 『少年画集』2 桜 / 1933年 / 紙・木  
版・手彩色
- 谷中安規 (1897-1946) / 『少年画集』3 見世物 / 1933年 / 紙・  
木版・手彩色
- 谷中安規 (1897-1946) / 『少年画集』6 水遊び / 1933年 / 紙・  
木版・手彩色
- 鳥海青児 (1902-1972) / けし / 制作年不詳 / カンヴァス・油  
彩
- 鳥海青児 (1902-1972) / メキシコ風俗 / 制作年不詳 / 紙・鉛筆、  
パステル
- 佃 公彦 (1930-2010) / 『愛の世界』より 近くて遠きは / 制  
作年不詳 / 紙・水彩
- 佃 公彦 (1930-2010) / 『愛の世界』より 宇宙人 / 制作年不  
詳 / 紙・水彩
- 佃 公彦 (1930-2010) / 『愛の世界』より 花はなくても / 制  
作年不詳 / 紙・水彩
- 蔦 衛 (1928 - 2009) / 車付き玩具 / 制作年不詳 / 木・彩色
- 椿 貞雄 (1896-1957) / 無花果図 / 1935年 / カンヴァス・油  
彩
- 鶴岡政男 (1907-1979) / 子ども / 1950年 / ガラス・油彩
- 鶴岡政男 (1907-1979) / 鳥 / 1951年 / ブロンズ

- 鶴岡政男 (1907-1979) /凝視/ 1953年/ガラス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /鳩を持つ少女/ 1954年/ガラス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /マスク (仮面) / 1954年/カンヴァス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /陽気な小鳥/ 1954年/ガラス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /untitled/ 1960年頃/カンヴァス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /街灯/ 1976年/カンヴァス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /家元/制作年不詳/紙・パステル  
 鶴岡政男 (1907-1979) /顔/制作年不詳/紙・インク  
 鶴岡政男 (1907-1979) /小鳥と少女/制作年不詳/ガラス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /仲間たち/制作年不詳/紙・水彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /人/制作年不詳/カンヴァス・油彩  
 鶴岡政男 (1907-1979) /二つの陽/制作年不詳/紙・パステル  
 鶴岡政男 (1907-1979) /踏んづけられた顔/制作年不詳/紙・インク、墨  
 鶴岡政男 (1907-1979) /雪の日/制作年不詳/紙・パステル  
 中原淳一 (1913-1983) /ものおもひ/制作年不詳/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「尾花」/ 1935年/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「女郎花」/ 1935年/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「葛の花」/ 1935年/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「桔梗」/ 1935年/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「撫子」/ 1935年/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「萩」/ 1935年/紙・石版  
 中原淳一 (1913-1983) /「秋 ななくさ」より「藤袴」/ 1935年/紙・石版  
 中村直人 (1905-1981) /楽器/制作年不詳/ブロンズ  
 難波田史男 (1941-1974) /ピッコロの家/ 1969年/紙・インク、水彩  
 野田英夫 (1908-1939) /少女/ 1936年/カンヴァス・油彩  
 野田英夫 (1908-1939) /川のある風景 (金門橋の見える公園) / 1937年/紙・水彩、インク  
 野田英夫 (1908-1939) /女の顔/制作年不詳/紙・インク、墨  
 橋本章 (1919-2003) /風景 廃墟/制作年不詳/紙・鉛筆、コンテ  
 長谷川潔 (1891-1980) /骰子独楽と幸福の星/ 1961年/紙・メゾチント  
 長谷川利行 (1891-1940) /男の顔/ 1931年/カンヴァス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /カフェーオリエント/ 1935年/カンヴァス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /三河島風景/ 1935年/紙・水彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /芝居小屋/ 1936年/紙・水彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /ムーランルージュの踊り子/ 1936年/ボード・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /水蓮/ 1937年/板・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /相撲 (駒の里・桂川取組) / 1938年/ガラス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /相撲 (取組) / 1938年/ガラス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /ねこ/制作年不詳/ガラス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /湯浴する女/制作年不詳/ガラス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩  
 長谷川利行 (1891-1940) /力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩  
 初山 滋 (1897-1973) /あめんぼの行進/ 1934年頃/紙・水彩  
 初山 滋 (1897-1973) /風/ 1948年/紙・木版  
 初山 滋 (1897-1973) /作品/ 1956年/紙・木版  
 初山 滋 (1897-1973) /へんなぞう/ 1964年/紙・水彩  
 初山 滋 (1897-1973) /すいかととんぼ/ 1967年/紙・水彩  
 初山 滋 (1897-1973) /少年の顔/制作年不詳/紙・色鉛筆  
 初山 滋 (1897-1973) /らくだ/制作年不詳/紙・水彩  
 花柳章太郎 (1894-1965) /射的/制作年不詳/ガラス・油彩  
 浜田知明 (1917-2018) /初年兵哀歌 (歩哨) / 1951年/紙・エッチング、アクアチント  
 浜田知明 (1917-2018) /詩人/ 1963年/紙・エッチング、アクアチント  
 林 倭衛 (1895-1945) /桃/制作年不詳/板・油彩  
 藤島武二 (1867-1943) /夜の黄浦江/ 1941年頃/板・油彩  
 藤森静雄 (1891-1943) /夜のピアノ/ 1914年/紙・木版  
 前田寛治 (1896-1930) /裸体 (後向きの裸婦) / 1927年/カンヴァス・油彩  
 前田常作 (1926-2007) /天の川対応光 NO.3 / 1978-79年/紙・アクリル  
 松本 榮 (1927-2007) /風船売り/ 1976年/紙・木版  
 松本 榮 (1927-2007) /辻音楽師 (メキシコ) / 1997年/ガラス・油彩  
 松本 榮 (1927-2007) /チンドン屋/制作年不詳/ガラス・油彩  
 松本 竣介 (1912-1948) /西銀座風景/ 1941年/紙・油彩、水彩  
 丸山晚霞 (1867-1942) /風景/制作年不詳/紙・水彩  
 三岸好太郎 (1903-1934) /風景/ 1927年/カンヴァス・油彩  
 南 桂子 (1911-2004) /赤い花・鳥/制作年不詳/紙・インク  
 村上華岳 (1888-1939) /菩薩/ 1922年頃/絹本墨画淡彩  
 村上華岳 (1888-1939) /秋谿図/ 1933年頃/絹本墨画淡彩  
 盛秀太郎 (1895-1986) /こけし/ 1945年以降/木・彩色  
 山口 薫 (1907-1968) /水/ 1944年/カンヴァス・油彩  
 山口 薫 (1907-1968) /菱形の池のある庭/ 1969年/紙・水



## 彩

- 山口長男 (1902-1983) / 作品 / 制作年不詳 / 紙・水彩  
 山口長男 (1902-1983) / 表紙原画 (自由の彷徨) / 制作年不詳 / 紙・インク・水彩  
 山口長男 (1902-1983) / 表紙原画 (鶴・花・女) / 制作年不詳 / 紙・インク・水彩  
 山口長男 (1902-1983) / ラッパ・花・星 / 制作年不詳 / 紙・インク・水彩  
 山中 現 (1954-) / カタチノアツマルバショ / 1992年 / 紙・コラージュ  
 山中春雄 (1919-1962) / 白夜 / 1955年 / 板・油彩  
 山中春雄 (1919-1962) / 顔 / 制作年不詳 / 紙・油彩  
 山中春雄 (1919-1962) / 人物 / 制作年不詳 / 紙・鉛筆、インク  
 山中春雄 (1919-1962) / 静物 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩  
 山中春雄 (1919-1962) / 鳥 / 制作年不詳 / 紙・鉛筆  
 山中春雄 (1919-1962) / 街 (横浜) / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩  
 陽 成二 (1898-1935) / 支那人の皿廻し / 1928年 / ブロンズ  
 横山隆一 (1909-2001) / 魚 / 1972年 / カンヴァス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / シャトル風景 / 1937年 / カンヴァス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 森林帯 / 1938年 / カンヴァス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 河野保雄像 / 1950-60年代 / 紙・水彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 安達太良 / 1996年 / ガラス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 阿武隈川 (岡部) / 1996年 / ガラス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 飯坂から見た吾妻山 / 1996年 / ガラス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 冬の二本柳 / 1996年 / ガラス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 冬の二本柳の町 / 1996年 / ガラス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 保原から見た霊山 / 1996年 / ガラス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 酒田郊外 / 1997年 / 紙・水彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 阿武隈川 四ッ手網 / 1997年 / 紙・水彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 翁島 / 1997年 / 紙・水彩  
 吉岡 憲 (1915-1956) / 花 / 制作年不詳 / 紙・水彩・鉛筆  
 吉岡 憲 (1915-1956) / 婦人像 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩  
 吉岡 憲 (1915-1956) / 満州風景 / 制作年不詳 / ガラス・油彩  
 脇田 和 (1908-2005) / 少年と鶏 / 制作年不詳 / 紙・油彩  
 作者不詳 / 獅子頭 / 制作年不詳 / 木・彩色  
 作者不詳 / 獅子頭 / 制作年不詳 / 木・彩色  
 小川芋銭 (1868-1938) / 田代蘇陽宛書簡 / 制作年不詳 / 紙・墨書  
 河野保雄 (1936-2013) / 海 / 1954年9月8日 / 板・油彩  
 宗像喜代次 (1912-1985) / 青の時代 / 1953年3月3日 / 板・油彩



展示風景

## ③第Ⅲ期常設展示

会期：令和元年9月7日(土)～12月27日(金)

- 内容：・森田恒友展関連展示 喜多方美術倶楽部：小川芋銭《鍾馗図》、酒井三良《雪に埋もれつつ正月はゆく》  
 ・昭和の洋画 吉井忠と仲間たち：麻生三郎《家族》、吉井忠《麦の穂を持つ女》  
 ・フランス美術の名品：カミーユ・コロー《ヴィル・ダヴレー》、ジョルジュ・ルオー《超人》  
 ・アメリカ美術特集 ベン・シャーンとアンドリュウ・ワイエス：ワイエス《松ぼっくり男爵》、ベン・シャーン《ラッキードラゴン》、《リルケ『マルテの手記』より》  
 ・現代の版画：加納光於《星反芻学》、李禹煥《遺跡地にて》、斎藤清《ヌード(4)》

## ◆出品リスト：

[作家名(生没年) / 作品名 / 制作年 / 材質・技法 / 備考 (\*は寄託作品)]

## 展示室A

【森田恒友展関連展示：喜多方美術倶楽部】

- 小川芋銭 (1868-1938) / 鍾馗図 / 1915 (大正4)年 / 絹本墨画淡彩 \*  
 小川芋銭 (1868-1938) / 飲中八仙図 / 1916 (大正5)年 / 紙本墨画淡彩 \*  
 小川芋銭 (1868-1938) / 細道絵日記 / 1911 (明治44)年 / 紙本墨画淡彩  
 小川芋銭 (1868-1938) / 於那羅合戦 / 1921 (大正10)年 / 紙本墨画淡彩  
 喜多方美術倶楽部関係資料 (小川芋銭絵付『太刀豆の芽菓子皿』 \* / 酒井三良絵付『老松寿色菓子皿』 \* / 色紙 \* / 書簡 \* 等)  
 木村芳雨 (1877-1917) / 爵 / 1916 (大正5)年 / 銅  
 小川千甕 (1882-1971) / 門間春雄訪問記 / 1917 (大正6)年 / 紙本着色  
 小川千甕 (1882-1971) / 越後瀬波海岸の松林 / 1919 (大正8)年 / 板・油彩  
 小川千甕 (1882-1971) / 紀伊新宮河原 / 1917 (大正6)年頃 / 麻布・油彩  
 小川千甕 (1882-1971) / 宇都乃山道 / 1917 (大正6)年頃 / 絹本着色  
 酒井三良 (1897-1969) / 雪に埋もれつつ正月はゆく / 1919 (大正8)年 / 絹本着色・屏風二曲一隻  
 酒井三良 (1897-1969) / 左義長 / 1920 (大正9)年 / 絹本着色

酒井三良 (1897-1969) / 村芝居 / 1921-24 (大正 10-13) 年 / 絹本着色  
 酒井三良 (1897-1969) / 田園秋色図 / 1921-23 (大正 10-12) 年 / 絹本着色  
 森田 恒友 (1881-1933) / 裏磐梯冬日 / 制作年不詳 / 絹本着色  
 【昭和の洋画 吉井忠と仲間たち】  
 長谷川利行 (1891-1940) / 浅草の女 / 1935 (昭和 10) 年 / カンヴァス・油彩  
 麻生三郎 (1913-2000) / 家族 / 1959 (昭和 34) 年 / カンヴァス・油彩  
 松本竣介 (1912-1948) / 赤い建物 / 1936 (昭和 11) 年 / 紙・油彩  
 松本竣介 (1912-1948) / 駅 / 1942 (昭和 17) 年 / 板に紙・油彩  
 寺田政明 (1912-1989) / 谷中風景 / 1929 (昭和 4) 年 / ボール紙・油彩  
 寺田政明 (1912-1989) / 夜の花 / 1956 (昭和 31) 年 / カンヴァス・油彩  
 寺田政明 (1912-1989) / 対話 / 1963 (昭和 38) 年 / カンヴァス・油彩  
 寺田政明 (1912-1989) / 樹木と街 / 1980 (昭和 55) 年 / 板・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 赤い風景 / 1939 (昭和 14) 年 / カンヴァス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 麦の穂を持つ女 / 1941 (昭和 16) 年 / カンヴァス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 街 / 1949 (昭和 24) 年 / カンヴァス・油彩  
 吉井 忠 (1908-1999) / 寓話 / 1966 (昭和 41) 年 / カンヴァス・油彩

#### 展示室B

##### 【フランス美術の名品】

カミーユ・コロー (1796-1875) / ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道 / 1873 年 / カンヴァス・油彩  
 カミーユ・ピサロ (1830-1903) / エラニーの菜園 / 1899 年 / カンヴァス・油彩  
 クロード・モネ (1840-1926) / ジヴェルニーの草原 / 1890 年 / カンヴァス・油彩  
 ピエール＝オーギュスト・ルノワール (1841-1919) / 帽子を被る女 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩  
 ジョルジュ・ルオー (1871-1958) / 超人 / 1916 年 / 紙・油彩  
 ジョルジュ・ルオー (1871-1958) / 版画集《ミセレーレ》(58 点組) / 1922-27 年 (1948 年出版) / 紙・銅版混合技法  
 1 神よ、我を憐れみたまえ、御身の大きいなる慈悲によりて / 1923 年  
 6 我らは苦役囚ではないのか / 1926 年  
 7 我ら自らを王と思ひ / 1923 年  
 8 顔に皺を描かぬ者はいようか? / 1923 年  
 11 明日は晴れるだろう、難破した者は、そう言った / 1922 年  
 【アメリカ美術特集：ベン・シャーンとアンドリュー・ワイエス】  
 ジョン・スローン (1871-1951) / ジェファーソンマーケット

ナイト / 1911 年 / カンヴァス・油彩  
 ジョン・スローン (1871-1951) / 五番街の批評家たち / 1940 年 / カンヴァス・油彩  
 レジナルド・マーシュ (1898-1954) / 回転ブランコ / 1931 年 / 板・テンペラ  
 国吉康雄 (1889-1953) / 婦人と子供 / 1920 年 / カンヴァス・油彩  
 野田英夫 (1908-1939) / 牛乳ワゴン / 1936 年 / カンヴァス・油彩  
 ベン・シャーン (1898-1969) / W. P. A. サンデー / 1939 年 / 紙・グアッシュ  
 ベン・シャーン (1898-1969) / 恐怖の夜の町 / 1951 年 / ボード・グアッシュ、テンペラ  
 ベン・シャーン (1898-1969) / ラッキードラゴン / 1960 年 / 綿布・テンペラ  
 ベン・シャーン (1898-1969) / 久保山とラッキードラゴン伝説 / 1965 年 / 書籍  
 ベン・シャーン (1898-1969) / これがナチの残虐だ / 1942 年 / 紙・オフセット  
 ベン・シャーン (1898-1969) / 警告! …インフレーションは不況を意味する / 1946 年 / 紙・オフセット  
 ベン・シャーン (1898-1969) / これらあらゆる権利のために我々は闘いを開始したのだ / 1946 年 / 紙・リトグラフ  
 ベン・シャーン (1898-1969) / 版画集《リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…》(24 点組) / 1968 年 / 紙・リトグラフ  
 1 扉 1 / 2 扉 2 / 3 多くの都市を / 4 多くの人々を / 5 多くの事物を / 以上●  
 19 愛にみちた多くの夜の回想 / 21 白衣の中に眠りおち恢復をまつ産後の女 / 22 死んでゆく人の枕もと / 23 死者の傍らで / 24 一篇の詩の最初の言葉 / 以上○  
 アンドリュー・ワイエス (1917-2009) / ガニング・ロックス / 1966 年 / 紙・水彩  
 アンドリュー・ワイエス (1917-2009) / ドイツ人の住むところ / 1973 年 / 紙・水彩  
 アンドリュー・ワイエス (1917-2009) / 松ぼっくり男爵 / 1976 年 / ボード・テンペラ  
 アンドリュー・ワイエス (1917-2009) / そよ風 / 1978 年 / 紙・水彩

#### 展示室C

##### 【現代の版画】

加納光於 (1933-) / 星 反芻学 / 1962 (昭和 37) 年 / 紙・インタリオ  
 加納光於 (1933-) / 星 反芻学 / 1962 (昭和 37) 年 / 紙・インタリオ  
 加納光於 (1933-) / 星 反芻学 / 1962 (昭和 37) 年 / 紙・インタリオ  
 加納光於 (1933-) / 波動説 No.26 / 1984-85 (昭和 59-60) 年 / 紙・カラーインタリオ  
 加納光於 (1933-) / 《しし座》一偶有と変容 / I・II・III 1991-92 (平成 3-4) 年 / 紙・カラーインタリオ  
 百瀬 寿 (1944-) / S-Orange and Green by Gold and Silver /

1985 (昭和 60) 年 / 紙・シルクスクリーン

百瀬 寿 (1944-) / S-Pink by Silver and Gold / 1985 (昭和 60) 年 / 紙・シルクスクリーン

百瀬 寿 (1944-) / S-Silver and Gold by Silver and Gold / 1986 (昭和 61) 年 / 紙・シルクスクリーン

百瀬 寿 (1944-) / S-Reversible, Blues thru Pinks / 1986 (昭和 61) 年 / 紙・シルクスクリーン

百瀬 寿 (1944-) / S-Reversible, Metallic Magenta thru Metallic Blue / 2000 (平成 12) 年 / 紙・シルクスクリーン

李 禹煥 (1936-) / 遺跡地にて (5 点組) / 1984 (昭和 59) 年 / 紙・リトグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / グリニッチビレッジ (ニューヨーク) / 1962 (昭和 37) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / セントラル公園、ニューヨーク / 1962 (昭和 37) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / 猫 (1) / 1963 (昭和 38) 年 / ヌード (4) / 1963 (昭和 38) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / バニアンツリー、ハワイ (A) / 1964 (昭和 39) 年 / 紙・コラグラフ / 以上●

斎藤 清 (1907-1997) / アン (シアトル) / 1962 (昭和 37) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / セーヌ、パリ (B) / 1963 (昭和 38) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / 雪のボストン / 1963 (昭和 38) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / ヌード (4) / 1963 (昭和 38) 年 / 紙・コラグラフ

斎藤 清 (1907-1997) / 猫 (2) / 1963 (昭和 38) 年 / 紙・コラグラフ / 以上○

#### 展示室 D

##### 【小関庄太郎と芸術写真】

小関庄太郎 (1907-2003) / 籠の家 / 1925 (大正 14) 年 2 月 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 田舎の風景 / 1926 (大正 15) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 田園風景 / 1926 (昭和元) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 古風な町 / 1928 (昭和 3) 年 10 月 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 一人歩む / 1929 (昭和 4) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 堤の上の散歩 / 1930 (昭和 5) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 二人像 / 1932 (昭和 7) 年 6 月 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 包帯の男 / 1936 (昭和 11) 年 1 月 16 日 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 手をふる少女 / 1933-36 (昭和 8-11) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 夕照 / 1938 (昭和 13) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 遠い汽車 / 1941 (昭和 16) 年 / ゼ

ラチン・シルバークラフト

小関庄太郎 (1907-2003) / 傘をもつ自画像 / 1954 (昭和 29) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

名取久作 (1905-1978) / 郊外秋景 / 1929 (昭和 4) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

萩原露愁 (1895-1973) / 晩秋の夕 / 1934 (昭和 9) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

南 賢治 (1898-1982) / 冬日 / 1931 (昭和 6) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

椿本金三郎 (1897-1982) / 白い犬 / 1928 (昭和 3) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

本田仙花 (1897-1951) / 影 / 1924 (大正 13) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

本田仙花 (1897-1951) / 静物 / 1925 (大正 14) 年 5 月 18 日 / ゼラチン・シルバークラフト

佐藤 信 (1897-1987) / 都会 / 1928 (昭和 3) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

佐藤 信 (1897-1987) / 子犬のいる風景 / 1920 年代 / ゼラチン・シルバークラフト

佐藤 信 (1897-1987) / 河畔 / 1925 (大正 14) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

氏家健吉 (生没年不詳) / 湖畔風景 / 1924 (大正 13) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

金澤治男 (1913-1939) / 夜の静物 / 1935 (昭和 10) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

菊田蝶秋 (?-1930 年頃) / 肖像 / 1925 (大正 14) 年 / ゼラチン・シルバークラフト

#### 屋外・ホール彫刻

林 範親 (1948-) / 路地裏 / 1994 (平成 6) 年 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤 忠良 (1912-2011) / 若い女・シャツ / 1982 (昭和 57) 年 / ブロンズ

エミリオ・グレコ (1913-1995) / スケートをする女 / 1951 年 / ブロンズ

マリノ・マリーニ (1901-1980) / 騎手 / 1956-1957 年 / ブロンズ

井上武吉 (1930-1998) / My Sky Hole 89-2 / 1989 (平成元) 年 / ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ (1881-1955) / 歩く花 / 1952-53 年 原型作成 / ブロンズ・エナメル塗装 \*

● = 展示期間 9/7-11/17

○ = 展示期間 11/19-12/27



展示風景

## ④第IV期常設展示

会期：令和2年1月5日（日）～3月8日（日）

内容：・現代の日本画 中野蒼穹小特集：中野蒼穹《武蔵野》、菊地養之助《縄をなう人》

- ・佐藤玄々（朝山）の彫刻：《巢鶏》《山嵐》
- ・新収蔵 宮崎進／若松光一郎：宮崎進《北の祭》、若松光一郎《宇宙の記念碑（一）》
- ・ドーミエ《日々の出来事（アクチュアリ）》、ロダン《影の頭部》
- ・海外の版画：シャガール《死せる魂》、ルオー《流れる星のサーカス》
- ・版画 斎藤 清／川上澄生：斎藤 清《会津の冬（21）》、川上澄生《女と洋燈》

関連事業：

- ・トークイベント「宮崎進の作品を語る」  
講師：宮崎とみ糸氏（作家遺族）、赤松祐樹氏（多摩美術大学美術学部非常勤講師）、黒川 創氏（作家）  
司会：荒木康子（学芸課長）  
日時：令和2年2月9日（日）14時～15時  
参加者数：15名

## ◆出品リスト：

[作家名（生没年）／作品名／制作年／材質・技法／備考（\*は寄託作品）]  
展示室A

## 【現代の日本画：中野蒼穹小特集】

下村観山（1873-1930）／寒空／1923（大正12）年／絹本着色

中野蒼穹（1926-1981）／武蔵野／1974（昭和49）年／紙本着色

中野蒼穹（1926-1981）／残光／1964（昭和39）年／紙本着色

中野蒼穹（1926-1981）／爽晨／1969（昭和44）年／紙本着色

中野蒼穹関係資料

須田瑛中（1907-1964）／篝火／1959（昭和34）年／紙本着色

須田瑛中（1907-1964）／枯山水石組／1956（昭和31）年／紙本着色

米倉 兌（1913-2000）／鶴飼の果て〈四季折々〉／1990（平成2）年／紙本墨画淡彩

米倉 兌（1913-2000）／たまり場〈南船北馬〉／1983（昭和58）年／紙本墨画淡彩

太田正弘（1914-1978）／遠い驟雨／1970（昭和45）年／紙本着色

池田幹雄（1928-）／夏の記憶／1987（昭和62）年／紙本着色

上野泰郎（1926-2005）／きのう・きょう・あす／1988（昭和63）年／紙本着色

上野泰郎（1926-2005）／つきぬいのち／1991（平成3）年／紙本着色

菊地養之助（1908-2003）／縄をなう人／1955（昭和30）年／紙本着色

鳥居未央（1894-1970）／冬の漁港／1965（昭和40）年／紙

本着色

山本丘人（1900-1986）／月夜の噴煙／1962（昭和37）年／絹本着色

## 【佐藤玄々（朝山）の彫刻】

佐藤玄々（朝山）（1888-1963）／南洋人物／大正初期／木彫彩色

佐藤玄々（朝山）（1888-1963）／巢鶏／1920（大正9）年頃／木彫彩色

佐藤玄々（朝山）（1888-1963）／釈迦如来像／制作年不詳／木彫

佐藤玄々（朝山）（1888-1963）／牛／1926（大正15）年／木彫

佐藤玄々（朝山）（1888-1963）／山風／昭和20-30年代／木彫彩色

## 展示室B

## 【新収蔵：宮崎進／若松光一郎】

宮崎 進（1922-2018）／面／1968（昭和43）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／祭の夜／1965（昭和40）年／板・油彩

宮崎 進（1922-2018）／祭の夜／1965（昭和40）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／北の祭／1964（昭和39）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／夜／1965（昭和40）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／[生きるもの]または[祭り]／1965（昭和40）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／見世物の女／1965（昭和40）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／冬／1965（昭和40）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／幕のむこう／1966（昭和41）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／軍艦旗／1967（昭和42）年／カンヴァスボード・油彩

宮崎 進（1922-2018）／手品師／1967（昭和42）年／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／女／1958-63（昭和33-38）年／板・油彩

宮崎 進（1922-2018）／母と子／1950-60年代／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／[祭の風景]／1950-60年代／板・油彩

宮崎 進（1922-2018）／[小屋]／1950-60年代／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／山塊／1950-60年代／カンヴァス・油彩

宮崎 進（1922-2018）／常磐／1950-60年代／カンヴァス・油彩

若松光一郎（1914-1995）／高台の家／1943（昭和18）年／カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / 戦時下の女たち / 1944 (昭和 19) 年 / カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / 髪を剃く女(または「粧」) / 1951 (昭和 26) 年 / カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / 石切工 / 1950 年代 / カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / 作品 (A) / 1963 (昭和 38) 年 / カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / [作品] / 1963 (昭和 38) 年 / カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / [作品] / 1966 (昭和 41) 年 / 板・カゼインカラー、墨、和紙、他

若松光一郎 (1914-1995) / 裳 / 1968 (昭和 43) 年 / カンヴァス・カゼインカラー、リキテックス、他

若松光一郎 (1914-1995) / 大地の歌 26.1.86 / 1986 (昭和 61) 年 / カンヴァス・カゼインカラー、墨、和紙、油彩

若松光一郎 (1914-1995) / 宇宙の記念碑 (一) / 1977 (昭和 52) 年 / カンヴァス・カゼインカラー、墨、和紙、他

若松光一郎 (1914-1995) / 時空・薫風 / 1993 (平成 5) 年 / カンヴァス・カゼインカラー、墨、和紙、他

若松光一郎 (1914-1995) / [花] / 1930 年代 / 板・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / [無題] / 1930 年代 / カンヴァス・油彩

若松光一郎 (1914-1995) / [裁縫をする女性] / 1945 (昭和 20) 年 / 紙・コンテ、水彩、パステル

若松光一郎 (1914-1995) / [石切工 (下図)] / 1950 年代 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [出漁前 (下図)] / 1960 年代 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [炭坑風景 (ズリ山)] / 制作年不詳 / 紙・鉛筆

若松光一郎 (1914-1995) / [炭坑風景 (井戸端)] / 制作年不詳 / 紙・インク、水彩

若松光一郎 (1914-1995) / [炭坑夫 (胸像)] / 制作年不詳 / 紙・コンテ、水彩

若松光一郎 (1914-1995) / [炭坑夫 (立像)] / 制作年不詳 / 紙・コンテ、水彩

若松光一郎 (1914-1995) / [炭坑風景] / 1956 (昭和 31) 年 / 和紙・コンテ、パステル

若松光一郎 (1914-1995) / [炭坑風景 (長屋)] / 1956 (昭和 31) 年 / 紙・コンテ、パステル

若松光一郎 (1914-1995) / [鈴木新夫 2] / 制作年不詳 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [鎌田正蔵] / 1946 (昭和 21) 年 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [柴田左千雄] / 1946 (昭和 21) 年 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [竹谷富士雄] / 1943 (昭和 18) 年 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [柴田善登] / 制作年不詳 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [自画像] / 1946 (昭和 21) 年 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / 鳥居敏文さんの像 / 制作年不詳 / 紙・コンテ

若松光一郎 (1914-1995) / [ピアノを弾く女性] / 制作年不詳 / 紙・インク、水彩、パステル

若松光一郎 (1914-1995) / [絵を描く少女たち] / 1951 (昭和 26) 年 / 紙・インク、水彩

若松光一郎 (1914-1995) / [少女と女] / 1954 (昭和 29) 年 / 紙・インク、水彩

#### 展示室 C

##### 【海外の版画】

パブロ・ピカソ (1881-1973) / 二人の裸婦 / (18 点組) 1945-46 年 / 紙・リトグラフ

(1) 1945 年 11 月 10 日 / (3) 1945 年 11 月 21 日 / (7) 1945 年 12 月 30 日 / (11) 1946 年 1 月 21 日 / (13) 1946 年 1 月 25 日 / (16) 1946 年 2 月 6 日 / (18) 1946 年 2 月 12 日

マルク・シャガール (1887-1985) / 版画集『死せる魂』 / (96 点組) 1923-25 年 (1948 年発行) 紙・銅版

(2) 旅籠屋 / (6) 馭者セリファン / (9) 扉口でのマニーロフとチーチコフ / (11) 管理人 / (19) 道案内 / (28) 農民たち集まる / (31) サバケーヴィチの家 / (41) プリュージュシキンの村 / (44) プリュージュシキンの部屋 / (56) 靴屋マクシム・チュリヤートニコフ

フェルナン・レジェ (1881-1955) / サーカス / 1950 年 / 紙・リトグラフ

ジョルジュ・ルオー (1871-1958) / 版画集『流れる星のサーカス』 (17 点組) / 1934-35 年 (1938 年発行) / 紙・銅版

(1) 扉絵 - 見世物小屋の呼び込み 1934 年 / (3) 苦いレモン 1935 年 / (5) 曲芸師 1934 年 / (11) アーサー親方 1934 年 / (13) 気むずかし屋 1935 年 / (16) オーギュスト 1935 年

#### 展示室 D

##### 【版画：斎藤清 / 川上澄生】

斎藤清 (1907-1997)

会津の冬 (21) 1974 (昭和 49) 年 / (22) (23) (24) (25) 1976 (昭和 51) 年 / (26) (27) (28) (29) 1977 (昭和 52) 年 / (30) 1978 (昭和 53) 年 / すべて紙・木版

川上澄生 (1895-1972)

女と洋燈 (1) (2) 1971 (昭和 46) 年

(3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) 1972 (昭和 47) 年 / すべて紙・木版

##### 屋外・ホール彫刻

林 範親 (1948-) / 路地裏 / 1994 (平成 6) 年 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤忠良 (1912-2011) / 若い女・シャツ / 1982 (昭和 57) 年 / ブロンズ

エミリオ・グレコ (1913-1995) / スケートをする女 / 1951 年 / ブロンズ

マリノ・マリーニ (1901-1980) / 騎手 / 1956-1957 年 / ブロンズ

井上武吉（1930-1998）／My Sky Hole 89-2／1989（平成元）  
年／ステンレス・鏡面磨き  
フェルナン・レジエ（1881-1955）／歩く花／1952-53年／原  
型作成／ブロンズ・エナメル塗装＊

## 2 企画展

令和元年度は6回の企画展を開催し、国内外の様々な文化を紹介した。

### (1) 東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展



会期 平成31年3月26日(火)～令和元年5月6日(月・祝)  
[開催日数38日(令和元年度32日)]

分野 絵画、版画、資料

展示数 111点

観覧料 一般・大学生 1,500 (1,300) 円、学生 1,100 (900) 円、高校生以下無料 ※ ( ) 内は20名以上の団体料金

観覧者数 116,344名

担当 荒木康子、紺野朋子、伊藤 匡

主催 東日本大震災復興祈念「伊藤若冲展」実行委員会 [構成: 福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館、福島民友新聞社、福島中央テレビ]

#### 概要

東日本大震災復興を祈念し開催した伊藤若冲の回顧展。京都国立博物館で「伊藤若冲展」を企画した狩野博幸氏の監修により、重要文化財の『蓮池連地図』、『果蔬素涅槃図』を始め、海外からも借用し、水墨画を中心とした100点以上の作品により構成。若冲作品が最も早い使用例とされる、プルシアン・ブルー（紺青）の絵具（国重文）も参考展示した。

#### 関連事業

- 講演会「今を生きる若冲絵画―“旦那芸”の凄み―」  
講師：狩野博幸氏（美術史家、展覧会監修者）  
日時：平成31年4月16日（火）14時～15時30分  
場所：講堂  
参加者数：250名
- A・O・Z（アオウゼ）連携企画レクチャー
- ①「伊藤若冲の芸術と生涯」  
講師：伊藤 匡（専門員）  
日時：平成31年3月12日（火）14時～15時30分  
場所：A・O・Z大活動室  
参加者数：160名
- ②「伊藤若冲展 見どころはここ！」  
講師：紺野朋子（副主任学芸員）  
日時：平成31年4月23日（火）14時～15時30分  
場所：A・O・Z大活動室  
参加者数：180名
- ぬりえコーナー  
日時：展覧会会期中  
場所：エントランスホール  
参加者数：約47,000名



展示風景



講演会 (4/16)

## ◆出品リスト:

[No./指定/作品名/員数/材質技法/寸法 (cm)/制作年/所蔵]

- 1 / ○ / 隠元豆・玉蜀黍図 / 双幅 / 紙本墨画 / (各) 143.4 × 71.5 / 和歌山・草堂寺
- 2 / 葡萄図 / 一幅 / 紙本墨画 / 106.7 × 39.3 / フィラデルフィア美術館
- 3 / 朝顔図 / 一幅 / 紙本墨画 / 109.2 × 41.5 / フィラデルフィア美術館
- 4 / 白鶴図 / 双幅 / 絹本著色 / (各) 124.7 × 70.0
- 5 / 老松鸚鵡図 / 一幅 / 絹本著色 / 120.8 × 50.5
- 6 / ○ / 鸚鵡図 / 一幅 / 絹本著色 / 83.6 × 42.7 / 和歌山・草堂寺
- 7 / 鯉図 / 一幅 / 絹本著色 / 106.2 × 48.1 / 東京藝術大学大学美術館
- 8 / 墨竹図 / 一幅 / 紙本墨画 / 105.0 × 28.3 / 宝暦9年(1759)頃 / 京都国立博物館
- 9 / 拾得および鶏図 / 三幅対 / 紙本墨画 / (各) 101.8 × 28.9 / 京都・禅居庵
- 10 / 松に雄鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 102.7 × 28.8
- 11 / 猿猴捉月図 / 一幅 / 紙本墨画 / 114.9 × 48.4 / 明和7年(1770)頃 / キンベル美術館
- 12 / 寿老人・孔雀・菊図 / 三幅対 / 紙本墨画 / (各) 110.1 × 29.4 / 千葉市美術館
- 13 / 虎溪三笑図 / 一幅 / 紙本墨画 / 104.5 × 28.0
- 14 / 寒山図 / 一幅 / 紙本墨画 / 106.7 × 30.3
- 15 / 花鳥蔬菜図押絵貼屏風 / 六曲一双 / 紙本墨画 / (各図) 134.8 × 50.0 / 宝暦10年(1760)
- 16 / 松竹梅群鶴図 / 双幅 / 紙本墨画 / (各) 125.2 × 62.0 / 宝暦13年(1763)頃
- 17 / 松梅双鶴図 / 一幅 / 紙本墨画淡彩 / 135.0 × 59.4 / 宝暦5年(1755)頃
- 18 / 花卉双鶏図 / 一幅 / 絹本著色 / 135.0 × 67.5
- 19 / 雪柳雄鶏図 / 一幅 / 絹本著色 / 113.5 × 50.8
- 20 / 紫陽花図 / 一幅 / 紙本墨画 / 119.0 × 45.5
- 21 / 蓮・牡丹図 / 双幅 / 紙本墨画 / (各) 131.5 × 62.3
- 22 / 仙人掌図 / 一幅 / 紙本墨画 / 103.4 × 29.0
- 23 / 仙人掌鳩図 / 一幅 / 紙本墨画 / 106.1 × 29.2
- 24 / 雪中叭々鳥図 / 一幅 / 絹本墨画 / 95.4 × 26.2
- 25 / 鶏図押絵貼屏風 / 六曲一双 / 紙本墨画 / (各図) 126.4 × 49.5 / ミネアポリス美術館
- 26 / 梅鶏図 / 1幅 / 紙本墨画 / 107.7 × 29.4 / 寛政5年(1793)
- 27 / 竹に雄鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 118.5 × 46.6
- 28 / 粟に雄鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 102.0 × 26.9
- 29 / 隠元豆に鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 100.1 × 29.7
- 30 / 鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 111.8 × 30.7 / 寛政4年(1792)〈寛政2年(1790)〉 / 東京富士美術館
- 31 / 鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 91.0 × 30.6 / 東京富士美術館
- 32 / 雨樋に鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 93.4 × 27.9
- 33 / 群鶏図 / 双幅 / 紙本墨画 / (左) 158.1 × 82.7、(右) 158.1 × 100.5 / 寛政4年(1792)〈寛政7年(1795)〉 / ミネアポリス美術館
- 34 / 菊図 / 一幅 / 紙本墨画 / 102.7 × 23.8
- 35 / 墨梅図 / 一幅 / 紙本墨画 / 103.7 × 29.8
- 36 / 梅図 / 一幅 / 紙本墨画 / 84.3 × 30.0
- 37 / 花鳥図押絵貼屏風 / 六曲一双 / 紙本墨画 / (各図) 127.5 × 51.5 / 九州国立博物館
- 38 / 鯉図 / 一幅 / 紙本墨画 / 107.5 × 28.0
- 39 / 鯉図 / 一幅 / 紙本墨画 / 105.4 × 28.8 / 京都・三秀院
- 40 / 鯉図 / 一幅 / 紙本墨画 / 109.0 × 30.6
- 41 / 鯉図 / 一幅 / 紙本墨画 / 106.8 × 28.2 / 寛政5年(1793)
- 42 / 鷹図 / 一幅 / 紙本墨画 / 100.0 × 29.5 / 公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団
- 43 / 松鶴図 / 一幅 / 絹本墨画 / 103.4 × 39.8 / MIHO MUSEUM
- 44 / 蔬菜図押絵貼屏風 / 六曲一双 / 紙本墨画 / (各図) 129.5 × 52.1 / 寛政6年(1794)
- 45 / 芦に鶴図 / 一幅 / 紙本墨画 / 118.5 × 46.6
- 46 / 鶴に鱈図 / 一幅 / 紙本墨画 / 101.9 × 27.7
- 47 / 猿蟹図 / 一幅 / 紙本墨画 / 104.3 × 30.8
- 48 / 双鶴・霊亀図 / 双幅 / 紙本墨画 / (各) 114.9 × 52.3 / MIHO MUSEUM
- 49 / 東天紅図 / 一幅 / 絹本著色 / 40.0 × 52.9
- 50 / 猿図 / 一幅 / 紙本墨画 / 35.6 × 49.2
- 51 / 松下双亀図 / 一幅 / 紙本墨画 / 108.5 × 30.0
- 52 / 豆名月図 / 一幅 / 紙本墨画 / 109.0 × 29.7
- 53 / ◎ / 果蔬涅槃図 / 一幅 / 紙本墨画 / 182.4 × 96.3 / 京都国立博物館
- 54 / 串貝図 / 一幅 / 紙本墨画 / 103.0 × 28.5
- 55 / 正月飾図 / 一幅 / 紙本墨画 / 95.8 × 29.1
- 56 / ぶりぶり図 / 一幅 / 紙本墨画 / 30.5 × 46.0 / 寛政10年(1798)
- 57 / 三番叟図 / 一幅 / 紙本墨画 / 107.4 × 29.7
- 58 / 高杯に栗図 / 一幅 / 紙本墨画 / 76.5 × 28.5
- 59 / 付喪神図 / 一幅 / 紙本墨画 / 129.2 × 27.9 / 福岡市博物館
- 60 / 雷神図 / 一幅 / 紙本墨画 / 100.0 × 30.0 / 千葉市美術館
- 61 / 大黒・宝珠図 / 双幅 / 紙本墨画 / (各) 108.8 × 28.5 / 寛政12年(1800)
- 62 / 福祿寿図 / 一幅 / 紙本墨画淡彩 / 115.9 × 56.5 / 寛政2年(1790)頃 / キンベル美術館
- 63 / 布袋唐子図 / 一幅 / 絹本墨画 / 101.4 × 50.6
- 64 / 鍾馗図 / 一幅 / 紙本墨画 / 92.0 × 28.3
- 65 / 関羽図 / 一幅 / 紙本墨画 / 104.9 × 29.4
- 66 / 六歌仙図 / 一幅 / 紙本墨画 / 137.8 × 64.9 / 寛政3年(1791) / 愛知県美術館 (木村定三コレクション)
- 67 / 三十六歌仙図押絵貼屏風 / 六曲一双 / 紙本墨画 / (各図)



140.5 × 54.0 / 寛政8年(1796)〈寛政10年(1798)〉 / デンバー美術館

68 / 五百羅漢図 / 一幅 / 紙本墨画 / 47.0 × 62.3 / 寛政8年(1796) 頃

69 / 花卉図天井画 / 15面 / 板地著色 / (各面) 直径32.5 / 寛政12年(1800) / 滋賀・義仲寺

70 / 羅漢像 / 一幅 / 絹本著色 / 83.4 × 49.4

71 / 蒲庵浄英像 / 一幅 / 絹本墨画 / 170.0 × 80.5 / 寛政7年(1795) / 京都・萬福寺

72 / 枇杷に牝鶏図 / 一幅 / 紙本墨画 / 113.4 × 46.7

73 / 菊花図 / 一幅 / 紙本墨画 / 111.1 × 59.2 / デンバー美術館

74 / 乗興舟 / 一巻 / 紙本拓版 / 28.4 × 1152.7

75 / 乗興舟 / 一巻 / 紙本拓版 / 28.1 × 1157.4 / 明和4年(1767) 頃 / 千葉市美術館

76 / 巖壁山居図扇面 / 一枚 / 紙本拓版 / 47.5(長径) × 21.7(短径) × 18.4(幅)

77 / 鬮籠図 / 一幅 / 紙本拓版 / 107.1 × 28.3

78 / 売茶翁像 / 一幅 / 絹本墨画 / 93.5 × 41.6

79 / 売茶翁像 / 一幅 / 紙本墨画 / 113.2 × 44.7

80 / 売茶翁像 / 一幅 / 紙本墨画 / 104.4 × 26.9

81 / 売茶翁像 / 一幅 / 紙本墨画 / 129.3 × 41.4 / 寛政8年(1796)

82 / 松下双亀図 / 一幅 / 紙本墨画 / 106.8 × 28.4 / サンフランシスコ・アジア美術館

83 / 鯉図 / 一幅 / 紙本墨画 / 111.5 × 29.9

84 / 蕪菁図 / 一幅 / 紙本墨画 / 106.6 × 28.9

85 / 梅図 / 一幅 / 紙本墨画 / 113.7 × 31.0 / MIHO MUSEUM

86 / 払子図 / 一幅 / 紙本墨画 / 112.2 × 29.5

87 / 蟹図 / 一幅 / 紙本墨画 / 84.8 × 27.5 / 京都国立博物館

88 / 橋脚図 / 一幅 / 紙本墨画 / 105.7 × 29.2

89 / 叭々鳥図 / 一幅 / 紙本墨画 / 47.6 × 58.7 / ミネアポリス美術館

90 / ◎ / 蓮池図 / 六幅(旧襖六面) / 紙本墨画 / (各) 195.0 × 89.5 / 天明9年(1789) / 大阪・西福寺

91 / 群鶏図障壁画(海宝寺旧蔵) / 9面 / 紙本墨画 / 旧床貼付2面:(各) 179.5 × 108.0、襖2面:(各) 175.2 × 86.5、旧壁貼付一面: 179.3 × 176.8、襖4面:(各) 174.8 × 90.7 / 天明9年(1789) / 京都国立博物館

92 / 蓮図 / 一幅 / 紙本墨画 / 109.0 × 30.8 / 寛政6年(1794)

93 / 蓮池双亀図 / 一幅 / 絹本著色 / 119.0 × 46.0

94 / 石峰寺図 / 一幅 / 絹本墨画淡彩 / 71.6 × 101.8 / 寛政元年(1789) / 京都国立博物館

95 / 象図 / 一幅 / 紙本墨画 / 155.5 × 77.3 / 天明9年(1789) 〈寛政2年(1790)〉 / 東京富士美術館

96 / 白象群獣図 / 一面 / 紙本墨画淡彩 / 122.9 × 73.1

97 / 象と鯨図屏風 / 六曲一双 / 紙本墨画 / (各) 159.4 × 354.0 / 寛政7年(1795) 〈寛政9年(1797)〉 / MIHO MUSEUM

98 / 伏見人形図 / 一幅 / 紙本著色 / 95.0 × 26.7 / 愛知県美術館(木村定三コレクション)

99 / 伏見人形七布袋図 / 一幅 / 紙本著色 / 41.0 × 58.0 / 国立歴史民俗博物館

100 / 梅花図 / 一幅 / 絹本著色 / 104.0 × 41.2 / 寛政元年(1789)

101 / 梅図 / 一幅 / 紙本墨画 / 31.2 × 26.1 / 寛政5年(1793) / 京都・天真院

102 / 梅図 / 一幅 / 紙本墨画 / 34.3 × 27.9 / 寛政5年(1793) 〈寛政7年(1795) 頃〉 / サンフランシスコ・アジア美術館

103 / 柳下双鶏・豆下双鶏図 / 双幅 / 紙本墨画 / (各) 101.7 × 40.6

104 / 梅花叭々鳥・牡丹白鶴図 / 双幅 / 絹本著色 / (各) 116.2 × 40.7 硃 / 公益財団法人 鍋島報効会

105 / 鶏図 / 一幅 / 絹本著色 / 101.8 × 39.9 / 寛政元年(1789) / 島根県立美術館

106 / 旭日老松図 / 一幅 / 絹本著色 / 101.6 × 38.9 / 寛政10年(1798) 〈寛政12年(1800)〉 / ミネアポリス美術館

107 / 粽図 / 一幅 / 紙本墨画 / 29.7 × 22.7 / 寛政10年(1798)

108 / 菊図 / 一幅 / 絹本墨画淡彩 / 11.2 × 9.6 / 寛政10年(1798)

109 / 蝶に狗子図 / 一幅 / 紙本墨画 / 97.6 × 27.0

110 / 百犬図 / 一幅 / 絹本著色 / 143.0 × 84.4 / 寛政11年(1799)

資料1 ◎ 武雄鍋島家洋学関係資料よりプルシアンブルー 2点 / 江戸時代(19世紀) / 武雄市歴史資料館

資料2 ● 武雄鍋島家資料より皆春齋御絵具 顔料各種(プルシアンブルー、群青、青黛、棒藍蠟、岩白群、花紺青、岩緑青、岩白緑、頭緑、黄土、丹、朱、代赭棒、コチニール、硃砂、胡粉、金粉) 一式 / 江戸時代(19世紀) / 武雄市歴史資料館

※◎は重要文化財、○は和歌山県指定文化財、●は武雄市重要文化財を示す。

※年記を有する作品の制作年について、原則として、若冲が還暦以後、改元のたびに一歳加算したという説により記載し、所蔵者の示す制作年を〈 〉内に記した。

## (2) やなぎみわ展 神話機械



会期 令和元年7月6日(土)～9月1日(日) [開催日数  
51日]

分野 写真、映像、立体、演劇

展示数 44点

観覧料 一般・大学生 1,000(800)円、高校生 500(400)円、  
小・中学生 300(200)円 ※ ( ) 内は前売料金または  
20名以上の団体料金

観覧者数 4,116名

担当 荒木康子、橋本恵理、大北 孝

主催 福島県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、福島  
民友新聞社、福島中央テレビ

協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、JA ふ  
くしま未来、JA グループ福島

助成 芸術文化振興基金

協力 京都造形芸術大学、香川高等専門学校、群馬工業高等専  
門学校、福島県立福島工業高等学校、京都工芸繊維大学  
ROBOCON 挑戦プロジェクト、一色事務所、堀内カラー、  
被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

企画協力 一般社団法人 MIWA YANAGI OFFICE

## 概要

1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも忘れられないアートシーンを毎回創り出してきた美術家やなぎみわ(1967-)。《エレベーター・ガール》や《マイ・グランドマザーズ》などの写真作品で世界的な評価を得たが、2010年からは演劇プロジェクトを始める。本展は10年ぶりの美術館における個展となった。

本展では、舞台作品と並行し、日本神話をモチーフに福島市内の果樹園で桃を撮影した新作シリーズが、日本で初めてまとめて紹介されるとともに、巡回展各地の学校等(福島県立福島工業高等学校)と連携して制作されたマシンによる神話世界《神話機械》が、会場に生み出された。4台のマシンによる無人公演を1日3回実施。作家と地域を繋げ、巻き込みながら展覧会を作り上げる有意義な機会となった。

## 関連事業

- やなぎみわトークショー  
講師：やなぎみわ氏 聞き手：早川博明(館長)  
日時：令和元年7月6日(土) 14時～  
場所：講堂  
参加者数：82名
- ライブパフォーマンス『MM』  
構成・演出：やなぎみわ氏 出演：高山のえみ氏 音楽：内橋和久氏  
日時：①令和元年7月13日(土) 19時30分～ ②令和元年7月14日(日) 19時30分～  
場所：企画展示室  
参加者数：①91名、②98名
- ロボット教室  
講師：吉田 健氏(福島県立福島工業高等学校教諭)  
日時：令和元年8月3日(土) 13時～16時30分  
会場：福島県立美術館、福島県立福島工業高等学校  
参加者数：9名
- 触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ「神話と機械を見聞きする」  
講師：やなぎみわ氏、嶋村 泰氏(ミュージシャン)  
日時：令和元年9月1日(日) ①10時30分～12時 ②14時～15時30分  
場所：企画展示室  
参加者数：①10名、②10名(いずれも視覚障がい者と晴眼者含む)
- 担当学芸員によるギャラリートーク  
講師：荒木康子(学芸課長)  
日時：①令和元年7月27日(土) 15時～16時 ②令和元年8月10日(土) 15時～16時  
場所：企画展示室  
参加者数：①10名、②10名
- ケンピ桃マルシェ  
会期中、庭園で桃をはじめとする福島の野菜の販売をGDM ふくしま、JA ふくしま未来の協力を得て行った。  
実施日：令和元年7月6日、13日、14日、20日、8月2日、3日、24日、31日
- 福島のおすすめ桃メニュー  
市内のレストランやバーとともに、展覧会限定の桃メニューを展開し、桃のピザやカクテルなどを提供した。



開会式 (7/5)



展示風景



ライブパフォーマンス (7/13)



ギャラリートーク (7/27)

◆出品リスト：

[No./作品名/制作年/材質・技法/画面寸法 (cm)/所蔵]

エレベーター・ガール Elevator Girl

- 1 / 次の階を探して I / 1996年 / 発色現像方式印画 / 180 × 720 / 高松市美術館
- 2 / 案内嬢の部屋 1F / 1997年 / 発色現像方式印画 / 各 240 × 200 (2点組) / 京都市美術館

マイ・グランドマザーズ My Grandmothers

- 3 / MINEKO / 2002年 / 発色現像方式印画 / 87.5 × 120 / 高松市美術館
- 4 / MIE / 2000年 / 発色現像方式印画 / 120 × 160 / 作家蔵
- 5 / YUKA / 2000年 / 発色現像方式印画 / 160 × 160 / 作家蔵
- 6 / ERIKO / 2001年 / 発色現像方式印画 / 120 × 180 / 作家蔵
- 7 / REGINE + YOKO / 2001年 / 発色現像方式印画 / 128 × 160 / 作家蔵
- 8 / GEISHA / 2002年 / 発色現像方式印画 / 180 × 240 / 作家蔵
- 9 / SHIZUKA / 2004年 / 発色現像方式印画 / 140 × 100 / 作家蔵
- 10 / MITSUE / 2009年 / 発色現像方式印画 / 130 × 130 / 作家蔵

フェアリー・テール Fairy Tale

- 11 / 赤ずきん / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 12 / エレンディラ / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 13 / グレーテル / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 14 / 白雪 / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 15 / 眠り姫 / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 16 / ラプンツェル / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 17 / マッチ売りの少女 / 2005年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 100 × 100 / 作家蔵
- 18 / ララバイ / 2010年 / ヴィデオ・インスタレーション / 13分 16秒 / 作家蔵
- 19 / 無題 I / 2004年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 140 × 100 / 作家蔵
- 20 / 無題IV / 2005年 / ゼラチン・シルバー・プリント / 140 × 100 / 高松市美術館
- 21 / XXXS-XXXL / 2010年 / 皮革ほか / 7.5 ~ 60 (2セット: 全 18 足) / 株式会社資生堂
- 22 / グロリア&レオン / 2004年 / ヴィデオ・インスタレーション / 25分 52秒 / 作家蔵

演劇アーカイブ Theater Archives

- 23 / やなぎみわ演劇プロジェクト

1924年（三部作：Tokyo-Berlin／海戦／人間機械）／2011-12年／作家蔵

24／PANORAMA ～パノラマ～／2012-14年／作家蔵

25／ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ／2013-15年／作家蔵

26／日輪の翼／2016-17年／作家蔵

女神と男神が桃の木の下で別れる The Goddess and the God separate under the Peach Tree

27／あかつきⅠ，Ⅱ，Ⅲ／2017年／発色現像方式印画／各160×285（3点組）／作家蔵

28／川中島Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ／2016年／発色現像方式印画／各160×285（3点組）／作家蔵

29／まどかⅠ，Ⅱ，Ⅲ／2017年／発色現像方式印画／各160×285（3点組）／作家蔵

30／きららⅠ，Ⅱ，Ⅲ／2018年／発色現像方式印画／各160×285（3点組）／作家蔵

31／命名／2019年／合成樹脂・鉛筆／15×15×17／作家蔵

32／無題Ⅰ／2015年／紙・リトグラフ／38×32／作家蔵

33／無題Ⅱ／2015年／紙・リトグラフ／60×48／作家蔵

34／IZANAMI／2018年／紙・木炭／50×64／作家蔵

35／神話機械のためのドローイング／2018年／紙・木炭／48×35／作家蔵

36／神話機械のためのドローイング／2018年／紙・木炭／50×64／作家蔵

37／神話機械のためのドローイング／2018年／紙・クレヨン／20×40.5／作家蔵

38／桃を投げる／2018年／ビデオ・インスタレーション／6分52秒／作家蔵

神話機械 Myth Machines

39／タレイア（メインマシン）／2019年／作家蔵

40／ムネーメー（投擲マシン）／2019年

41／メルポメネー（のたうちマシン）／2019年／作家蔵

42／テルプシコラー（振動マシン）／2019年／作家蔵

43／アルゴ船の船首像／2019／デジタルプリント／作家蔵

44／「MM」公演ダイジェスト映像／2019年／ビデオ／1分23秒／作家蔵

### (3) 生誕 120 年・没後 100 年 関根正二展



会期 令和元年9月14日(土)～11月10日(日) [開催日数 50 日]

分野 絵画

展示数 205 点(関根作品 100 点、資料 57 点、関連作家 48 点)

観覧料 一般・大学生 1,000 (800) 円、高校生 500 (400) 円、小・中学生 300 (200) 円 ※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数 6,235 名

担当 堀 宜雄、坂本篤史

主催 福島県立美術館・福島民報社・福島テレビ

#### 概要

関根正二は、1919 年にわずか 20 歳 2 か月で夭折した洋画家である。関根は、福島県白河に生まれ、9 歳で東京に移住し、わずかな期間美術研究所に通った程度であるが、卓越した素描力と鮮烈な色彩による謎めいた絵画世界をつくりあげ、代表作《信仰の悲しみ》(大原美術館) は国重要文化財に指定されている。

当館では 3 度目、20 年ぶりの回顧展となる本展は、新発見作品、資料を含め、過去最大の展覧会となった。今までつながりがわかりづらかった関根の作品世界が、新発見資料や作品により、少しずつその連続性が見えるようになり、彼の絵画世界の謎を再考する好機であった。

#### 関連事業

- ・講演会「永遠の、《子供》と関根正二」  
講師：貝塚 健氏 (石橋財団アーティゾン美術館教育普及部長)  
日時：令和元年9月14日(土) 14時～15時30分  
場所：講堂  
参加者数：90名
- ・ゲストトーク「油彩画の技法と読み解くヒント」  
講師：田中善明氏 (三重県立美術館学芸普及課長)  
日時：令和元年10月6日(日) 14時～15時30分  
場所：企画展示室  
参加者数：37名
- ・ゲストトーク「関根正二の『塗り残し』」  
講師：小林俊介氏 (山形大学教授、画家)  
日時：令和元年10月20日(日) 14時～15時30分  
場所：企画展示室  
参加者数：45名
- ・担当学芸員によるギャラリートーク  
講師：堀 宜雄 (専門学芸員)  
坂本篤史 (主任学芸員)  
日時：①令和元年9月22日(日) 14時～15時  
②令和元年10月19日(土) 14時～15時  
③令和元年11月1日(金) 14時～15時  
場所：企画展示室  
参加者数：① 21名、② 17名、③ 22名



開会式 (9/13)



展示風景



ゲストトーク (10/20)



ギャラリートーク (9/22)

◆出品リスト：

[No./作品名/制作年月日など/寸法(縦×横 cm) ※書簡の寸法は封筒/便箋の順/材質技法など/所蔵先/展示期間]

第1章 関根正二作品

- 001 / 菊川橋辺り / 1915 (大正4) 年2月22日 / 23.2 × 33.0 / 油彩、板 / 福島県立美術館寄託
- 002 / 砂村石渡牧場 / 1915 (大正4) 年頃 / 23.7 × 33.0 / 油彩、板 / 福島県立美術館寄託
- 003 / 死を思う日 / 1915 (大正4) 年 / 75.8 × 56.4 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館寄託
- 004 / 風景 / 1915 (大正4) 年頃 / 60.7 × 45.7 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館寄託
- 005 / 犢牛 / 1915 (大正4) 年 / 31.8 × 40.9 / 油彩、カンヴァス / 信越放送株式会社
- 006 / 牛舎 / 1915 (大正4) 年頃 / 36.5 × 48.6 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館
- 007-A / 暗き内に一点の光あり / 1915 (大正4) 年9月22日 / 19.2 × 24.2 / インク、紙 / 神奈川県立近代美術館
- 007-B / 永遠の春 / 1915 (大正4) 年9月30日 / 19.2 × 24.2 / インク、紙 / 神奈川県立近代美術館
- 008-A / 大樹 (子供と木登り) / 1915 (大正4) 年 / 57.3 × 44.1 / 木炭、紙 / 福島県立美術館
- 008-B / 裸婦 / 1915 (大正4) 年 / 57.3 × 44.1 / 木炭、紙 / 福島県立美術館
- 009 / 三人裸像 / 1915 (大正4) 年 / 28.0 × 22.0 / インク、紙 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- 010 / 裸婦 / 1915 (大正4) 年 / 41.5 × 58.3 / コンテ、紙 / 府中市美術館 (河野保雄コレクション)
- 011-A / [木立と人] / 1915 (大正4) 年 / 30.2 × 23.3 / インク、紙 / 個人蔵
- 012 / 砂町風景 / 1916 (大正5) 年3月16日 / 28.0 × 37.0 / インク、紙 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- 013 / [茅葺き農家のある風景] / 1916 (大正5) 年 / 36.3 × 51.4 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館寄託
- 014 / 自画像 / 1916 (大正5) 年6月10日 / 27.0 × 21.4 / インク、紙 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- 015 / 女 / 1916 (大正5) 年6月27日 / 51.2 × 35.7 / インク・水彩、紙 / 個人蔵
- 016 / 婦人の顔 / 1916 (大正5) 年7月7日 / 26.5 × 17.2 / インク、紙 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- 017 / 風景 / 1916 (大正5) 年頃 / 33.3 × 23.1 / 油彩、板 / 福島県立美術館
- 018 / 銚子海岸 / 1916 (大正5) 年 / 25.2 × 36.0 / インク、紙 / 福島県立美術館
- 019 / 海 (銚子) / 1916 (大正5) 年 / 45.4 × 60.8 / 油彩、カンヴァス / 姫路市立美術館
- 020 / 菊川橋 / 1916 (大正5) 年9月14日 / 37.0 × 57.0 / インク、紙 / 福島県立美術館
- 021 / 風景素描 / 1916 (大正5) 年 / 29.5 × 21.1 / 鉛筆、紙 / 福島県立美術館寄託
- 022 / 画家とモデル / 1916 (大正5) 年 / 122.2 × 31.0 / 水

- 彩、紙／神奈川県立近代美術館
- 023／農夫／1916（大正5）年／122.5×31.4／水彩、紙／神奈川県立近代美術館
- 024／樹と人／1916（大正5）年／129.3×30.7／墨・水彩、紙／長野県信濃美術館（信濃デッサン館コレクション）
- 025／男／1916（大正5）年／16.0×14.7／インク、紙／福島県立美術館
- 026／自画像／1916（大正5）年頃／27.8×19.1／インク、紙／福島県立美術館
- 027／婦人像／1916（大正5）年／26.5×17.2／インク、紙／長野県信濃美術館（信濃デッサン館コレクション）
- 028／群像／1916（大正5）年／54.5×39.5／木炭、紙／三重県立美術館
- 029／顔と裸婦／1916（大正5）年12月／22.2×31.7／インク、紙／長野県信濃美術館（信濃デッサン館コレクション）
- 030／老夫妻像（夫）／1917（大正6）年／46.5×34.0／鉛筆、紙／白河市歴史民俗資料館
- 031／老夫妻像（妻）／1917（大正6）年／46.5×34.0／鉛筆、紙／白河市歴史民俗資料館
- 032／井上郁像／1917（大正6）年6月／65.0×53.0／油彩、カンヴァス／福島県立美術館寄託
- 033／裏の娘／1917（大正6）年／29.4×21.7／水彩・パステル・鉛筆、紙／福島県立美術館
- 034／風景図案／1917（大正6）年頃／27.5×17.5／水彩、紙／福島県立美術館寄託
- 035／風景図案／1917（大正6）年頃／27.5×17.5／水彩、紙／福島県立美術館寄託
- 036／裸婦立像（左手を頬に当てる）／1917（大正6）年／62.3×47.0／木炭・コンテ、紙／個人蔵
- 037／裸婦立像／不詳／64.0×48.2／コンテ、紙／個人蔵
- 038／男の顔／1917（大正6）年／11.2×10.7／インク、紙／福島県立美術館
- 039／少年／1917（大正6）年／45.0×37.0／油彩、カンヴァス／個人蔵
- 040-A／野娘／1917（大正6）年／22.5×14.4／インク、紙／三重県立美術館
- 040-B／棒を持つ男／1917（大正6）年頃／22.5×14.4／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 041-A／顔／不詳／22.5×14.4／インク、紙／三重県立美術館
- 041-B／裸婦／不詳／22.5×14.4／インク、紙／三重県立美術館
- 042-A／横顔／1917（大正6）年／22.5×14.4／インク、紙／三重県立美術館
- 042-B／子供の顔／1917（大正6）年頃／22.5×14.4／インク、紙／三重県立美術館
- 043-A／接吻／不詳／23.5×15.5／インク、紙／三重県立美術館
- 043-B／男とメモ／不詳／23.5×15.5／鉛筆・インク、紙／三重県立美術館
- 044／[井上静子像]／1917（大正6）年11月／14.7×20.0／インク、紙／個人蔵
- 045／[婦人像]／1917（大正6）年／29.7×19.0／水彩、紙／個人蔵
- 046／村岡みんの肖像／1917（大正6）年／45.2×37.8／油彩、カンヴァス／神奈川県立近代美術館
- 047／天平美人／1917（大正6）年／121.0×122.5／墨・油彩、綿布（二曲一隻屏風）／大阪中之島美術館
- 048／佳人立像／1917（大正6）年／27.5×48.0／油彩、紙（扇面）／府中市美術館（河野保雄コレクション）
- 049／大黒天／1918（大正7）年／93.0×33.0／絹本着色（軸）／個人蔵
- 050／真田吉之助夫妻像／1918（大正7）年／53.0×80.3／油彩、カンヴァス／福島県立美術館
- 051／一本杉の風景／1918（大正7）年頃／38.0×45.2／油彩、カンヴァス／福島県立美術館
- 052／少女の顔／1918（大正7）年／21.5×21.5／インク、紙／神奈川県立近代美術館
- 053-A／少年／1918（大正7）年／38.6×30.5／インク、紙／個人蔵
- 053-B／子守する女と横顔／不詳／38.6×30.5／インク、紙／個人蔵
- 054／手を合わせる少年／1918（大正7）年／38.5×30.1／インク、紙／個人蔵
- 055／少年座像／不詳／63.5×47.4／コンテ、紙／個人蔵
- 056-A／[子供素描]／1918（大正7）年／16.9×14.7／インク、紙／個人蔵
- 057／小供／1918（大正7）年／45.3×37.6／油彩、カンヴァス／個人蔵
- 058／チューリップ／1918（大正7）年／33.0×23.3／油彩、板／個人蔵
- 059／チューリップ／1918（大正7）年／45.3×33.2／油彩、カンヴァス／個人蔵
- 060-A／チューリップ／1918（大正7）年／29.3×25.5／インク、紙／福島県立美術館
- 061-A／少年の顔／1918（大正7）年／22.5×14.4／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 061-B／立てる男／不詳／22.5×14.4／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 062-A／小品画会案内原稿／1918（大正7）年／18.3×28.7／墨、紙／三重県立美術館
- 062-B／顔（五つ）／不詳／18.3×28.7／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 063-A／木と男／不詳／18.5×11.0／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 063-B／裸体／不詳／18.5×11.0／インク、紙／三重県立美術館
- 064-A／登っている男／不詳／18.5×11.0／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 064-B／顔／不詳／18.5×11.0／鉛筆、紙／三重県立美術館
- 065／ねている人／1918（大正7）年／14.4×22.5／インク、紙／三重県立美術館
- 066-A／少女立像／1918（大正7）年頃／23.5×15.5／インク、紙／三重県立美術館
- 066-B／立てる人／不詳／23.5×15.5／インク・鉛筆、紙／三重県立美術館

- 067 / 顔と立てる人 / 不詳 / 23.5 × 15.5 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 068 / 姉弟 / 1918 (大正7) 年 / 80.5 × 60.5 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館
- 069 ▼ / 信仰の悲しみ / 1918 (大正7) 年 / 73.0 × 100.0 / 油彩、カンヴァス / 大原美術館
- 070 / 神の祈り / 1918 (大正7) 年頃 / 68.2 × 40.8 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館
- 071-A / 信仰 / 1918 (大正7) 年 / 15.9 × 11.9 / インク・パステル、紙 / 福島県立美術館
- 072 / 自画像 / 1918 (大正7) 年 / 29.4 × 19.3 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 073 / 自画像 / 1918 (大正7) 年 / 53.0 × 41.0 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館
- 074 / 婦人像 / 1918 (大正7) 年頃 / 78.0 × 60.0 / 油彩、カンヴァス / 東京国立近代美術館
- 075 / 空かける裸婦 / 1918 (大正7) 年 / 20.7 × 26.5 / パステル、紙 / 個人蔵 / 展示期間: 10/8 ~ 24
- 076 / 天使 (断片) / 1918 (大正7) 年頃 / 17.3 × 36.1 (全図: 59.1 × 44.7) / 油彩、カンヴァス / 三重県立美術館
- 077 / 女の顔 / 1918 (大正7) 年 / 16.0 × 13.5 / 墨・インク・油彩、紙 / 神奈川県立近代美術館
- 078-A / 少女 / 1918 (大正7) 年 / 25.0 × 22.0 / インク、紙 / 福島県立美術館
- 078-B / 男の顔 / 不詳 / 25.0 × 22.0 / インク、紙 / 福島県立美術館
- 079 / 女の立像 / 1918 (大正7) 年 / 17.3 × 9.2 / インク、紙 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- 080 / 裸婦群像 / 1918 (大正7) 年 / 18.5 × 10.0 / インク、紙 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- 081 / 男の顔 / 不詳 / 10.2 × 9.0 / インク、紙 / 福島県立美術館寄託 (安齋勇雄コレクション)
- 082 / 少女 / 不詳 / 11.3 × 9.3 / インク、紙 / 府中市美術館 (河野保雄コレクション)
- 083-A / [海辺の男女] / 1918 (大正7) 年 / 13.2 × 23.4 / インク、紙 / 個人蔵
- 084 / 画稿 (断片) / 1919 (大正8) 年頃 / 13.9 × 21.5 / パステル、紙 / 三重県立美術館
- 085-A / 三人の女と日輪 / 1919 (大正8) 年 / 19.4 × 19.6 / インク、紙 / おかざき世界子ども美術博物館
- 085-B / 接吻する男女と人物 / 1919 (大正8) 年頃 / 19.4 × 19.6 / 鉛筆、紙 / おかざき世界子ども美術博物館
- 086 / 祈り / 1919 (大正8) 年 / 18.0 × 12.7 / 鉛筆、紙 / 福島県立美術館
- 087 / 若い男 / 1919 (大正8) 年 / 15.5 × 17.3 / インク、紙 / 福島県立美術館
- 088-A / 『文章世界』表紙下絵 / 1919 (大正8) 年 / 23.5 × 15.5 / 墨・鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 088-B / 走る女と表紙下絵 / 制作年不詳 / 23.5 × 15.5 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 089-A / 三人 (野原) / 不詳 / 18.3 × 28.5 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 089-B / 立てる女と群像 / 不詳 / 18.3 × 28.5 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 090 / 顔 (二つ) / 1919 (大正8) 年 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 091-A / 合掌する男 / 1919 (大正8) 年 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 091-B / 足 (二つ) / 不詳 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 092 / 雑誌表紙習作 / 不詳 / 28.0 × 18.3 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 093 / 顔 / 不詳 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 094-A / 風景断片 / 不詳 / 18.3 × 28.5 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 094-B / 手 / 不詳 / 18.3 × 28.5 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 095 / スケッチブック / 1919 (大正8) 年頃 / 18.3 × 28.5 / 三重県立美術館
- 01 / 顔と手 / 1919 (大正8) 年 / 28.5 × 18.3 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 02 / 顔 (三つ) / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 03 / 帽子を冠った男 / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆・インク、紙 / 三重県立美術館
- 04 / スケッチ / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 05 / 手 (二つ) / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 06 / 手 (一つ) / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 07 / 女と座す女 / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 09 / 包帯の男 / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 10 / 裸婦群像習作 / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆・インク、紙 / 三重県立美術館
- 12 / 横顔 / 1919 (大正8) 年 / 28.5 × 18.3 / インク、紙 / 三重県立美術館
- 16 / 顔 / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 木炭、紙 / 三重県立美術館
- 18 / 顔 / 1919 (大正8) 年頃 / 28.5 × 18.3 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 20 / 脚を交叉した人 / 1919 (大正8) 年頃 / 18.3 × 28.5 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館
- 096 / 女と子供 / 1919 (大正8) 年 / 19.3 × 13.4 / パステル、紙 / 個人蔵  
展示期間: 10/25 ~ 11/10
- 097 / 三星 / 1919 (大正8) 年 / 60.5 × 45.5 / 油彩、カンヴァス / 東京国立近代美術館
- 098 / 三人の顔 / 1919 (大正8) 年頃 / 41.1 × 65.2 / 油彩、カンヴァス / ポーラ美術館
- 099 / 子供 / 1919 (大正8) 年 / 60.9 × 45.7 / 油彩、カンヴァス / 石橋財団アーティゾン美術館 (旧ブリヂストン美術館)
- 100 / 少女 / 1919 (大正8) 年 / 33.3 × 27.3 / パステル、紙 / 個人蔵



## 第II章 関根正二資料・書簡

### ■資料

- M-01 / 風景 (『文章世界』13巻5号、p.86) / 1918 (大正7)年5月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 福島県立美術館
- M-02 / 女 (『文章世界』13巻6号、口絵) / 1918 (大正7)年6月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 神奈川近代文学館
- M-03 / 中川 (『太陽』24巻8号、p.319) / 1918 (大正7)年6月 / 25.8 × 18.4 / 雑誌 (博文館) / 個人蔵
- M-04 / 風景 (『文章世界』13巻8号、p.92) / 1918 (大正7)年8月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 福島県立美術館
- M-05 / 那須の風景 (『文章世界』13巻10号、p.222) / 1918 (大正7)年10月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 福島県立美術館
- M-06 / 病める者 (『文章世界』13巻11号、p.69) / 1918 (大正7)年11月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 神奈川近代文学館
- M-07 / 無題 (『文章世界』14巻2号、標題紙) / 1919 (大正8)年2月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 神奈川近代文学館
- M-08 / 無題 (『文章世界』14巻3号、表紙) / 1919 (大正8)年3月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 神奈川近代文学館
- M-09 / 無題 (『文章世界』14巻5号、標題紙) / 1919 (大正8)年5月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 福島県立美術館
- M-10 / 朝 (『文章世界』14巻6号、p.66) / 1919 (大正8)年6月 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 神奈川近代文学館
- M-11 / 行く春 (『解放』1巻1号、p.126) / 1919 (大正8)年6月1日 / 22.2 × 14.8 / 雑誌 (大鐘閣) / 個人蔵
- M-12 / 「慰められつゝ悩む」絵はがき / 1919 (大正8)年 / 14.1 × 9.0 / 私製葉書 (美術工藝会発行) / 福島県立美術館寄託
- M-13 / 『新進洋画家新作展』目録 / 1919 (大正8)年6月 / 18.8 × 12.7 / 目録 (兜屋画堂) / 福島県立美術館
- M-14 / 『第六回二科美術展覧会目録』 / 1919 (大正8)年9月 / 14.3 × 10.6 / 目録 (〔二科会〕芝一噌活版印刷所) / 福島県立美術館
- M-15 / 『信仰の悲み関根正二遺作展覧会』目録 / 1919 (大正8)年9月4日 / 22.3 × 15.2 / 目録 (兜屋画堂) / 福島県立美術館、三重県立美術館
- M-16 / 三星 (『中學世界』22巻2号、口絵) / 1919 (大正8)年2月号 / 22.1 × 14.8 / 雑誌 (博文館) / 個人蔵
- M-17 / 『みづゑ』178号 / 1919 (大正8)年12月号 / 22.4 × 14.8 / 雑誌 (春鳥会) / 福島県立美術館 / 三重県立美術館
- M-18 / エスキース (『美術写真画報』1巻8号) / 1920 (大正9)年9月1日 / 30.1 × 22.3 / 雑誌 (博文館) / 福島県立美術館
- M-19 / 素描『みづゑ』365号 / 1935 (昭和10)年7月3日 / 26.0 × 19.0 / 雑誌 (春鳥会) / 福島県立美術館
- M-20 / オスカー・ワイルド著 (本間久雄訳)『獄中記』 / 1912 (明治45)年7月10日 / 15.0 × 10.5 / 書籍 (新潮社) / 福島県立美術館
- M-21 / オスカー・ワイルド著 (本間久雄訳)『ワイルド童話集 柘榴の家』 / 1924 (大正13)年11月15日六版 / 19.3 × 13.7 / 書籍 (春陽堂) / 福島県立美術館
- M-22 / ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ著 (木村莊八訳)『ヴァン・ゴッホの手紙』 / 1915 (大正4)年1月7日 / 19.4 × 13.7 / 書

籍 (洛陽堂) / 福島県立美術館

### ■書簡

- L-01 / 雄山通季・森村雄男宛はがき / 1916 (大正5)年秋頃 / 14.1 × 9.1 / 黒インク、私製葉書 / 個人蔵
- L-02 / 村岡黒影宛はがき / 1916 (大正5)年11月3日 / 14.1 × 9.1 / 黒インク、私製葉書 / 福島県立美術館
- L-03 / 森村雄男・雄山通季宛はがき / 1917 (大正6)年1月 / 14.1 × 9.1 / 墨・朱墨、私製葉書 / 個人蔵
- L-04 / 村岡黒影宛はがき / 1917 (大正6)年2月19日 / 14.1 × 9.0 / 墨、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-05 / 雄山通季・森村雄男宛はがき / 1917 (大正6)年3月15日 / 14.3 × 8.9 / 黒インク・青インク、官製葉書 / 個人蔵
- L-06 / 村岡黒影宛はがき / 1917 (大正6)年5月21日 / 14.1 × 9.0 / 黒インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-07 / 村岡黒影宛はがき / 1917 (大正6)年8月10日 / 14.1 × 9.1 / 黒インク、私製葉書 / 福島県立美術館
- L-08 / 村岡弘市 (黒影) 宛はがき / 1917 (大正6)年9月7日 / 14.2 × 9.0 / 黒インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-09 / 村岡弘市 (黒影) 宛書簡 / 1917 (大正6)年11月22日 / 18.2 × 5.5 / 17.4 × 12.7 / [封筒] 墨 [書簡] 黒インク、文房堂原稿用紙 / 福島県立美術館
- L-10 / 村岡弘市 (黒影) 宛書簡 / 1917 (大正6)年11月30日 / 21.5 × 8.4 / 17.4 × 12.7 / [封筒] 墨 [書簡] 黒インク・鉛筆、文房堂原稿用紙 / 福島県立美術館
- L-11 / 村岡弘市 (黒影) 宛はがき / 1917 (大正6)年12月5日 / 14.0 × 9.0 / 黒インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-12 / 村岡豊之助宛はがき / 1918 (大正7)年1月6日 / 14.1 × 9.0 / 鉛筆、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-13 / 村岡黒影宛書簡 / 1918 (大正7)年1月24日 / 14.5 × 7.3 / 17.5 × 12.8 / [封筒] 青インク [書簡] 青インク、文房堂原稿用紙 / 福島県立美術館
- L-14 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7)年2月13日 / 14.2 × 8.9 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-15 / 物河鈴子宛はがき (風景) / 1918 (大正7)年2月17日 / 14.0 × 8.9 / 青インク、官製葉書 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- L-16 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7)年2月18日 / 14.1 × 9.0 / 鉛筆、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-17 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7)年2月21日 / 14.2 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-18 / 物河鈴子宛はがき / 1918 (大正7)年2月24日 / 14.2 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-19 / 村岡黒影宛書簡 / 1918 (大正7)年3月7日 / 14.5 × 7.3 / 16.4 × 19.8 / [封筒] 青インク [書簡] 青インク、罫線紙 / 福島県立美術館
- L-20 / 物河鈴子宛はがき (マンドリンを弾く東郷青児) / 1918 (大正7)年3月22日 / 14.0 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)
- L-21 / 村岡黒影宛書簡 (姉弟) / 1918 (大正7)年5月20日 / 13.6 × 10.1 / 20.7 × 33.2 / [封筒] 青インク [書簡] 青インク、罫線紙 / 福島県立美術館
- L-22 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7)年5月27日 / 14.2

- × 9.0 / インク、官製葉書 / 個人蔵
- L-23 / 村岡黒影宛書簡 / 1918 (大正7) 年5月頃 / 20.7 × 16.7 / [書簡] インク、罌線紙 (封筒欠) / 福島県立美術館
- L-24 / 村岡黒影宛書簡 / 1918 (大正7) 年5月28日 / 12.8 × 7.9/17.8 × 53.2 / [封筒] 墨 [書簡] 墨、和紙 / 福島県立美術館
- L-25 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年6月12日 / 14.2 × 9.0 / 墨、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-26 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年6月16日 / 14.1 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-27 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年6月28日 / 14.2 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-28 / 村岡黒影宛はがき (病める者) / 1918 (大正7) 年7月3日 / 14.2 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-29 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年8月2日 / 14.2 × 8.9 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-30 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年8月7日か / 14.2 × 9.0 / 赤インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-31 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年8月10日 / 14.2 × 9.0 / 青インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-32 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年8月17日 / 14.2 × 8.9 / 黒インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-33 / 村岡黒影宛書簡 / 1918 (大正7) 年10月24日 / 19.5 × 7.8/34.4 × 21.7 / [封筒] 黒インク [書簡] 黒インク、文房堂原稿用紙 / 福島県立美術館
- L-34 / 村岡黒影宛はがき / 1918 (大正7) 年12月31日 / 14.1 × 9.0 / 黒インク、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-35 / 村岡黒影宛はがき / 1919 (大正8) 年1月1日 / 14.1 × 9.0 / 墨・多色版画、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-36 / 雄山通季宛はがき / 1919 (大正8) 年1月1日 / 14.2 × 9.0 / 墨、官製葉書 / 個人蔵
- L-37 / 村岡黒影宛はがき / 1919 (大正8) 年1月25日 / 14.2 × 9.0 / 墨、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-38 / 村岡黒影宛はがき / 1919 (大正8) 年2月6日 / 14.1 × 8.9 / 墨、官製葉書 / 福島県立美術館
- L-39 / 村岡黒影宛はがき / 1919 (大正8) 年6月 / 14.1 × 9.0 / 黒インク、私製葉書 / 福島県立美術館

### 第三章 関連作家作品・資料

#### ●河野通勢

- R-01 / 裾花川風景 / 1914 (大正3) 年4月 / 45.5 × 60.6 / 油彩、カンヴァス / 個人蔵
- R-02 / 河岸の柳 / 1914 (大正3) 年6月10日 / 47.3 × 62.5 / 鉛筆・コンテ・水彩、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-03 / 裾花川風景 / 1914 (大正3) 年8月 / 63.0 × 83.5 / 油彩、カンヴァス / 長野県信濃美術館寄託
- R-04 / アダムとイブ習作 / 1914 (大正3) 年 / 18.7 × 29.6 / インク、紙 / 個人蔵
- R-05 / アダムとイブ / 1914 (大正3) 年11月28日 / 55.5 × 75.5 / 油彩、カンヴァス / 長野県信濃美術館
- R-06 / 踊る人々 / 1915 (大正4) 年3月22日 / 46.5 × 62.5 / インク、紙 / 調布市武者小路実篤記念館

- R-07 / 長野風景 / 1915 (大正4) 年5月4日 / 47.0 × 62.5 / コンテ、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-08 / 木に登る人 / 1915 (大正4) 年5月12日 / 29.0 × 38.1 / インク・水彩、紙 / 個人蔵
- R-09 / 河柳を見上げる人 / 1915 (大正4) 年6月3日 / 47.5 × 62.5 / コンテ、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-10 / 裾花川の河柳下絵 / 1915 (大正4) 年6月7日 / 32.0 × 48.5 / コンテ、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-11 / 鳥が飛ぶ冬の河柳 / 1915 (大正4) 年頃 / 46.9 × 62.5 / コンテ、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-12 / 耕す人々 / 1915 (大正4) 年7月2日 / 48.0 × 62.5 / コンテ、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-13 / 丘の上 / 1915 (大正4) 年頃 / 46.7 × 62.5 / 鉛筆・コンテ・水彩、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-14 / 荷を背負う / 1915 (大正4) 年7月7日 / 48.0 × 62.5 / 鉛筆・コンテ・水彩、紙 / 調布市武者小路実篤記念館
- R-15 / 樹のある風景 / 1915 (大正4) 年10月9日 / 31.6 × 47.8 / コンテ、紙 / 神奈川県立近代美術館
- R-16 / 内へ内へ / 1915 (大正4) 年11月2日 / 29.3 × 38.3 / コンテ、紙 / 個人蔵
- R-17 / 自画像 / 1915 (大正4) 年11月 / 55.5 × 42.0 / 油彩、カンヴァス / 長野県信濃美術館
- R-18 / 風景 / 1916 (大正5) 年5月15日 / 33.0 × 45.0 / 油彩、カンヴァス / 個人蔵
- R-19 / 風景 / 1916 (大正5) 年11月24日 / 23.9 × 32.0 / インク・水彩、紙 / 個人蔵
- R-20 / [顔の習作、人物] / 不詳 / 19.1 × 29.1 / インク、紙 / 個人蔵

#### ●伊東深水

- R-21 / 蓮にバツタ / 1916 (大正5) 年 / 122.2 × 32.0 / 紙本着色 / 神奈川県立近代美術館
- R-22 / 乳しぼる家 / 1916 (大正5) 年 / 150.8 × 110.6 / 絹本着色 (衝立) / 福島県立美術館寄託
- R-23 / 大島の黎明 / 1916 (大正5) 年 / 156.0 × 76.6 / 絹本着色 (軸) / 愛知県美術館
- R-24 / 牛 / 1918 (大正7) 年 / 122.2 × 32.0 / 紙本着色 / 神奈川県立近代美術館
- R-25 / 春光 / 1922 (大正11) 年 / 139.8 × 47.2 / 絹本着色 (軸) / 福島県立美術館

#### ●有島生馬

- R-26 / 静物 / 1916 (大正5) 年 / 45.4 × 60.9 / 油彩、カンヴァス / 鹿児島市立美術館
- R-27 / 老翁 / 1917 (大正6) 年 / 55.0 × 46.0 / 油彩、カンヴァス / 神奈川県立近代美術館

#### ●安井曾太郎

- R-28 / ターブルの上 / 1912 (明治45/大正元) 年 / 46.7 × 56.0 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館
- R-29 / 臥裸婦 / 1916 (大正5) 年頃 / 60.6 × 72.8 / 油彩、カンヴァス / 府中市美術館

## ●長谷部英一

R-30 / 自画像 / 1915 (大正4) 年 / 73.0 × 61.0 / 油彩、カンヴァス / 笠間日動美術館

## ●上野山清貢

R-31 / ムッシュOの肖像 / 1915 (大正4) 年 / 65.2 × 53.2 / 油彩、カンヴァス / 福島県立美術館

## ●東郷青児

R-32 / 彼女のすべて / 1917 (大正6) 年 / 103.5 × 104.5 / 油彩、カンヴァス / 鹿児島市立美術館

## ●村山槐多

R-33 / 庭園の少女 / 1914 (大正3) 年 / 61.0 × 46.4 / 水彩、紙 / 福島県立美術館

R-34 / 川のある風景 / 1914 (大正3) 年 / 24.3 × 28.7 / 水彩、紙 / 府中市美術館 (河野保雄コレクション)

R-35 / 人物のいる農村風景 / 1914-15 (大正3-4) 年頃 / 38.3 × 53.0 / 鉛筆、紙 / 三重県立美術館

R-36 / 尿する裸僧 / 1915 (大正4) 年2月 / 80.3 × 60.6 / 油彩、カンヴァス / 長野県信濃美術館 (信濃デッサン館コレクション)

R-37 / 自画像 / 1916 (大正5) 年 / 60.5 × 50.0 / 油彩、カンヴァス / 三重県立美術館

R-39 / 信州風景 (山) / 1917 (大正6) 年 / 58.7 × 38.0 / 木炭、紙 / 三重県立美術館

R-40 / 樹木 (けやき) / 1917 (大正6) 年頃 / 62.6 × 46.8 / 木炭、紙 / 福島県立美術館

R-41 / 湖水と女 / 1917 (大正6) 年 / 60.8 × 45.9 / 油彩、カンヴァス / ポーラ美術館

R-42 / 風船をつく女 / 1918 (大正7) 年 / 90.9 × 60.6 / 木炭、紙 / 神奈川県立近代美術館

## ●久米正雄

R-43 / 風景図 / 1918 (大正7) 年8月 / 23.5 × 32.6 / 油彩、カンヴァス / 個人蔵

## ■関連作家資料

R-44 / 素木しづ『転機』『黒潮』2巻9号 / 1917 (大正6) 年9月 / 22.3 × 15.1 / 雑誌 (太陽通信社) / 福島県立美術館

R-45 / 素木しづ著『美しき牢獄』 / 1918 (大正7) 年12月25日 / 18.5 × 12.6 / 書籍 (玄文社) 装幀: 橋口五葉 / 神奈川県近代文学館、福島県立美術館 (復刻版)

R-46 / 久米正雄著『弱き心』 / 1920 (大正9) 年5月23日 / 15.5 × 11.0 / 書籍 (春陽堂) / 福島県立美術館

R-47 / 佐藤春夫上野停車場附近 (『二科会画集』) / 1917 (大正6) 年9月18日 / 19.2 × 13.0 / 書籍 [二科会] (石井満吉) / 個人蔵

R-48 / 佐藤春夫自画像 (『殉情詩集』) / 1921 (大正10) 年7月12日 / 18.5 × 13.4 / 書籍 (新潮社) / 復刻版 / 個人蔵

R-49 / 『村山槐多遺作展覧会目録』 / 1919 (大正8) 年11月11日 / 22.1 × 15.2 / 目録 (兜屋画堂) / 福島県立美術館

R-50 / 村山槐多著『槐多の歌へる』 / 1920 (大正9) 年10月

25日三版 / 19.0 × 13.5 / 書籍 (アルス) / 福島県立美術館  
R-51 / 村山槐多著『槐多の歌へる其後』 / 1921 (大正10) 年4月18日 / 19.1 × 13.8 / 書籍 (アルス) / 福島県立美術館  
R-52 / 『槐多画集』 / 1921 (大正10) 年11月18日 / 26.5 × 19.5 / 書籍 (アルス) / 福島県立美術館

R-53 / 村山槐多著『槐多の歌へる』 / 1927 (昭和2) 年2月17日 / 19.2 × 13.6 / 書籍 (アルス) 装幀: 恩地孝四郎 / 福島県立美術館

※ Nos.011-B / 056-B / 060-B / 071-B / 078-B / 083-B / 091-A / 094-B / 095 / 095-08, 13-15, 17, 19, 21 / R-38 は都合により出品されません。

## (4) 森田恒友展



会期 令和元年11月23日(土・祝)～令和2年1月19日(日)  
[開催日数 43日]

分野 日本近代洋画・日本画

展示数 256点

観覧料 一般・大学生 1,000 (800) 円、高校生 600 (500) 円、  
小・中学生 400 (300) 円

※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数 2,292 名

担当 増渕鏡子、紺野朋子

主催 福島県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、福島  
民友新聞社、福島中央テレビ

協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

出品協力 東京国立近代美術館

助成 公益財団法人ポーラ美術振興財団

## 概要

埼玉県熊谷市出身の森田恒友は、不同舎や東京美術学校に学んだ後にヨーロッパに留学し、セザンヌの紹介者として知られた。また一方で、文芸、俳句と密接に関わって出版界で漫画家・挿絵画家としても活躍した。後半生は関東平野を題材にした穏やかな日本画を描いた。

恒友はまた、大正初期に会津地方に4度訪れ、会津若松城址や磐梯山周辺、阿賀川畔を題材に多くの作品を生み出した、福島ゆかりの作家でもある。埼玉県立近代美術館との共同企画により新資料が多く発見され、大規模な回顧展が実現した。

会期中、喜多方在住の作家による漫画絵巻物制作ワークショップを開催し、好評を得た。また喜多方市美術館では、協力事業として「森田恒友関連展示」を行った。県ゆかりの作家として、また近代画家として再評価する機会となった。

## 関連事業

・ゲストトーク「小さいながらも真の画人—森田恒友の軌跡」

パネリスト：吉岡知子氏（埼玉県立近代美術館学芸員）

日時：令和元年12月21日(土)14時～

場所：企画展示室

参加者数：30名

・担当学芸員によるギャラリートーク

講師：①増渕鏡子（専門学芸員）

②増渕鏡子（専門学芸員）

日時：①令和元年12月7日(土)14時～15時 ②令和2年

1月11日(土)14時～15時

場所：企画展示室

参加者数：①20名、②20名

・創作プログラム「まんが絵巻をつくろう！」

講師：久松知子氏（アーティスト）

日時：令和元年11月24日(日)10時～15時

場所：実習室

参加者数：16名



展示風景



ゲストトーク (12/21)

◆出品リスト：

[No./作家名(森田恒友の場合は不記載)/作品・資料名/制作年/技法、  
素材/発行/寸法/所蔵先]

第1章 出発—洋画家として

- 1-01 / 河畔の村 / 1901 (明治 34) 年頃 / 油彩、カンヴァス /  
45.8 × 33.5 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 1-02 / 農家の洗場 / 1901 (明治 34) 年頃 / 油彩、カンヴァス /  
33.5 × 45.5 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 1-03 / 玉井村 / 1901 (明治 34) 年 / 鉛筆、紙 / 45.5 × 29.1 /  
個人蔵
- 1-04 / 土家 / 1901 (明治 34) 年 / 鉛筆、紙 / 47.0 × 29.3 /  
個人蔵
- 1-05 / 大里郡深谷並木 / 1901 (明治 34) 年 / 鉛筆、紙 / 47.0 ×  
29.1 / 個人蔵
- 1-06 / 自画像 / 1903 (明治 36) 年 / 木炭、紙 / 42.0 × 29.8 /  
個人蔵
- 1-07 / 少女 / 1903 (明治 36) 年頃 / 油彩、カンヴァス / 60.7 ×  
45.2 / 熊谷市立熊谷図書館蔵
- 1-08 / 裸体習作 / 1904 (明治 37) 年 / 木炭、紙 / 63.5 ×  
49.0 / 個人蔵
- 1-09 / 裸体習作 / 1906 (明治 39) 年 / 木炭、紙 / 63.6 ×  
48.0 / 個人蔵
- 1-10 / 樵夫 / 1904 (明治 37) 年頃 / 油彩、カンヴァス / 90.0 ×  
124.0 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 1-11 / すき髪 / 1905 (明治 38) 年 / 油彩、カンヴァス /  
100.0 × 73.0 / 個人蔵 (熊谷市立熊谷図書館寄託)
- 1-12 / 青木繁・森田恒友 / 春の夕 / 1905 (明治 38) 年 / 油彩、  
板 / 23.2 × 33.0 / 府中市美術館蔵
- 1-13 / キリストの説教 / 1905 (明治 38) 年 / 油彩、カンヴァ  
ス / 41.0 × 32.0 / 株式会社 永木精機蔵
- 1-14 / 自画像 / 1906 (明治 39) 年 / 油彩、カンヴァス / 60.6 ×  
45.4 / 東京藝術大学蔵
- 資 1-01 / スケッチブック [不同舎時代] / 10.5 × 18.2 / 個人  
蔵
- 資 1-02 / スケッチブック [明治時代後期] / 13.6 × 18.5 / 個人  
蔵
- 資 1-03 / スケッチブック [東京美術学校時代] / 12.3 × 16.7 /  
個人蔵
- 資 1-04 / スケッチブック [東京美術学校時代・布良] / 10.8 ×  
16.4 / 個人蔵
- 資 1-05 / スケッチブック [東京美術学校時代] / 11.3 × 19.4 /  
個人蔵
- 資 1-06 / スケッチブック [東京美術学校時代] / 18.5 × 13.0 /  
個人蔵
- 資 1-07 / スクラップブック [絵葉書書] / 30.1 × 23.4 / 個人  
蔵
- 資 1-08 / 大里高等小学校第三学年編入証書 / 1893 (明治 26)  
年 9 月 15 日 / 24.8 × 35.1 / 個人蔵
- 資 1-09 / 大里高等小学校第二学年修業証書 / 1894 (明治 27)  
年 3 月 26 日 / 21.7 × 28.4 / 個人蔵
- 資 1-10 / 大里高等小学校第三学年修業証書 / 1894 (明治 27)  
年 3 月 26 日 / 21.5 × 28.4 / 個人蔵
- 資 1-11 / 大里高等小学校第四学年級長辞令 / 1894 (明治 27)

年4月5日／24.3×32.9／個人蔵

資1-12／大里高等小学校第四学年級什長辞令／1894（明治27）年12月25日／24.6×34.4／個人蔵

資1-13／大里高等小学校贈与状／1895（明治28）年8月15日／25.0×31.7／個人蔵

資1-14／東京美術学校卒業証／1906（明治39）年4月2日／41.2×54.2／個人蔵

## 第2章 『方寸』から无声会へ—模索の時代

2-01／島の井／1906（明治39）年／油彩、カンヴァス／81.3×60.0／埼玉県立近代美術館蔵

2-02／伊豆の海小屋／1906（明治39）年／油彩、カンヴァス／60.5×80.5／熊谷市立熊谷図書館蔵

2-03／森田彦三郎氏肖像画／1927（昭和2）年／油彩、カンヴァス／53.0×45.5／熊谷市立熊谷図書館蔵

2-04／湖畔／1907（明治40）年／油彩、カンヴァス／66.0×114.0／埼玉県立近代美術館蔵

2-05／午睡する看護婦／1907（明治40）年／油彩、カンヴァス／114.0×67.4／埼玉県立近代美術館蔵

2-06／新緑の水辺／1907（明治40）年／油彩、カンヴァス／60.3×42.1／個人蔵

2-07／少女像／1908-09（明治41-42）年頃／油彩、カンヴァス／45.5×33.0／個人蔵

2-08／舞妓／1911（明治44）年頃／油彩・金、カンヴァス／50.0×26.0／個人蔵

2-09／作品名不詳／油彩・金泥、カンヴァス／30.5×95.8／個人蔵

2-10／作品名不詳／油彩、カンヴァス／45.3×60.0／個人蔵

2-11／漁村（網干）／1912（明治45/大正元）年／油彩・木炭、カンヴァス／19.9×54.3／星野画廊蔵

2-12／漁夫の家族／1912（明治45/大正元）年／油彩・木炭・金、カンヴァス／21.0×53.6／星野画廊蔵

2-13／漁村／1912（明治45/大正元）年／油彩・木炭、カンヴァス／19.5×52.8／個人蔵

2-14／川に沿う街／1912（明治45/大正元）年／油彩、カンヴァス／60.3×79.9／個人蔵

2-15／母と子／1911-12（明治44-大正元）年頃／油彩、カンヴァス／80.2×65.2／個人蔵

2-16／房州風景／1913（大正2）年／油彩、カンヴァス／60.6×80.4／埼玉県立近代美術館蔵

2-17／着船／1913（大正2）年／油彩、カンヴァス／79.0×59.0／埼玉県立近代美術館蔵

2-18 前期／海辺風景／1911-13（明治44-大正2）年頃／金地・彩色、麻布／148.5×178.2／茨城県近代美術館蔵

2-19 後期／初夏風景／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／133.5×123.0／個人蔵

2-20／呑み友達／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／129.0×31.0／個人蔵

2-21／船頭／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／127.4×31.4／個人蔵

2-22／赤マント／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／132.0×30.0／個人蔵

2-23 不出品／淀川沿いの街道／1912（明治45/大正元）年／

紙本着色／136.2×31.0／個人蔵

2-24／夏の街道／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／120.6×31.5／熊谷市立熊谷図書館蔵

2-25／下絵の一部／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／129.0×31.5／熊谷市立熊谷図書館蔵

2-26 前期／収穫／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／130.0×28.8／個人蔵

2-27 後期／漁村風景／1911-13（明治44-大正2）年頃／紙本着色／135.0×31.0／個人蔵

2-28～37／「漫画の東京」『現代』原画／1913（大正2）年頃／東京藝術大学蔵

2-28 前期／浅草（『現代』第4巻第2号）原画／墨・ペン、紙／13.4×17.9

2-29 前期／浅草（『現代』第4巻第2号）原画／墨・ペン・水彩、紙／13.1×18.5

2-30 前期／浅草（『現代』第4巻第2号）原画／墨・ペン・水彩、紙／13.0×18.3

2-31 前期／浅草（『現代』第4巻第3号）原画／墨・筆・水彩、紙／13.8×19.1

2-32 前期／浅草（『現代』第4巻第3号）原画／墨・筆・水彩、紙／12.6×18.0

2-33 後期／浅草（『現代』第4巻第3号）原画／墨・ペン・水彩、紙／14.6×19.2

2-34 後期／浅草（『現代』第4巻第3号）原画／コンテ、紙／13.5×18.9

2-35 後期／上野（『現代』第4巻第4号）原画／墨・筆・ペン・水彩、紙／15.6×18.6

2-36 後期／上野（『現代』第4巻第4号）原画／墨・筆・ペン・水彩、紙／14.2×16.8

2-37 後期／上野（『現代』第4巻第4号）原画／墨・筆・ペン・水彩、紙／14.6×18.0

資2-01／スケッチブック [方寸時代]／10.8×18.7／個人蔵

資2-02／スケッチブック [方寸時代]／14.4×20.7／個人蔵

資2-03／スケッチブック [1908年頃]／14.2×19.2／個人蔵

資2-04／スケッチブック [秋田時代/1908年]／11.4×18.7／個人蔵

資2-05／スケッチブック [別府/1911年]／12.4×18.8／個人蔵

資2-06／スケッチブック [耶馬溪/1911年]／10.9×18.3／個人蔵

資2-07／スケッチブック [大阪時代]／11.4×18.7／個人蔵

資2-08／スケッチブック [大阪時代]／11.7×18.7／個人蔵

資2-09／スケッチブック [大阪時代・天神祭]／9.0×14.7／個人蔵

資2-10／スケッチブック [大阪見物]／11.6×18.0／個人蔵

資2-11／スケッチブック [涼風をちこち/京とところどころ]／11.1×18.6／個人蔵

資2-12／スケッチブック [大阪時代]／9.1×14.7／個人蔵

資2-13／『方寸』第1巻第2号／1907（明治40）年6月15日／方寸社／31.4×23.2／個人蔵

資2-14／『方寸』第1巻第6号／1907（明治40）年11月13日／方寸社 附録：エッチング、紙／31.7×23.3

附録：30.5 × 22.1 / 個人蔵  
 資2-15 / 『方寸』第2巻第5号 / 1908 (明治41) 年7月3日 / 方寸社 / 31.0 × 23.2 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資2-16 / 『方寸』第3巻第1号 / 1909 (明治42) 年1月1日 / 方寸社 / 31.0 × 23.0 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資2-17 / 『方寸』第3巻第2号 (HOSUN TOKBETU MANGAGO) / 1909 (明治42) 年2月 / 方寸社 / 30.0 × 22.2 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資2-18 / 『方寸』第3巻第3号 / 1909 (明治42) 年3月28日 / 方寸社 / 30.5 × 23.5 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資2-19 / 『方寸』第4巻第2号 / 1910 (明治43) 年2月10日 / 方寸社 / 31.0 × 23.2 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資2-20 / 『方寸』第4巻第4号 (通信号) / 1910 (明治43) 年5月10日 / 方寸社 / 31.0 × 23.0 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資2-21 / 『方寸画曆 四十式季』 / 1908 (明治41) 年12月24日 / 方寸社 / 19.2 × 11.4 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資2-22 / 『ホトトギス』第10巻第11号 / 1907 (明治40) 年8月1日 / ほととぎす発行所 / 22.5 × 15.3 / 個人蔵  
 資2-23 / 『サンデー』第10号 / 1909 (明治42) 年1月31日 / 太平洋通信社 / 38.7 × 26.7 / 京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター蔵  
 資2-24 / 『サンデー』第24号 / 1909 (明治42) 年5月9日 / 週報社 / 38.7 × 27.2 / 京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター蔵  
 資2-25 / 『東京パック』第8巻第17号 / 1912 (明治45) 年7月1日 / 東京パック社 / 37.7 × 25.7 / 京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター蔵  
 資2-26 / 『東京パック』第8巻第18号 / 1912 (明治45) 年7月10日 / 東京パック社 / 37.6 × 25.9 / 京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター蔵  
 資2-27 / 『早稲田文学』第88号 / 1913 (大正2) 年3月1日 / 東京堂書店 / 22.2 × 15.0 / さいたま文学館蔵  
 資2-28 / 『早稲田文学』第100号 / 1914 (大正3) 年3月1日 / 東京堂書店 / 22.5 × 15.0 / さいたま文学館蔵

### 第3章 欧州漫遊

3-01 / 初夏のバリ郊外 / 1914 (大正3) 年 / 油彩、カンヴァス / 46.0 × 53.0 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 3-02 / リヨン郊外 / 1914 (大正3) 年 / 油彩、カンヴァス / 46.0 × 55.0 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 3-03 / プロヴァンス風景 / 1914 (大正3) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.8 × 53.3 / 熊谷市立熊谷図書館蔵  
 3-04 / 婦人像 / 1914 (大正3) 年 / 油彩、カンヴァス / 53.0 × 45.5 / 東京国立近代美術館蔵  
 3-05 / 少女 (2) / 1914 (大正3) 年 / 油彩、カンヴァス / 72.6 × 60.2 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 3-06 / ヴェトゥイユの春 / 1915 (大正4) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 54.4 / 個人蔵  
 3-07 / ヴェトゥイユの春Ⅲ / 1915 (大正4) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 54.5 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 3-08 / ヴェトゥイユの春Ⅴ / 1915 (大正4) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 52.7 / 個人蔵

3-09 / ブルターニュ風景 / 1915 (大正4) 年 / 油彩、カンヴァス / 50.0 × 61.0 / 大阪市立美術館蔵  
 3-10 / イル・ブレア / 1915 (大正4) 年 / 油彩、カンヴァス / 50.0 × 60.5 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 3-11 / 作品名不詳 / 1914-15 (大正3-4) 年 / 油彩、カンヴァス / 49.7 × 59.8 / 個人蔵  
 3-12 / フランス風景 / 1914-15 (大正3-4) 年 / 油彩、カンヴァス / 37.5 × 45.5 / 東京国立近代美術館蔵  
 3-13 / フランス風景 / 1915 (大正4) 年 / 油彩、カンヴァス / 50.0 × 61.0 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 3-14 / 作品名不詳 / 1914-15 (大正3-4) 年 / 油彩、板 / 26.4 × 35.2 / 個人蔵  
 3-15 / ヴェトゥイユ / 1915 (大正4) 年 / 油彩、板 / 18.6 × 24.0 / 個人蔵  
 3-16 / バリ風景 / 1915 (大正4) 年 / 水彩・鉛筆、紙 / 19.8 × 26.0 / 個人蔵  
 3-17 / グラナダ / 1915 (大正4) 年 / 鉛筆、紙 / 19.0 × 12.5 / 個人蔵  
 3-18 / 滞欧風景 / 油彩、カンヴァス / 23.5 × 58.5 / 個人蔵  
 3-19 / 欧州風景 / 紙本着色 / 右：135.0 × 30.3 中：134.1 × 30.3 左：133.4 × 30.3 / 個人蔵  
 3-20 / 漫遊帖 / 1916 (大正5) 年 / 紙本着色 / (各) 18.0 × 27.1 / 個人蔵  
 3-21 / 欧州画旅之紀念 / 1916 (大正5) 年 / 紙本着色 / (各) 20.5 × 32.7 / 個人蔵  
 3-22 / 西欧風景 / 絹本着色 / 48.8 × 41.5 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-01 / スケッチブック [留学時代 (香港・上海)] / 11.5 × 16.7 / 個人蔵  
 資3-02 / スケッチブック [留学時代] / 11.0 × 16.3 / 個人蔵  
 資3-03 / スケッチブック [留学時代] / 13.8 × 10.6 / 個人蔵  
 資3-04 / スケッチブック [留学時代] / 12.5 × 19.3 / 個人蔵  
 資3-05 / スケッチブック [留学時代] / 12.4 × 19.0 / 個人蔵  
 資3-06 / 遠矢良茂宛葉書 (コロombo) / 1914 (大正3) 年5月20日 / ペン・鉛筆・水彩、紙 / 14.1 × 9.0 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-07 / 遠矢良茂宛葉書 (ローマ) / 1915 (大正4) 年2月6日 / ペン・鉛筆・水彩、紙 / 14.0 × 9.1 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-08 / 遠矢良茂宛葉書 (ヴェトゥイユ) / 1915 (大正4) 年5月9日 / ペン・水彩、紙 / 13.9 × 8.8 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-09 / 遠矢良茂宛葉書 (ヴェトゥイユ) / 1915 (大正4) 年5月9日 / ペン・水彩、紙 / 13.9 × 8.8 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-10 / 遠矢良茂宛葉書 (セゴビア) / 1915 (大正4) 年6月24日 / ペン・水彩、紙 / 14.0 × 9.1 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-11 / 森田恒友・山本鼎 / 倉田白羊宛葉書 (パリ) / 1914 (大正3) 年7月13日消印 / ペン、紙 / 9.1 × 13.9 / 埼玉県立近代美術館蔵  
 資3-12 / 倉田白羊宛葉書 (サン=シール) / 1914 (大正3) 年10月 [推定] / ペン、紙 / 9.0 × 13.9 / 埼玉県立近代美術館蔵

## 術館蔵

- 資3-13 / 倉田白羊宛葉書 (ブルターニュ) / 1915 (大正4) 年7月24日 / ペン、紙 / 9.0 × 13.9 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 資3-14 / 森田恒友装幀・口絵 / 島崎藤村『戦争と巴里』 / 1915 (大正4) 年12月24日 / 新潮社 / 19.5 × 12.9 / 個人蔵

## 第4章 洋画から日本画へ

- 4-01 / 作品名不詳 (天草) / 1916 (大正5) 年頃 / 油彩、カンヴァス / 45.6 × 53.2 / 個人蔵
- 4-02 / 見下ろしたる港町 / 1916 (大正5) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.7 × 54.5 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-03 / 日本風景版画 第五集 天草之部 / 1917 (大正6) 年 / 木版、紙 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-03-1 / 天草群島 / 16.9 × 23.2
- 4-03-2 / 談合島 / 23.9 × 17.2
- 4-03-3 / 牛深港 / 17.0 × 23.2
- 4-03-4 / 二江漁村 / 17.0 × 23.8
- 4-03-5 / 富岡 / 16.9 × 23.1
- 4-04 / 作品名不詳 / 油彩、カンヴァス / 53.0 × 40.7 / 個人蔵
- 4-05 / 松原 / 1916 (大正5) 年 / 油彩、カンヴァス / 54.5 × 43.0 / 大阪市立美術館蔵
- 4-06 / 城址 / 1916 (大正5) 年 / 油彩、カンヴァス / 53.0 × 41.0 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-07 / 会津風景 / 1916 (大正5) 年 / 油彩、カンヴァス / 65.0 × 80.3 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-08 / 緩流 / 1917 (大正6) 年 / 油彩、カンヴァス / 60.5 × 72.8 / 熊谷市立熊谷図書館蔵
- 4-09 / 水辺山路 / 1917 (大正6) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.6 × 53.4 / 個人蔵
- 4-10 / 村童 / 1916 (大正5) 年頃 / 紙本墨画淡彩 / 134.0 × 31.0 / 熊谷市立熊谷図書館蔵
- 4-11 後期 / 村はずれ / 1916-17 (大正5-6) 年頃 / 紙本墨画淡彩 / 85.2 × 42.7 / 個人蔵
- 4-12 前期 / 雪の会津図 / 1917 (大正6) 年頃 / 絹本着色 / 126.3 × 41.0 / 個人蔵
- 4-13 / 草深し / 絹本着色 / 132.8 × 42.3 / 個人蔵
- 4-14 / 日本風景版画 第二集 会津之部 / 1917 (大正6) 年 / 木版、紙 / 福島県立美術館蔵
- 4-14-1 / 若松城趾 / 17.5 × 24.0
- 4-14-2 / 阿賀川 / 17.4 × 24.2
- 4-14-3 / 檜原湖畔 / 23.8 × 17.6
- 4-14-4 / 川上温泉 / 17.5 × 24.3
- 4-14-5 / 磐梯山麓小湖 / 17.0 × 23.5
- 4-15 / 阿賀川河畔 / 1916 (大正5) 年頃 / コンテ・水彩、紙 / 29.5 × 38.5 / 熊谷市立熊谷図書館蔵
- 4-16 / 喜多方風景 / 1916-17 (大正5-6) 年頃 / コンテ、紙 / 29.8 × 42.5 / 個人蔵
- 4-17 / 奥会津の山村 / 1916-17 (大正5-6) 年頃 / コンテ、紙 / 26.7 × 38.0 / 個人蔵
- 4-18 / 雪国帖 / 1920 (大正9) 年 / 紙本墨画淡彩 / (各) 24.0 × 35.6 / 個人蔵
- 4-19 / 葦と舟 (風景) / 紙本墨画淡彩 / 127.8 × 41.0 / 熊谷市

## 立熊谷図書館蔵

- 4-20 / やどり木 / 1917 (大正6) 年 / 紙本墨画 / 125.2 × 69.5 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-21 / 冬晴 / 1917-18 (大正6-7) 年頃 / 紙本墨画 / 139.3 × 66.6 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-22 / 晩春風景 / 1917 (大正6) 年頃 / 紙本墨画 / 58.0 × 78.5 / 熊谷市立熊谷図書館蔵
- 4-23 / 郊外初夏 / 1917 (大正6) 年 / 油彩、カンヴァス / 45.6 × 55.0 / 個人蔵
- 4-24 / 秩父路冬日 / 1918 (大正7) 年頃 / 油彩、カンヴァス / 63.5 × 77.0 / 熊谷市立熊谷図書館蔵
- 4-25 後期 / 潮来 / コンテ・水彩、紙 / 35.4 × 39.4 / 個人蔵
- 4-26 / 郊外の図 / 1918 (大正7) 年 / 紙本墨画淡彩 / 138.9 × 43.8 / 個人蔵
- 4-27 後期 / 沼畔風日 / 紙本墨画 / 124.1 × 58.0 / 個人蔵
- 4-28 / 水郷図 / 絹本着色 / 126.4 × 41.8 / 個人蔵
- 4-29 前期 / 岸近く / 1919-20 (大正8-9) 年頃 / 絹本着色 / 128.3 × 41.7 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-30 / 山村の麦刈 / 1920 (大正9) 年頃 / 絹本着色 / 129.0 × 31.0 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-31 / 河岸葉柳 / 1921-22 (大正10-11) 年頃 / 絹本着色 / 113.5 × 36.0 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-32 前期 / 漁村図 / 1919-20 (大正8-9) 年頃 / 紙本墨画、金 / 94.5 × 90.4 / 個人蔵 (群馬県立館林美術館寄託)
- 4-33 / 山麓 / 1920 (大正9) 年 / 紙本墨画 / 60.0 × 69.0 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 4-34 / 夏の路傍 / 1920 (大正9) 年 / 油彩、カンヴァス / 38.0 × 46.0 / 東京国立近代美術館蔵
- 4-35 / 晩夏 / 1921 (大正10) 年 / コンテ、紙 / 27.7 × 40.6 / 埼玉県立近代美術館蔵
- 資4-01 / スケッチブック [天草] / 20.2 × 14.2 / 個人蔵
- 資4-02 / スケッチブック [会津] / 15.0 × 22.5 / 個人蔵
- 資4-03 / スケッチブック [会津] / 14.3 × 19.0 / 個人蔵
- 資4-04 / 日本風景版画 第二集 会津之部 《若松城趾》校正刷 / 1917 (大正6) 年頃 / 木版、紙 / 19.6 × 28.0 ほか / 個人蔵
- 資4-05 / 日本風景版画 第二集 会津之部 《阿賀川》校正刷 / 1917 (大正6) 年頃 / 木版・墨、紙 / 19.4 × 26.5 ほか / 個人蔵
- 資4-06 / 短冊 / 金地着色 / 36.0 × 6.0 / 個人蔵
- 資4-07 / 短冊 / 絹本着色 / 36.3 × 6.1 / 個人蔵
- 資4-08 / 高浜虚子 / 小川芋銭画 / 俳句短冊 / 紙本墨書、淡彩 / 36.2 × 6.1 / 個人蔵
- 資4-09 / 高浜虚子 / 西山泊雲追悼の句 / 紙本墨書 / 36.3 × 6.0 / 個人蔵
- 資4-10 / 西山泊雲宛葉書 / 1921 (大正10) 7月21日 / 墨、彩色、紙 / 14.3 × 9.2 / 個人蔵
- 資4-11 / 小川芋銭 / 西山泊雲宛葉書 / 1927 (昭和2) 年12月20日 / 墨、紙 / 14.0 × 9.1 / 個人蔵
- 資4-12 / 小川芋銭 / 西山謙三・桑子宛葉書 / 1936 (昭和11) 年5月10日 / 墨、紙 / 14.0 × 8.9 / 個人蔵
- 資4-13 / 平福百穂 / 葉書 / ペン、紙 / 14.2 × 9.0 / 個人蔵
- 資4-14 / 平福百穂 西山亮三 (泊雲) 宛葉書 / 1916 (大正5) 年1月30日 / ペン・水彩、



紙／14.0×9.1／個人蔵  
 資4-15／高浜清（虚子）宛葉書／1920（大正9）年11月4日  
 消印／水彩・鉛筆・ペン、紙／14.3×9.2／さいたま文学館蔵  
 資4-16／田代与三久宛書簡／1916（大正5）年10月9日／書簡：18.3×96.4／福島県立美術館蔵（安斎勇雄コレクション）  
 資4-17／西山泊雲宛書簡／1932（昭和7）年6月19日／書簡：26.0×20.3  
 封筒：21.5×8.8／個人蔵  
 資4-18／山水五趣椀／1916-17（大正5-6）年／漆器に絵付け／（各）12.7×12.7×8.5／熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資4-19／羽織／1916-17（大正5-6）年／羽織に絵付け／身丈110.0×裾65.5／熊谷市立熊谷図書館蔵  
 資4-20／茶碗／1916-17（大正5-6）年／漆器に絵付け／径6.7×7.8／福島県立美術館蔵  
 資4-21／『ホトトギス』第23巻第4号／1920（大正9）年1月1日／ほととぎす発行所／22.1×15.0／さいたま文学館蔵  
 資4-22／『ホトトギス』第23巻第12号／1920（大正9）年9月1日／ほととぎす発行所／22.0×15.0／さいたま文学館蔵  
 資4-23／『電気と文芸』第1巻第1号／1920（大正9）年8月1日／電気文芸社／26.0×19.1／さいたま文学館蔵  
 資4-24／『電気と文芸』第2巻第2号／1921（大正10）年2月1日／電気文芸社／26.0×18.9／さいたま文学館蔵  
 資4-25／『電気と文芸』第2巻第4号／1921（大正10）年4月1日／電気文芸社／26.0×18.4／さいたま文学館蔵  
 資4-26／『電気と文芸』挿絵原画／1920-21（大正9-10）年頃／32.7×20.8ほか／さいたま文学館蔵  
 資4-27／『早稲田文学』第176号／1920（大正9）年7月1日／東京堂書店／22.0×15.0／さいたま文学館蔵  
 資4-28／『早稲田文学』第188号／1921（大正10）年7月1日／東京堂書店／22.0×15.0／さいたま文学館蔵  
 資4-29／『早稲田文学』第221号／1924（大正13）年7月1日／東京堂書店／22.2×15.1／さいたま文学館蔵  
 資4-30／『枯野』第8巻第5号／1928（昭和3）年5月1日／枯野発行所／22.6×15.0／さいたま文学館蔵  
 資4-31／森田恒友装幀／田山花袋『こころの緒』／1921（大正10）年4月25日／日本評論社出版部／17.8×11.7／個人蔵  
 資4-32／森田恒友装幀／相馬御風『砂上漫筆』／1921（大正10）年5月20日〔再版〕／春陽堂／20.0×13.5／個人蔵  
 資4-33／森田恒友装幀／北原白秋『トンボの眼玉』／1922（大正11）年3月10日〔六版〕／アルス／19.5×13.3／個人蔵  
 資4-34／森田恒友装幀／野口米次郎『二重国籍者の詩（林檎一つ落つ）』／1922（大正11）年4月15日／玄文社詩歌部／19.6×14.2／島田安彦コレクション  
 資4-35／森田恒友装幀／田山花袋『花袋全集 第2巻』／1923（大正12）年3月18日／花袋全集刊行会／19.9×14.5／個人蔵  
 資4-36／森田恒友装幀／島木赤彦『赤彦童謡集』／1924（大正13）年1月18日〔三刷〕／古今書院／19.3×13.0／個

人蔵  
 資4-37／森田恒友装幀／神野溪石／『矢車 欧米漫遊の俳句と日誌』／1925（大正14）年7月15日／枯野社／20.0×13.1／個人蔵  
 資4-38／森田恒友装幀／長谷川零餘子編著『季題別年代順 芭蕉俳句全集』／1925（大正14）年2月15日／新詩壇社／19.5×13.7／個人蔵  
 資4-39／森田恒友装幀／生方敏郎『金ゆえに』／1925（大正14）年4月25日／共楽社／19.9×13.8／個人蔵  
 資4-40／森田恒友装幀／釈道空『自選歌集 海やまのあひだ』／1925（大正14）年5月30日／改造社／19.6×13.9／島田安彦コレクション  
 資4-41／森田恒友装幀／生方敏郎『諷刺 山椒の粒』／1925（大正14）年7月15日／実業之日本社／19.5×13.2／個人蔵  
 資4-42／森田恒友装幀／安成二郎『短篇集 子を打つ』／1925（大正14）年12月1日／アルス／19.4×14.0／個人蔵  
 資4-43／森田恒友装幀／長谷川零餘子編『枯野俳句選集』／1926（大正15）年12月20日／枯野社／19.7×13.4／個人蔵  
 資4-44／森田恒友装幀／生方敏郎『明治大正見聞記』／1926（大正15）年11月25日〔三版〕／春秋社／20.0×14.0／個人蔵  
 資4-45／森田恒友装幀／神野溪石編『三巴女句集』／1932（昭和7）年6月26日／水明発行所／19.5×13.9／個人蔵  
 資4-46／スクラップブック〔装幀草稿〕／42.2×31.8／個人蔵

### 第5章 晩年の画境

5-01 前期／八歳帖／1921-28（大正10-昭和3）年／絹本着色、紙本着色／（各）21.0×18.0／東京国立近代美術館蔵  
 5-02 不出品／関西とところどころ／1922（大正11）年／紙本墨画淡彩／（各）23.5×32.7／東京国立近代美術館蔵  
 5-03 枯れ芦図／1922-24（大正11-13）年頃／紙本墨画淡彩／139.7×82.0／埼玉県立近代美術館蔵  
 5-04 新秋／1922-24（大正11-13）年頃／絹本着色／141.0×51.7／埼玉県立近代美術館蔵  
 5-05 後期／水辺童戯／1923（大正12）年／紙本墨画淡彩／46.6×56.5／個人蔵  
 5-06 山峡図／1923-25（大正12-14）年頃／絹本着色／42.5×51.0／熊谷市立熊谷図書館蔵  
 5-07 春郊図／1925（大正14）年／絹本着色／127.2×41.8／熊谷市立熊谷図書館蔵  
 5-08 壁画下絵I／1925（大正14）年頃／油彩、カンヴァス／157.0×137.0／埼玉県立近代美術館蔵  
 5-09 壁画下絵II／1925（大正14）年頃／油彩、カンヴァス／157.0×137.0／埼玉県立近代美術館蔵  
 5-10 前期／半月／1926（大正15）年／紙本墨画／41.0×58.0／東京国立近代美術館蔵  
 5-11 初夏の図／1926-27（大正15-昭和2）年／絹本着色／141.2×51.0／埼玉県立近代美術館蔵  
 5-12 緑野／1926-27（大正15-昭和2）年頃／絹本着色／45.0×54.6／埼玉県立近代美術館蔵  
 5-13 山野万緑／1926-27（大正15-昭和2）年頃／絹本着色

／129.3×36.2／埼玉県立近代美術館蔵

5-14／田園の春／1926-27（大正15-昭和2）年頃／絹本着色  
／34.8×41.7／個人蔵

5-15／春郊十趣／1927（昭和2）年／紙本墨画淡彩／（各）  
23.4×35.3／個人蔵

5-16 後期／新柳水禽／絹本着色／144.0×51.7／個人蔵

5-17／四季田園和楽／1928（昭和3）年／絹本墨画淡彩／（各）  
40.8×94.0／個人蔵

5-18 後期／平野冊／1928（昭和3）年／紙本墨画淡彩／（各）  
23.5×35.5／東京国立近代美術館蔵

5-19／春の池畔／1930（昭和5）年／油彩、カンヴァス／  
38.5×45.5／東京国立近代美術館蔵

5-20／丘と水田／1930（昭和5）年／油彩、カンヴァス／  
34.0×46.0／個人蔵

5-21／葛飾野／1930（昭和5）年／紙本墨画淡彩／34.3×  
57.5／福島県立美術館蔵

5-22／山村秋景／1931（昭和6）年／油彩、カンヴァス／  
38.0×45.5／東京国立近代美術館蔵

5-23／蔬菜帖／1931（昭和6）年／紙本着色／（各）20.0×  
26.5／埼玉県立近代美術館蔵

5-24／尾瀬沼／1932（昭和7）年／油彩、カンヴァス／59.0  
×79.0／個人蔵（熊谷市立熊谷図書館寄託）

5-25／尾瀬沼／1932（昭和7）年／油彩、カンヴァス／59.1  
×79.1／個人蔵（滴翠美術館寄託）

5-26 前期／野松／1932（昭和7）年／絹本墨画淡彩／58.5×  
71.0／群馬県立近代美術館蔵

5-27／四季蔬菜冊／1932（昭和7）年／紙本着色／（各）20.0  
×25.6／東京国立近代美術館蔵

5-28／山麓煙霧図／1932（昭和7）年頃／紙本墨画／61.0×  
94.0／埼玉県立近代美術館蔵

5-29／水村訪友／1932（昭和7）年頃／絹本着色／36.0×  
113.5／埼玉県立近代美術館蔵

5-30-1／水郷図（春）／1932（昭和7）年頃／紙本墨画淡彩／  
41.5×93.5／個人蔵

5-30-2／水郷図（冬）／1932（昭和7）年頃／紙本墨画淡彩／  
41.5×93.5／個人蔵

5-31／閑郷／絹本着色／130.4×41.6／個人蔵

5-32／水亭閑話図／絹本着色／44.6×56.5／個人蔵

資5-01／スケッチブック [関西]／14.5×23.5／個人蔵

資5-02／スケッチブック [京都・伏見]／14.6×23.1／個人  
蔵

資5-03／スケッチブック [京都]／14.6×22.7／個人蔵

資5-04／スケッチブック [利根川/1926年]／16.4×22.7  
／個人蔵

資5-05／スケッチブック [東京/1927年]／14.5×22.8／  
個人蔵

資5-06／スケッチブック [水郷]／15.1×18.8／個人蔵

資5-07／スケッチブック [十和田/1927年]／23.0×30.3  
／個人蔵

資5-08／スケッチブック [丹波]／14.6×22.8／個人蔵

資5-09／スケッチブック [丹波]／14.1×18.6／個人蔵

資5-10／スクラップブック [素描]／42.2×31.8／個人蔵

資5-11／高橋好三宛書簡／1930（昭和5）年4月23日／書簡：

17.1×72.0

封筒：20.1×14.8／個人蔵

資5-12／ボード入れ／24.3×8.3×19.5／目黒区美術館蔵

資5-13／折り畳み椅子／29.0×25.1×31.5／目黒区美術館  
蔵

資5-14／オイル入れ／14.7×4.0×2.9／目黒区美術館蔵

資5-15／オイル入れ／13.3×5.7×2.4／目黒区美術館蔵

資5-16／トランク／81.6×50.5×32.2／個人蔵

※作品番号の後に「前期」または「後期」とある作品は、それぞ  
れ前期（11月23日～12月15日）、後期（12月17日～1月  
19日）に展示。また、「不出品」とある作品は福島会場では展示  
せず（埼玉会場のみ展示）。

## (5) Gallery F 2020 コレクション再発見



①生誕 100年 建島覚造展 かたちの探求

②アートカード★チャレンジ

会期 令和2年2月8日(土)～3月8日(日) 開催日数 25日

分野 ①立体、②絵画、版画、工芸

展示数 ①9点、②24点

観覧料 一般 280(220)円、高校生以下無料

観覧者数 1,125名

担当 ①伊藤 匡 ②白木ゆう美、大北 孝

主催 福島県立美術館

### 概要

「Gallery F」とは、当館のコレクションの中から、今まで紹介できなかった作品や新収蔵・寄託作品を取り上げ、あるいはテーマを絞って掘り下げる小さな展示会を意味する。4回目の今年は彫刻家、建島覚造とアートカードを使ったコレクション再発見の試み。

- ①「生誕 100年 建島覚造」展では、日本の現代彫刻を代表する彫刻家建島覚造(たてはた・かくぞう 1919～2006)の、当館が所蔵する作品を中心に展示し、かたちと素材を探求した建島覚造の魅力を紹介した。
- ②「アートカード★チャレンジ」では、福島市立野田中学校3年生の生徒たちが、鑑賞教材アートカードを使って考えた展示会を、実際に当館のコレクションを展示して再現した。

### 関連事業

#### ・ギャラリートーク

講師：酒井哲朗(名誉館長)

日時：令和2年2月8日(土) 14時～15時

場所：企画展示室

参加者数：18名

#### ・ギャラリートーク

講師：三上満良氏(元宮城県美術館副館長)

日時：令和2年2月22日(土) 14時～15時

場所：企画展示室

参加者数：25名

#### ・福島市立野田中学校生徒によるギャラリートーク

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### ◆出品リスト：

#### ①生誕百年 建島覚造展

[No./作品名/制作年/材質・技法/寸法(cm)]

- 1《SMOKE》/1970年/強化プラスチック、アクリル塗装/H160×W69×D69cm
- 2《さ傘(天の点滴を此の盃に)小》1973年/アルミニウム、真鍮、クロームメッキ、ステンレススチール/H30×W40×D55cm
- 3《ひと(大)》/1975年/ブロンズ/H123.2×W14.5×D12.8cm/個人蔵
- 4《CLOUD24(大)》/1983年/合板、木/H122×W164×D33cm
- 5《WAVING FIGURE47(小)》/1987年/合板、木、ウレタン塗装/H25×W42×D12cm
- 6《WAVING FIGURE47(大)》/1987年/合板、木、ウレタン塗装/H246×W402×D116cm
- 7《WAVING FIGURE65》/1987年/合板、木、ウレタン塗装/H42×W16×D12cm
- 8《WAVING LADDER5》/1992年/H232×W96.5×D144cm
- 9《PILED CUP6》/1997年/木、FRP、鉛/H120×W84×D54cm

(No.3以外は福島県立美術館蔵)



展示風景



ギャラリートーク(2/8)



ギャラリートーク(2/22)

②アートカード★チャレンジ

[No./カードNo./作者/作品名/制作年/寸法/材質・技法]

1組 孤独

- 1 / 12 / マックス・エルンスト / 『博物誌』《光の輪》 / 1926年 / 26.2 × 43.3 / 紙・コロタイプ (34点組のうち)  
 2 / 27 / 速水御舟 / 晩冬の桜 / 1928年 / 57.0 × 93.3 / 紙本着色  
 3 / 38 / 斎藤 清 / 会津の冬(51) / 1982年 / 38.0 × 51.9 / 紙・木版  
 4 / 43 / アンドリュー・ワイエス / ガニング・ロックス / 1966年 / 48.1 × 61.1 / 紙・水彩、ドライブラッシュ  
 5 / 68 / 野田哲也 / 日記 1976年8月19日 / 1976年 / 70.9 × 47.1 / 紙・木版、シルクスクリーン  
 6 / 69 / 山中 現 / 第三夜 / 1984年 / 58.4 × 42.6 / 和紙・木版

2組 Face

- 7 / 4 / ピエール=オーギュスト・ルノワール / 帽子を被る女 / 1915-17年 / 30.0 × 25.5 / カンヴァス・油彩  
 8 / 6 / 国吉康雄 / 婦人と子供 / 1920年 / 101.7 × 61.0 / カンヴァス・油彩  
 9 / 8 / ベン・シャーン / ラッキードラゴン / 1960年 / 214.5 × 122.0 / 板に貼られた綿布・テンペラ  
 10 / 21 / 脇田 和 / 窓 / 1966年 / 144.3 × 111.6 / カンヴァス・油彩  
 11 / 37 / 斎藤 清 / 凝視 (花) / 1950年 / 60.0 × 41.1 / 紙・木版  
 12 / 53 / 玉川信一 / 樹のある風景 / 1985年 / 194.0 × 259.0 / カンヴァス・油彩

3組 Let's think!

- 13 / 11 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 / 1958年 / 37.1 × 27.9 / 紙・エッチング、アクアチント (10点組のうち)  
 14 / 26 / 橋本 章 / 武装する都市 / 1979年 / 193.8 × 259.2 / カンヴァス・油彩  
 15 / 47 / 吉井 忠 / 赤い風景 / 1939年 / 80.4 × 99.9 / カンヴァス・油彩  
 16 / 48 / 若松光一郎 / COMPOSITION・30.8.82 / 1982年 / 194.2 × 391.7 / カンヴァス・和紙・カゼインカラー・墨他  
 17 / 55 / 小林 浩 / 星辰軌道 / 2010年 / 259.0 × 194.0 / カンヴァス・アクリル  
 18 / 64 / オノサト・トシノブ / シルク No.10 / 1967年 / 49.8 × 50.0 / 紙・シルクスクリーン

4組 Sky Sea

- 19 / 1 / カミーユ・コロー / ヴィル・ダブレー - 林を抜けてコロー家へ向かう池沿いの道 / 1873年 / 50.0 × 65.3 / カンヴァス・油彩  
 20 / 3 / クロード・モネ / ジヴェルニーの草原 / 1890年 / 65.1 × 92.4 / カンヴァス・油彩  
 21 / 24 / 鎌田正蔵 / 小家族 (A) / 1981年 / 193.8 × 130.5 / カンヴァス・アクリル  
 22 / 32 / 福王寺法林 / バドガオンの月 / 1982年 / 181.8 × 363.6 / 紙本着色

- 23 / 52 / 百瀬 寿 / NE.Blue,Blue,Blue and Blue / 1993年 / 241.7 × 241.7 / 綿布、和紙、ネパール紙・アクリル絵具、岩絵具

- 24 / 72 / 伊砂利彦 / 瀬 / 1978年 / 168.0 × 183.2 / 紙・型染 屏風二曲一隻



展示風景「孤独」



展示風景「FACE」



展示風景「Let's think!」



展示風景「Sky Sea」

(6) ブダペスト国立工芸美術館名品展 ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへー日本を夢見たヨーロッパ工芸



会期 令和2年3月24日(火)～5月10日(日) [開催日数43日(元年度7日)]

分野 近代西洋工芸

展示数 193点

観覧料 一般1,300(1,100)円、大学生・専門学校生1,100(900)円、小・中・高校生650(500)円

※( )内は20名以上の団体料金

観覧者数 1,409名(令和元年度)

担当 橋本恵理、白木ゆう美

主催 ジャポニスム福島展実行委員会 [構成:福島県立美術館、福島中央テレビ、福島民友新聞社]

協賛 福島トヨタ自動車、佐藤燃料、福島県商工信用組合、JAグループ福島

#### 概要

日本の美術がどのようにして西洋に影響を与えたか、そして日本美術を西洋がどのように解釈したか、その歴史を辿る内容。ジャポニスムとアール・ヌーヴォーをテーマに、ブダペスト国立工芸美術館の所蔵品から、ティファニー、ガレ、ドーム兄弟やラリックを含めた作品とともに、ジョルナイ陶磁器工房などハンガリーを代表する作品群を含めて約200点を紹介した。

#### 関連事業

- ・講演会「開幕記念講演会」
  - ・講演会「海を渡った日本工芸とジャポニスム」
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。



展示風景

## ◆企画展アンケート結果

アンケート記入方式：会期中毎日、展示室内に置かれたアンケートに観覧者が任意に記入。数値は%で示し、1%未満は四捨五入した。

展覧会名	伊藤若冲展	やなぎみわ展	関根正二展	森田恒友展	Gallery F 2020
会期 (開催日数)	3/26～5/6 (38日間)	7/6～9/1 (50日間)	9/14～11/10 (50日間)	11/23～1/19 (43日間)	2/8～3/8 (25日間)
1-性別					
女性	65.6	67.8	55.7	51.4	57.4
男性	34.4	32.2	44.3	48.6	42.6
2-年齢					
10歳未満	3.4	2.4	1.5	1.7	1.9
10代	11.6	18.0	4.5	2.9	5.7
20代	5.9	12.7	2.5	3.4	5.7
30代	7.8	11.2	3.5	4.6	13.2
40代	15.0	18.5	9.1	11.5	15.1
50代	21.4	16.1	16.0	10.9	20.8
60代	22.5	12.2	33.8	32.2	24.5
70歳以上	12.5	8.8	29.1	32.7	13.2
3-居住地					
福島市	23.7	42.4	34.3	50.8	37.1
中通り(福島市以外)	21.1	18.9	24.1	19.4	22.2
会津	6.1	4.7	5.7	1.1	1.9
浜通り	7.7	5.2	4.0	7.1	5.5
県外	41.3	28.8	32.0	21.6	33.3
4-職業					
務めている	49.8	48.8	39.1	42.5	64.0
自営	6.5	11.8	8.7	6.1	4.0
主婦・主夫	15.1	5.2	16.0	17.3	6.0
学生・児童	15.2	23.2	6.7	3.9	6.0
就労していない	13.0	10.0	28.7	30.2	18.0
その他	0.4	0.9	0.7	0	2.0
5-交通手段					
自家用車	58.1	56.8	60.2	61.0	61.8
公共交通機関	30.2	23.9	27.1	25.8	25.5
タクシー	0.8	0.9	9.0	1.1	1.8
自転車・徒歩	8.7	16.0	0.7	11.5	10.9
観光バス・レンタカー	2.2	0.9	3.0	0.5	0
その他	0	1.4	0	0	0
6-来館人数					
1人	27.4	51.6	48.6	54.3	48.1
2人	42.5	31.5	35.4	36.4	42.6
3～5人	24.8	14.6	9.9	8.7	9.3
6～9人	1.5	1.9	0.3	0	0
10人以上	3.8	0.5	5.7	0.5	0
7-情報入手方法					
ポスター	18.1	27.5	18.9	18.8	30.5
チラシ	12.5	19.4	19.5	22.9	25.4
美術館ニュース	5.5	7.0	8.7	11.9	8.5
当館HP	2.8	8.4	7.7	9.6	1.7
HP(当館以外)	7.8	4.8	5.8	3.2	11.9
Facebook	0.7	1.5	0.4	0	0

展覧会名	伊藤若冲展	やなぎみわ展	関根正二展	森田恒友展	Gallery F 2020
会期 (開催日数)	3/26～5/6 (38日間)	7/6～9/1 (50日間)	9/14～11/10 (50日間)	11/23～1/19 (43日間)	2/8～3/8 (25日間)
Twitter	1.9	2.6	0.8	0	1.7
Instagram	0.4	0	0.1	0	0
新聞	15.5	3.3	18.1	11.5	3.4
テレビ番組	8.0	4.4	3.9	1.8	0
テレビCM	10.5	1.1	2.2	1.4	0
ラジオ	2.6	0.4	0.5	0.9	0
人から聞いて	8.0	10.6	7.0	9.6	6.8
県政番組・広報誌等	1.7	1.5	1.0	2.3	0
雑誌・タウン誌	2.1	0.7	1.6	0.5	3.4
看板	1.7	6.2	2.5	3.7	1.7
割引券	0	0	1.0	0	3.4
その他	0.2	0.7	0.1	0	1.7
8- 展覧会の評価					
たいへんよい	65.0	53.4	64.4	49.4	51.9
よい	26.2	33.7	29.2	38.9	40.7
ふつう	6.5	8.7	5.8	11.7	5.6
あまりよくない	1.8	2.9	0.4	0	1.9
悪い	0.5	1.4	0.2	0	0
9- 利用回数					
はじめて	41.2	16.3	15.9	15.9	17.6
数年に1回	28.5	21.3	18.1	9.3	9.8
年に1～2回	22.1	31.7	34.8	19.8	21.6
年に3～5回	6.8	25.3	23.7	42.3	43.1
年に6～9回	1.0	3.6	6.2	8.2	5.9
年に10回以上	0.4	1.8	1.3	4.4	2.0
10- 展覧会以外の美術館利用					
講演会	12.9	11.0	16.2	16.9	16.1
鑑賞講座	17.7	8.1	9.4	12.3	16.1
創作プログラム・ ワークショップ	5.5	17.6	7.9	8.5	11.3
ギャラリートーク	5.6	8.8	9.4	16.2	14.5
コンサート	5.2	3.7	8.1	3.1	8.1
レストラン	31.3	28.7	30.1	24.6	19.4
庭園	19.8	21.3	15.4	15.4	14.5
その他	0	0	0	0	0
11- 今後開催を希望する展覧会					
日本画	29.2	13.7	21.9	22.8	17.1
洋画	11.8	9.6	21.1	15.7	14.6
海外の美術	23.6	21.6	23.3	22.0	19.5
版画	7.3	7.2	8.6	9.8	3.7
彫刻	6.2	9.6	7.0	6.5	11.0
工芸	5.8	8.9	6.2	8.0	12.2
書	3.5	3.6	2.9	1.8	2.4
写真	6.7	10.8	4.8	9.2	9.8
デザイン	5.6	12.7	3.4	3.9	8.5
その他	0.3	2.2	0.8	0.3	1.2

美術館観覧者数一覧表

令和元年度観覧者数一覧

令和2年3月31日現在(単位:人)

展覧会名	開催期間	有 料										無 料		観覧者総計			
		個		人		団 体		前売券等 で観覧		年 間 観 覧 券		有 料 合 計	無 料・ 招 待 等				
		一般・大学生	高校生	小中学生	小 計	一般・大学生	高校生	小中学生	小 計	一般・大学生	高校生				小中学生	小 計	
第1期～第4期	278日間	3,897			3,897	129						1,466			5,492	2,550	8,042
特集展示※内数 「Gallery F 2020」	25日間	762			762	0						152			914	211	1,125
企画観覧券で常設展を鑑覧	通年														29,654	29,654	29,654
常 設																大学	0
免除者(100/100)学校教育活動	通年															134	134
免除者(100/100)学校引率者	通年															17	17
免除者(50/100)県又は市町村主催	通年				0												
常設無料入館 (こどもの日)	5月5日															1,201	1,201
" (県民の日)	8月21日															150	150
" (敬老の日)	9月20日															406	406
" (即位礼正殿の儀に伴う慶賀事業)	10月22日															105	105
" (文化の日)	11月3日															173	173
小中高校生無料入館	通年															小	1,597
"	"															中	1,047
"	"															高校	1,056
"	"															種予	115
小 計		3,897	0	0	3,897	129	0	0	1,466	0	0	1,466	0	0	5,492	38,205	43,697
1 伊藤若冲展	4/1～5/6 32日間	48,044			48,044	2,090			2,090			1,918			93,549	13,266	106,815
2 やなぎみわ展	7/6～9/1 50日間	2,044	76	205	2,325	167	128	34	329			446	2	5	3,247	869	4,116
3 関根正二展	9/14～11/10 50日間	3,390	19	23	3,432	377	28	69	474			654		5	4,725	1,510	6,235
4 森田恒友展	11/23～1/19 43日間	949	11	22	982	166		71	237			426	2	9	1,694	598	2,292
5 ブダペスト国立工芸美術館名品展 ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへ	3/24～3/31 7日間	630	26	45	701				0			338	1	2	1,254	155	1,409
小 計		55,057	132	295	55,484	2,800	156	174	3,130	42,173	3,656	5	21	3,682	104,469	16,398	120,867
年賀状展入館者数																541	541
その他 教育普及事業、講演会、コンサート、シンポジウム、館長講話、博物館実習参加者、内覧会、など																2,397	2,397
小 計																2,938	2,938
合 計		58,954	132	295	59,381	2,929	156	174	3,259	42,173	5,122	5	21	5,148	109,961	57,541	167,502



## 1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

令和元年度は、県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収蔵作家（関根正二、森田恒友、喜多方美術倶楽部関係の作家たち、山内神斧、宮崎進、建畠覚造、亜欧堂田善など）の調査を重点的に行った。

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、学校と連携しての出張講座等を行っている。

## 1 館内解説

学校や公民館その他の団体での鑑賞者のために、鑑賞前に学芸員が美術館の概要、鑑賞マナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

団体総数は248団体8,408人で、そのうち解説を行ったのは60団体2,651人である。

## 2 鑑賞講座

館長講座「古典に帰れ—西洋美術の巨匠たち—」

第1回「バロック（3）プッサン、ロラン、ラ・トゥール」

令和元年5月18日（土）参加者数：28名

第2回「ロココ（1）ヴァトー、ブーシェ、フラゴナール」

令和元年7月20日（土）参加者数：29名

第3回「ロココ（2）ホガーズ、レノルズ、カナレットなど」

令和元年9月21日（土）参加者数：26名

第4回「新古典派とロマン派 アンゲル、ドラクロワなど」

令和元年11月23日（土）参加者数：25名

第5回「英独西の近代巨匠 ターナー、フリードリヒ、ゴッダ」

令和2年1月18日（土）参加者数：25名

第6回「19世紀写実派 ミレー、コロー、クールベ」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### 3 創作プログラム

実技教室は、広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、子どもから大人まで幅広い対象に応じたプログラムを実施している。

#### ①「若沖ぬりえに挑戦！」

平成31年3月26日（火）～令和元年5月6日（月・祝）

・参加者数：約47,000名



#### ②「イメージの手がかり～おもしろ紙コップを作る」

令和元年5月26日（日）

・講師：横山信人氏（ベニヤ板造形作家）

・参加者数：11名



#### ③「橋本章的カオスとベタ塗り」

令和元年6月1日（土）、2日（日）、8日（土）

・講師：大町亨氏（美術家、モダンアート協会会員）

・参加者数：16名



#### ④「ロボット教室」

令和元年8月3日（土）

・講師：吉田健氏（県立福島工業高等学校教諭）

・参加者数：9名



#### ⑤「大地の絵具で絵を描こう」

令和元年8月17日（土）

・講師：佐藤香氏（現代美術家）

・参加者数：20名



#### ⑥「テンペラ絵具を作って描こう」

令和元年9月29日（日）、10月6日（日）、13日（日）、14日（月・祝）

・講師：小林俊介氏（山形大学教授、画家）

・参加者数：13名



⑦「木炭で自画像を描く」

令和元年 10月19日(土)

- ・講師：大北 孝(主任学芸員)
- ・参加者数：11名



⑧「まんが絵巻をつくろう」

令和元年 11月24日(日)

- ・講師：久松知子氏(アーティスト)
- ・参加者数：16名



⑨「組み木のおもちゃを作ろう！」

令和元年 12月15日(日)

- ・講師：古川英樹氏(創作おもちゃ作家)
- ・参加者数：21名



⑩「冬に透ける街～水彩絵の具の光に透ける感覚を楽しもう～」

令和2年 2月15日(土)

- ・講師：小原風子氏(画家・絵本作家)
- ・参加者数：11名



⑪「写真のような鉛筆デッサン」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 美術館・学校教育連携事業

(1) 学校連携共同ワークショップ

学校からの要望をもとに平成15年度より開催する連携事業。こどもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心とした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通してこどもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域へも文化事業の還元をはかる。

令和元年度は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・適応指導教室合わせて7校(参加者延べ137名)で開催した。ワークショップ作品は令和2年1月25日(土)～2月2日(日)の期間、当館企画展示室Bにて活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

①プログラム：版画でつづる「ささやかな幸せ」

作家：三浦麻梨乃氏(銅版画家)

内容：自分の好きなもの、大切なものをモチーフとして、日々の出来事をドライポイントの技法で表現した。

開催校・人数：

- ・福島市教育委員会教育研修課(ふれあい教室)  
令和元年 10月3日(木)：13名
- ・郡山市立御館中学校(2年生)  
令和元年 10月7日(月)：10名
- ・福島市教育委員会教育研修課(ふれあい教室)  
令和元年 11月25日(月)：13名
- ・福島市教育委員会教育研修課(ふれあい教室)  
令和元年 11月26日(火)：13名
- ・郡山市立御館中学校(2年生)  
令和元年 11月28日(木)：10名



## ②プログラム：「好きなもので自画像を描いてみよう！」

作家：坂内直美氏（画家・女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻助手）

内容：自分の好きなものと自分の顔をキャンパス（幼稚園では画用紙）にミクストメディアで表現した。

開催校・人数：

- ・二本松市立渋川小学校（3年生）  
令和元年9月12日（木）：12名
- ・川俣町立富田幼稚園（5歳児）  
令和元年10月8日（火）：23名
- ・福島県立相馬東高等学校（美術部）  
令和元年10月26日（土）：3名
- ・会津若松市立第一中学校（美術部）  
令和元年11月2日（土）：15名
- ・会津若松市立第一中学校（美術部）  
令和元年11月9日（土）：15名
- ・会津若松市立第二中学校（美術部）  
令和元年11月16日（土）：10名



## (2) 先生と考える美術館ミーティング

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開催する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。令和元年度も昨年度に引き続き、前期（福島県教育センター）、後期（県立美術館）の2回に分けて開催した。

前期日時：令和元年8月21日（水）13時～14時

講義・演習「学校と美術館の連携活動についてⅠ」大北 孝（主任学芸員）

後期日時：令和元年10月25日（金）10時～15時45分

講義・演習「学校と美術館の連携活動についてⅡ」

演習「鑑賞用教材を活用した鑑賞活動」橋本淳也（教育センター指導主事）、大北 孝（主任学芸員）、白木ゆう美（学芸員）

参加者：小学校教諭6名、中学校教諭3名、高等学校教諭1名  
合計10名

## 5 美術館への年賀状展

県内の小中高校生から寄せられた手作り年賀状を全てエントランスホールに展示した。

会期：令和2年1月12日（日）～31日（金）

応募総数：213通 観覧者数：541名

## 6 博物館実習

学芸員資格取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導を行った。

日時：令和元年8月20日（火）～25日（日）

受講者数：4名

## 7 友の会、協力会との連携事業

## (1) 「伊藤若冲展」ボランティア

友の会有志を中心とするメンバーが、会期中の土日、荷物一時預かり及び観光紹介のボランティア活動を行った。

参加者数：会期中の土日18回 延べ72名



## (2) ワークショップマート ～ものづくりの庭～

< NPO 法人福島県立美術館協力会との共催 >

漆作家や自家焙煎珈琲店、綿花農家など様々な異業種事業者が当館収蔵作品をテーマに「ものづくりワークショップ」を美術館エントランスホールで開催した。

また、当日は、友の会有志が、参加者への案内、アンケート調査等のボランティア活動を行った。

日時：令和元年9月16日（月・祝）10時～15時

場所：エントランスホール

企画・ディレクション：フライデースクリーン

参加者数：約1,000名

## (3) 友の会研修旅行

日時：令和元年9月28日(土)

旅行先：秋田県立近代美術館、横手市増田まんが美術館

参加者数：33名(早川博明(館長)、伊藤匡(専門員)ほか参加)



## (4) 友の会実技講座「木炭で静物を描く」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (5) アートチャリティバザー

友の会会員や美術館関係者が美術工芸品、美術図書、図録、ミュージアムグッズなどを持ち寄り、安い価格で販売した。バザーの収益金によりポータブル・マイクセットを購入し、美術館に寄付した。

日時：令和元年12月8日(日) 9時30分～13時

場所：エントランスホール

参加者数：約150名



## (6) ミュージアム・コンサート「ラテンジャズでホットな春を！」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (7) 触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ「神話と機械を見聞きする」

&lt; NPO 法人福島県立美術館協力会との共催 &gt;

「やなぎみわ展」関連事業として、作家を講師に開催した。見える人、見えない人一緒に、やなぎみわが表現する神話の世界を視覚だけでなく五感で体感しようという企画。まずは《神話機械》の4体のマシンを視覚障がい者、晴眼者が一緒に触察したり、お互いに話をしながら鑑賞。その後、ミュージシャンの嶋村泰に加わってもらい、音と言葉によるパフォーマンス「黄泉比良坂」を参加者全員で作らあげ、上演した。

日時：令和元年9月1日(日) ①10時30分～12時、②

14時～15時30分

場所：企画展示室

講師：やなぎみわ、嶋村 泰(ミュージシャン)

参加者数：①10名、②10名(いずれも視覚障がい者と晴眼者含む)

## (8) アートカード『ぼけっとアート』貸出

平成29年4月から、当館所蔵作品80点をカード形式にした鑑賞補助教材『ぼけっとアート』の貸出を行っている。令和元年度の小学校、中学校、高校、その他教育関係機関を含めた貸出総数は117か所、612セットである。

## 8 その他の事業

(1) 福島県立図書館との連携事業「アートなおはなしかい」、  
「色であそぼう」

幼稚園児・小学生とその保護者を対象にした、図書館の「よみ  
きかせ」と美術館展示室及び実習室の「鑑賞と工作のワークショッ  
プ」

日時：令和元年10月26日（土）

場所：福島県立図書館、福島県立美術館

参加者数：33名

(2) 「中学生ドリームアップ事業」職場体験活動

令和元年7月9日（火）～12日（金）

福島市立松陵中学校 2年生：2名

福島市立岳陽中学校 2年生：2名

(3) 委員等

- ・いわき市美術品選定評価委員（荒木康子学芸課長）
- ・郡山市立美術館協議会委員（荒木康子学芸課長）
- ・「新しいAIZUの美術展」選考委員（伊藤 匡専門員）
- ・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・相馬市史調査編さん委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・須賀川市立博物館資料収集選定委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・須賀川市文化財保護審議会委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・一般財団法人可月亭庭園美術館評議員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・福島市写真美術館運営委員（紺野朋子主任学芸員）
- ・西会津国際芸術村公募展審査員（大北 孝主任学芸員）
- ・猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト審査委員（坂本篤史主任学芸員）

(4) 寄稿、発表、受賞等

- ・福島大学行政政策学類「博物館経営論」講師  
平成31年4月12日（金）～令和元年7月26日（金）  
全15回（伊藤 匡専門員）
- ・諸橋近代美術館講座「イメージの探索者 マックス・エルンスト」  
令和元年6月1日（土）（橋本恵里学芸員）
- ・福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ講座「関根正二展  
見どころはここ！」令和元年9月20日（金）（坂本篤史主任学  
芸員）
- ・第8回福島市医師会市民文化講演会「福島県立美術館のコレク  
ションから－ワイエスとベン・シャーン－」令和元年10月26  
日（土）（荒木康子学芸課長）
- ・福島県立医科大学「博物館・美術館にみる芸術と文化」講師
  - ①「福島県立美術館コレクションから」令和元年11月20日（水）  
（荒木康子学芸課長）
  - ②「企画展 森田恒友展について」令和元年11月27日（水）  
（増淵鏡子専門学芸員）
  - ③「展覧会見学と美術館バックヤードツアー」令和元年11月  
30日（土）（増淵鏡子専門学芸員）
- ・桜の聖母短期大学生涯学習センター講座「アンドリュウ・ワイ  
エスの世界」令和元年11月22日（金）（坂本篤史主任学芸  
員）
- ・山形大学地域教育文化学部「キャリア教育」講師「美術館教育  
普及の仕事について」令和元年12月5日（木）（白木ゆう美

学芸員）

- ・埼玉県立近代美術館レクチャー「恒友をめぐる人と自然－会津  
を中心に」令和2年2月23日（日）（増淵鏡子専門学芸員）
- ・2019年美連協大賞（美術館連絡協議会）  
大賞：「生誕120年・没後100年 関根正二展」（堀 宜雄専門  
学芸員、坂本篤史主任学芸員）  
優秀カタログ賞（美連協展部門）：「森田恒友展」（増淵鏡子專  
門学芸員、紺野朋子主任学芸員）

## ◆関係法規

### A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 三 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。

(平11条例92・一部改正)

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。

(平11条例92・追加)

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(平11条例92・旧第8条繰上)

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

(平11条例92・旧第9条繰上)

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

(平9条例53・平15条例52・平25条例118・一部改正)

区分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に利用 する場合)
	個人	団体		
一般(大学生を含む。)	270円	210円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

- 1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合(常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。)の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。
- 2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附則(平成9年条例第53号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附則(平成11年条例第92号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則(平成15年条例第52号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成25年条例第118号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

### B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館(以下「美術館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(平24条例42・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則 (平成24年条例第42号)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

**C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則**

福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

**D 福島県立美術館条例施行規則**

(休館日)

第1条 福島県立美術館(以下「美術館」という。)の定期の休館日は、次のとおりとする。

- 一 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(次号において「休日」という。)に当たるときを除く。
- 二 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 三 1月1日から同月4日まで。
- 四 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

(昭63教委規則8・一部改正)

(開館時間)

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで

とする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧手続)

第3条 館長は、福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。)第4条の規定により観覧料を納入した者(年間観覧料を納入した者(以下「年間観覧者」という。))を除く。)に対し、観覧券(第1号様式)を交付するものとする。

(平15教委規則2・一部改正)

(年間観覧者に係る入館手続)

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券(第1号様式の2)を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

(平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正)

(観覧料の免除及びその手続)

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
一 大学生、(これに準ずる者として福島県教育委員会教育長(以下「教育長」という。))が別に定める者を含む。)及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生(これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。)の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額(引率者については全額)
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めることもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者(前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。)は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあっては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあっては10日前までに観覧料免除申請書(第2号様式)を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書(第3号様式)を交付するものとする。

(昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正)

(観覧料の返還)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

- 一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき(観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。) 全額



二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平 15 教委規則 2 ・ 一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平 12 教委規則 15 ・ 旧第7条線上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他の規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平 12 教委規則 15 ・ 旧第8条線上）

附則 この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

第1号様式（第3条関係）

観覧券  (観覧者の区分) (金額)  福島県立美術館	観覧券  (観覧者の区分) (金額)  福島県立美術館
--------------------------------------------	--------------------------------------------

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）

（平 15 教委規則 2 ・ 追加）

（表）

年間観覧券          福島県立美術館
------------------------------------------------------

（裏）

(交付番号) (有効期間)	(観覧者の区分)
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
(氏 名) (学校名)(学年) 福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）

（平 3 教委規則 13 ・ 一部改正）

第2号様式(第4条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

住所又は所在地  
氏名又は名称及び代表者の氏名  
印

申請者  
観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日 時 分から 分まで			
観覧者の種別及び人数	一 般 人		その他( )	人
	大 学 生		( )	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職	氏名		
連絡先及び電話番号	電話 ( )			
観覧料	免除率	免除金額	免除の根拠	
※ 円	※	円	※	
上記のとおり承認してよろしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

（注） ※印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）

（平 3 教委規則 13 ・ 一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号  
年 月 日

様

福島県立美術館長 印

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日 時 分から 分まで			
観覧者の種別及び人数	一 般 人		その他( )	人
	大 学 生		( )	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
注 意 事 項				
観覧料	免除率	免除金額		
円				

第4号様式（第5条関係）

（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

福島県立美術館長

年 月 日

申請者 住所又は所在地  
氏名又は名称及  
び代表者の氏名 印

観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

観覧料の納入月日	年 月 日		
既納観覧料の区分及び金額	区 分	人 数	金 額
			円
	合 計		
返還を申請する理由			
連絡先及び電話番号	電話( )		
観覧料返還半額返還金額返還の根拠	円※	円※	円※
上記のとおり返還してよろしい。			
館長	副館長	総務課長	主任
受付月日	・	・	決裁月日
	・	・	・

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

附 則（昭和60年教委規則第3号）

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年教委規則第8号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成3年教委規則第13号）

- この規則は、交付の日から施行する。
- この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

- 総務課
- 学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
- 公印の管理に関すること。
- 人事に関すること。
- 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
- 予算の編成、経理及び執行に関すること。
- 物品の調達及び処分に関すること。
- 財産の管理に関すること。
- 観覧料の徴収に関すること。
- 福島県立美術館運営協議会に関すること。
- 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。

2 学芸課においては、次の事務を行う。

- 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- 美術に関する調査及び研究に関すること。
- 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
- 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。
- 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。
- 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関すること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

(主任主査その他の職)

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。 上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。
専門員	上司の命を受け、事務をつかさどる。 上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

(平14教委規則18・平25教委規則8・一部改正)

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則 (平成14年教委規則第18号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年教委規則第8号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

## F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料(以下「美術品等」という。)の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織等)

第2条 委員会は5人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長(以下「館長」という。)が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴

くことができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和59年4月1日から施行する。

改正 昭和59年4月1日、昭和61年4月1日

## G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要領

1 趣旨

(1) この要領は、財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例(昭和39年福島県条例第22号)第7条、福島県財務規則(昭和39年福島県条例第17号。以下「財務規則」という。)第156条、福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第7条及び福島県立美術館条例施行規則(昭和59年福島県教育委員会規則第12号)第7条の規定により、福島県立美術館(以下「館」という。)が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料(以下「美術品等」という。)の貸出し及び写真撮影等(以下「撮影」という。)の取り扱いに関する基準及び手続きを定めるものとする。

(2) 美術品等が福島県美術品等取得基金(以下「基金」という。)所有のものであるときは、昭和59年12月28日付59教財第513号、福島県教育庁財務課長通知により、美術品等の貸出しの手続きは館長の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出しの基準及び撮影については、この要領を準用するものとする。

2 美術品の貸出し

(1) 貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当でないと認めるときは、貸出しを行わないものとする。

(2) 貸出しの手続き

ア 学芸課は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者(以下「借受者」という。)から物品借受申請書(財務規則第102号様式。以下「申請書」という。)を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

(ア) 展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

(イ) 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の貸出しを承認する旨の書類

(ウ) その他必要と認める書類

イ 学芸課は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検

討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ 学芸課は、この要領2の(2)のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書(財務規則第10号様式)により当該貸出しについて館長の決裁を受けるとともに、総務課に關係書類を送付するものとする。

エ 総務課は、この要領2の(2)のウの書類の送付を受けたときは、速やかに福島県教育庁生涯学習領域(以下「生涯学習領域」という。)に対し美術品等の貸出しについて必要な措置の請求(別紙様式第1号)をしなければならない。

オ この要領2の(2)のアからエまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

### (3) 貸出しの決定

ア 総務課は、生涯学習領域から美術品等の貸出しについて必要な措置が完了した旨の通知を受けたときは速やかに学芸課に対して、その旨連絡するとともに關係書類を送付するものとする。

イ 学芸課は、この要領2の(3)のアの通知を受けたときは借受者に対して、貸出し承認の通知(別紙様式第2号)をするものとする。

ウ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

エ 美術品等の貸出しは、無料とする。

### (4) 貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第3者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 図録作成等のため美術品等の写真撮影をする場合は、この要領3により別途手続を行うこと。

キ 美術品等の搬出または搬入に対して借受者は責任者を立会させること。

ク その他必要と認めること。

### (5) 美術品等の引渡し

ア 館長(物品管理者)は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、総務課長(物品取扱員)に対し、貸付物品払出通知書(財務規則第102号様式)により、その引渡しを指示するものとする。

イ 総務課長(物品取扱員)は、館長(物品管理者)から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 総務課長(物品取扱員)は、美術品等を引渡したときには物品貸付台帳(財務規則第140号様式)に所定の事項を記載し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は原則として館とする。

### (6) 美術品等の貸付引受け

この要領2の(5)のアからエまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「貸付物品払出通知書」とあるのは「貸付物品受入通知書」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

## 3 美術品等の撮影

### (1) 撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認められたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により損傷を生ずるおそれがある美術品等は撮影を認めないものとする。

ウ 撮影の時期が美術品等の管理上、適当でない認められる場合は、その時期を変更し、若しくは撮影を認めないものとする。

### (2) 撮影承認の手続

ア 学芸課は、美術品等の撮影の承認をする場合には、撮影を希望する者(以下「撮影者」という。)から美術品等撮影承認願(別紙様式第3号。以下「承認願」という。)を提出させるものとする。

イ 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の撮影を承認する旨の書類を承認願に添付させるものとする。

ウ 学芸課は、撮影者から承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、場所、時期、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。

エ 学芸課は、この要領3の(2)のウの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、当該撮影の承認について館長の決裁を受けるとともに、承認願に添付させるものとする。

オ 美術品等の撮影料は無料とする。

### (3) 撮影承認の通知

学芸課は、この要領3の(2)のエにより撮影承認の決定をしたときは、撮影者に対して撮影承認の通知(別紙様式第4号)をするものとする。

### (4) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等の撮影は館の職員の指示に基づいて行うこと。

イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。

ウ 撮影した写真等は、撮影承認を受けた目的以外に使用しないこと。

エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなるときは、必要に応じ、あらかじめ著作権者の了承を得ること。

オ 撮影承認を受けた美術品等の写真を出版物に掲載したときは、当該出版物を館に提出すること。

カ その他必要と認めること。

### (5) 補則

ア 撮影の場所は、原則として館とする。

イ 撮影が美術品等の管理上適当でない認めるときは、館が所有する原版の使用を認めるものとする。

ウ 過去に撮影した写真等の撮影承認の目的外使用について

は、この要領の適用を受けるものとする。

エ 館所有の原版を複製して使用する場合は、当該複製版をすべて提出することとする。

オ 館所有の原版を使用する際、誤って損傷、亡失させたときは、再撮影に係わる実費を当該申請者に請求することができるものとする。

#### 4 適用

この要領は昭和60年2月9日から適用する。

(平成9年9福美第65号により一部改正)

## H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

(趣旨)

1 この要領は、福島県立美術館(以下「館」という。)における美術作品および美術資料(以下「美術品等」という。)の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

(寄託の申し出)

2 福島県立美術館長(以下「館長」という。)は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書(別記様式第1号)によって所有者の同意を得なければならない。

(2) 館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申請書(別記様式第2号)を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

(受託)

3 館長は、所有者の合意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めるときは、これを無償で受託することができる。

(受け入れおよび返還)

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書(別記様式第3号)を交付するものとする。

(2) 所有者は寄託した美術品等(以下「寄託品」という。)の返還を受けようとするとき、返還を受けようとする日の一ヶ月以上前に返還申請書(別記様式第4号)を館長に提出しなければならない。

(3) 館長は、この要領4の(2)により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

(4) 寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。

(寄託期限)

5 美術品等の寄託期間(以下「寄託期間」という。)は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

(寄託期間の更新)

6 館長は所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

(2) 寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

(3) 館長は、この要領6の(1)および(2)により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。

(所有者の変更等)

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者(所有者が変更した場合は変更後の所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

8 所有者は、受託証書を亡失し、または著しく破損したときは、これらの事実を証するにたる書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(寄託品輸送経費等の負担)

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(寄託品の展示等)

10 館は、寄託品について、展示、研究および撮影等を行い、その結果を公刊することができる。

(2) 館職員以外の者がこの要領10の(1)の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出しおよび写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。

(寄託品の保存)

11 館長は、寄託品の保存管理およびその取扱いについては、館に所蔵する美術品に準じて行う。

(2) 館は、寄託品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。

(その他)

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

## ◆予算

### 【2019年度予算内訳】

#### 歳入

科目（款・項・目・節）	最終予算額（千円）
使用料及び手数料	11,744
└ 使用料	11,744
└ 行政財産使用料	870
└ 土地使用料	33
└ 建物使用料	837
└ 教育使用料	10,874
└ 美術館使用料	10,874
財産収入	3,439
└ 財産売払収入	3,439
└ 物品売払収入	3,439
諸収入	12,462
└ 雑入	12,462
計	27,645

#### 歳出

科目（款・項・目・節）	最終予算額（千円）
教育費	356,342
└ 教育総務費	7,432
└ 事務局費	7,312
└ 報酬	5,760
└ 共済費	1,552
└ 財務管理費	20
└ 交際費	20
└ 教育センター費	100
└ 需用費	100
└ 社会教育費	348,910
└ 社会教育総務費	6,116
└ 委託料	6,116
└ 美術館費	342,794
└ 報酬	72
└ 報償費	1,024
└ 旅費	3,359
└ 需用費	73,289
└ (食糧費)	(235)
└ 役務費	10,086
└ 委託料	135,813
└ 使用料及び賃借料	8,536
└ 工事請負費	95,921
└ 負担金、補助及び交付金	14,661
└ 公課費	33
計	356,342

## ◆施設・設備

### 【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所  
施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）  
敷地面積 60,500㎡  
建築面積 6,471.5㎡  
延床面積 9,680.7㎡  
建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）  
総工費 約49億円（本体、外構含む）

### 【設備の概要】

#### 電気設備

- 1- 受変電設備：受電力 1,100W
- 2- 動力設備
- 3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）
- 4- 自家発電機設備
- 5- 避雷針
- 6- 電気時計
- 7- 火災報知設備
- 8- 防火扉・防煙設備
- 9- 拡声設備
- 10- インターホン設備
- 11- ITV 設備
- 12- 防犯設備
- 13- ビデオ設備
- 14- 蓄電池設備
- 15- 電話設備

#### 空調調和設備

- 1- 熱源設備：  
展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT 組合せ制御方式、冷水槽300㎡、温水槽250㎡  
一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台
- 2- 空調設備：単一ダクト方式  
展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）
- 3- 換気設備：50系統
- 4- 排煙設備：機械排煙6系統
- 5- 床暖房：2系統
- 6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

#### 給排水衛生設備

- 1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用
- 2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）
- 3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出
- 4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水
- 5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

#### 昇降機設備

- 1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台
- 2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量 3t 1台
- 3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

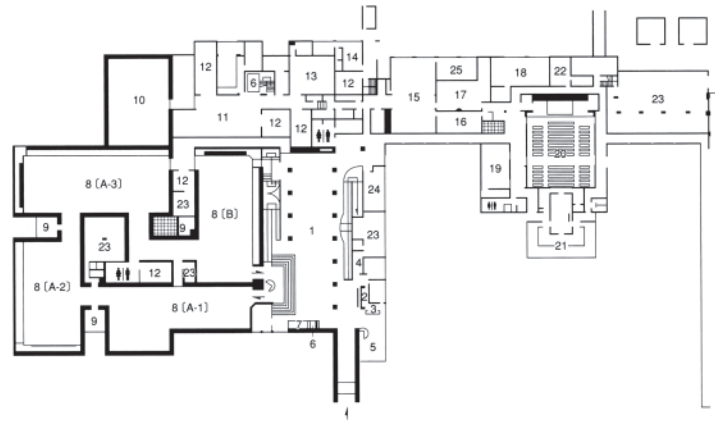
### 【内部仕上げの概要】

- 1- エントランスホール  
床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）  
壁：栓練付石綿ケイカル板  
天井：栓練付石綿ケイカル板  
その他：一部床暖房設備
- 2- 収蔵庫  
床：パーケットブロック、ぶな素地  
壁：米杉、矢羽根板張  
天井：米杉、本実目透張  
その他：収納棚、絵画収納ラック
- 3- 企画展示室  
床：長尺塩ビシート張  
壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張  
天井：栓練付パネル  
その他：大型可動壁（幅 8,770mm × 高 3,770mm、11枚）  
固定ケース前可動壁：（幅 1,600mm × 高 4,050mm、延長約 72m）  
固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長 72.3m）
- 4- 常設展示室  
床：タフテッドループカーペット  
壁：常設 A- 栓練付ケイカル板  
常設 B- 大理石空積、水磨き仕上げ  
常設 C・D- くるみ練付ケイカル板  
天井：常設 A- 栓練付パネル  
常設 B・C・D- くるみ練付パネル  
その他：固定ケース（常設 A、16.2m）
- 5- 講堂  
床：タイルループカーペット  
壁：くるみ練付石綿ケイカル板  
天井：ビニールクロス張  
その他：座席数 246（うち車椅子席 4）／ステージ幅 12m × 奥行 3.2m
- 6- 講義室  
床：タイルカーペット  
壁：くるみ練付石綿ケイカル板  
天井：岩綿吸音板
- 7- 実習室  
床：エポキシ系塗床  
壁：モルタル金ゴテ VP  
天井：岩綿吸音板
- 8- 軽食喫茶室  
床：長尺塩ビシート張  
壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）  
その他：テーブル 44 席
- 9- その他  
搬出入口：ホイストクレーン 2.8t / テーブルリフター  
写真室：電動スクリーン

## ◆施設配置図

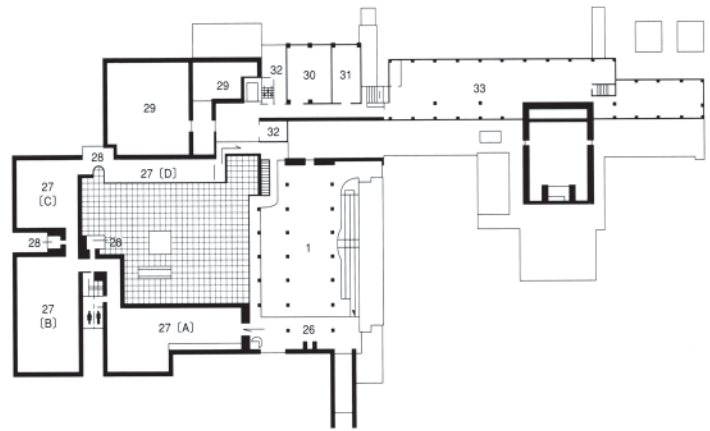
### 【1階】

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室   |
| 2. 受付案内      | 15. 事務室   |
| 3. ブックショップ   | 16. 応接室   |
| 4. ロッカー室     | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー    | 18. 実習室   |
| 6. エレベーター    | 19. 講義室   |
| 7. ビデオコーナー   | 20. 講堂    |
| 8. 企画展示室     | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室       | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A    | 23. 機械室   |
| 11. 荷解梱包室    | 24. 館長室   |
| 12. 倉庫       | 25. 副館長室  |
| 13. 写真室      |           |



### 【2階】

- |             |
|-------------|
| 26. ロビー     |
| 27. 常設展示室   |
| 28. 休憩室     |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室   |
| 31. 会議室     |
| 32. 倉庫      |
| 33. 機械室     |



## ◆部門別専有面積 (\*は県立図書館と共用)

<b>サービス部門</b>	<b>1233.8㎡</b>
エントランスホール	817.3㎡
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1㎡
*軽食喫茶室	179.0㎡
授乳室・救護室	25.4㎡
<b>展示部門</b>	<b>3064.4㎡</b>
企画展示室 A (A-1,2,3)	1130.8㎡
企画展示室 B	431.1㎡
	(企画展示室合計 1811.9㎡)
常設展示室 A	403.1㎡
常設展示室 B	359.1㎡
常設展示室 C	143.8㎡
常設展示室 D	132.8㎡
	(常設展示室合計 1038.8㎡)
展示用具室	141.2㎡
展示用具室 2	72.5㎡
<b>収蔵部門</b>	<b>1365.3㎡</b>
収蔵庫 A	280.2㎡
収蔵庫 B	368.7㎡
収蔵庫 C	105.1㎡
一時保管庫	51.8㎡
収蔵庫前室	57.6㎡
搬出入口	65.7㎡
荷解梱包室	188.8㎡
梱包倉庫	77.7㎡

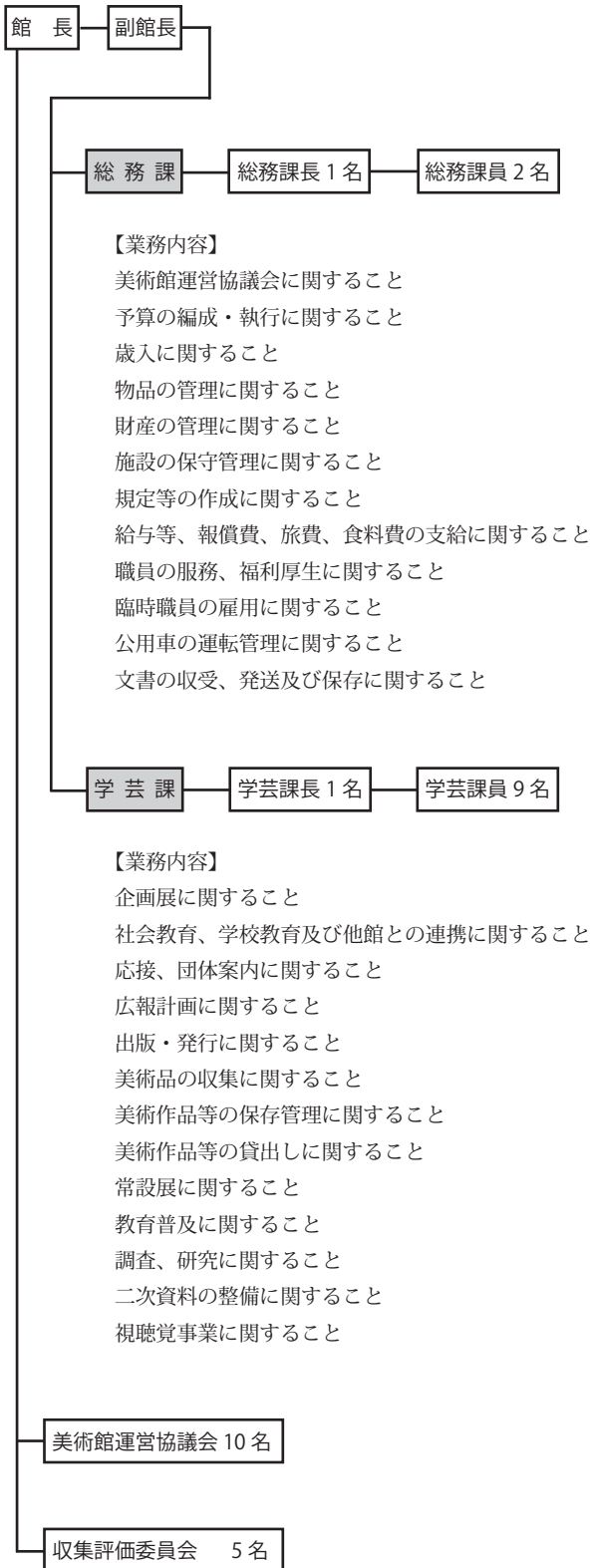
荷扱人控室	29.6㎡
燻蒸室	33.3㎡
工作修復室	106.8㎡
<b>普及部門</b>	<b>654.6㎡</b>
*講堂	498.6㎡
講義室	73.9㎡
実習室 (準備室含む)	82.1㎡
<b>研究部門</b>	<b>187.2㎡</b>
研究図書室	88.7㎡
写真室	98.5㎡
<b>管理部門</b>	<b>1832.7㎡</b>
応接室	48.0㎡
副館長室	34.0㎡
事務室 (総務課・学芸課)	174.0㎡
会議室	73.3㎡
館長室	43.2㎡
事務機械室	16.0㎡
警備室	54.7㎡
更衣室	8.7㎡
受付控室	15.4㎡
給湯室	4.4㎡
倉庫	33.0㎡
*機械室	1266.4㎡
車庫	61.6㎡
<b>その他(化粧室・廊下・階段等)</b>	<b>1330.8㎡</b>



# ◆組織図・職員名簿

## 2. 職員名簿 (2020年3月31日現在)

### 1. 組織図



名誉館長	酒井 哲朗 (2016.4.1-)
館長	早川 博明 (2012.4.1-2020.3.31)
副館長	鶴見 宏幸 (2018.4.1-2020.3.31)
総務課長	渡辺 俊夫 (2016.4.1-2020.3.31)
総務課 主査	高橋奈央子 (2017.4.1-)
総務課 同	嶋原 由夏 (2018.4.1-)
総務課 専門員	玉木 文夫 (2016.4.1-)
学芸課長	荒木 康子 (1990.4.1-)
学芸課 専門学芸員	堀 宜雄 (1989.4.1-)
学芸課 同	増渕 鏡子 (1993.4.1-)
学芸課 主任学芸員	宮武 弘 (1992.4.1-)
学芸課 同	大北 孝 (2018.4.1-)
学芸課 同	紺野 朋子 (2012.4.1-)
学芸課 同	坂本 篤史 (2014.4.1-)
学芸課 学芸員	白木ゆう美 (2014.4.1-)
学芸課 同	橋本 恵里 (2017.4.1-)
学芸課 専門員	伊藤 匡 (2017.4.1-)

## □利用案内

## 1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

## 2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

## 3. 観覧料

## 1) 常設展

一般・大学生：270円（210円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

## 2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（身体障害者手帳・療育手帳1種、精神障害者保険福祉手帳

1級をお持ちの方は付き添いの方も無料）

## 4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

## 5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

## 6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生 3,000円／高校生 1,800円／小・中学生 1,200円）

## 7. 交通案内

## 1) J R福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩4分

タクシー：約5分

## 2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分 ※駐車場150台収容

福島県立美術館年報  
平成 31 / 令和元年度・2019

2021 年 3 月 12 日 発行

編集・発行 福島県立美術館  
〒 960-8003 福島市森合字西養山 1 番地  
電話 024-531-5511  
ファックス 024-531-0447  
ホームページ <https://art-museum.fcs.ed.jp>

印刷 キング印刷株式会社